

教科	国語総合	科目	現代文	2単位	対象	1年	全科
【年間学習目標】 国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。							
【評価の観点】 <ul style="list-style-type: none"> ・目的や場に応じて表現や構成を工夫して意見を述べたり、相手の立場をふまえて聞き取り話し合ったりできる。 ・目的に応じた工夫をして書いたり、優れた表現から学んだりすることで、自らの考え方を豊かにすることができる。 ・文章の特徴に留意しながら叙述に即して文章を的確に読み取り、書き手の意図をとらえることができる。 ・幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすることができる。 ・言語文化の特質や自国と他国の文化との関係に気付き、伝統的な言語文化への関心を広げることができる。 							
【使用教材】 教科書：高等学校 改訂版 新訂 国語総合 現代文編（第一学習社） 副教材：クリアカラー国語便覧（数研出版） 読解・評論・小説を読むための 新現代文単語 改訂版（いっずな書店）							
期	考查	単元名	学習内容・自己評価			備考	
1 学期	1 学期 中間 考查	論理的な文章	<ul style="list-style-type: none"> ・文学的な文章、論理的な文章、実用的な文章といった文章の種類やその「表現の特色」に注意して読む。 ・文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりする。 			<ul style="list-style-type: none"> ・漢字テスト ・現代文単語 	
	1 学期 期末 考查	文学的文章 論理的な文章	<ul style="list-style-type: none"> ・文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。 ・文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりする。 			<ul style="list-style-type: none"> ・漢字テスト ・近現代文学史 ・要約 ・漢字テスト ・現代文単語 	
		夏季休業課題					

2 学 期	2 学 期 中 間 考 査	<p>文学的文章</p> <p>論理的文章</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・優れた表現に接してその条件を考えたり、書いた文章について自己評価や相互評価を行ったりして、自分の表現に役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。 ・対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書く。 ・文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・要約 ・漢字テスト ・現代文単語
	2 学 期 期 末 考 査	<p>文学的文章</p> <p>論理的文章</p> <p>冬季休業課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。 ・幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりする。 ・論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字テスト ・近現代文学史
3 学 期	3 学 期 期 末 考 査	<p>文学的文章</p> <p>論理的文章</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。 ・課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方や進行の仕方などを工夫して話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近現代文学史 ・現代文単語
<p>【学習上の留意点】 授業の進度によって内容が変わることがあります。</p>				

教科	国語総合	科目	古典	3単位	対象	1年 全	科
<p>【年間学習目標】 国語を適切に表現し的確に理解する能力を養い、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を養う。</p>							
<p>【評価の観点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国語への関心を深め、尊重してその向上を図り、進んで表現、理解するとともに、伝え合おうとする。 ・ 自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて話したり的確に聞いたりする。 ・ 自分の考えを深めたり発展させながら、目的に応じて文章を読み取ったり読書に親しんだりする。 ・ 表現と理解に役立つための音声・文法・表記・語句・語彙・漢字等を理解し、知識を身に付けている。 							
<p>【使用教材】 教科書 : 高等学校 改訂版 新訂 国語総合 古典編 (第一学習社) 副教材 : クリアカラー国語便覧 (数研出版) これでわかる明快古典文法 (いいずな書店) これでわかる明快古典文法 必修ノート (いいずな書店) 古文単語330 (いいずな書店) 精説漢文 (いいずな書店) 精説漢文 必修ノート (いいずな書店)</p>							
期	考查	単元名	学習内容・自己評価			備考	
1学期	1学期中間考查	(古文) 古文入門 説話	<ul style="list-style-type: none"> ・ 話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・ 歴史的仮名遣いを理解する。 ・ 品詞の種類、動詞、係り結びについて理解する。 			<ul style="list-style-type: none"> ・ 予習復習の仕方とノートの作り方 ・ 副教材、古語辞典の使い方 ・ 音読の励行 	
	1学期期末考查	(古文) 物語 (漢文) 訓読に親しむ一・二 漢文を読むために ①・② 故事成語	<ul style="list-style-type: none"> ・ 話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・ 歌物語における和歌の役割を理解する。 ・ 和歌を味読し、修辞技巧を理解する。 ・ 形容詞・形容動詞の種類と活用を理解する。 ・ 助動詞・助詞を理解する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ なじみのある故事成語・格言を通して、漢文訓読に親しむ。 ・ 漢文の構造、訓読のきまり書き下し文のきまりを理解する。 ・ 漢和辞典の引き方に慣れ、学習に役立てることができるようになる。 話の内容をとらえ、故事成語の現在使われている意味について理解する			<ul style="list-style-type: none"> ・ 副教材（文法書、文法必修ノートなど）も用いる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ノート提出 	

期	考查	単元名	学習内容・自己評価	備考
2学期	2学期中間考查	(古文) 随筆	<ul style="list-style-type: none"> 随筆を読んで、人間、社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。 文章の内容を構成や展開に即して的確にとらえ、表現上の特色を理解し、優れた表現に親しむ 	<ul style="list-style-type: none"> 副教材（文法書、文法必修ノートなど）も用いる。 用言の復習 助動詞の理解
		和歌と俳諧	<ul style="list-style-type: none"> 和歌特有の表現を理解し、古来から愛されてきた日本の歌に親しむ。 和歌の修辞を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 便覧で文学史を学ぶ。
		(漢文) 史伝	<ul style="list-style-type: none"> 故事成語の生まれた背景・事情をつかみ、成語もとの意味について理解する。 内容を話の展開に即して理解する。 句形を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ノート提出
2学期	2学期期末考查	(古文) 日記	<ul style="list-style-type: none"> 日記を読んで、人間・社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。 内容を構成や展開に即してとらえる。 文章の表現上の特色を理解する。 助動詞、助詞を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 副教材（文法書、文法必修ノートなど）も用いる。
		(漢文) 史伝	<ul style="list-style-type: none"> 比較的長い、平易な文章の漢文に慣れ、訓読の決まりについて理解する。 訓読の知識を用いて文章を読む。 句形を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ノート提出
3学期	3学期期末考查	(古文) 軍記物語	<ul style="list-style-type: none"> 構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 表現の特色を理解し、軍記物語に親しむ。 音便、敬語を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 副教材（文法書、文法必修ノートなど）も用いる。
		(漢文) 漢詩	<ul style="list-style-type: none"> 中国の自然や、心理を考えさせる。 漢詩のきまりについて理解する。 	
		種々の文章	<ul style="list-style-type: none"> 訓読の知識と句形を理解して、長い文章を読む。 老荘思想と理想郷について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ノート提出

【学習上の留意点】

「これでわかる明快古典文法必修ノート」や「精説漢文必修ノート」は、長期休業中の課題とする。

「古文単語330」の扱いは、授業で指示する。

授業の進度によって内容が変わることがあります。

教科 地歴公民 科目 世界史B		2 単位	対象学年・コース 1年グローバルクラス SA	
【年間学習目標】 ・主な文化圏の形成の過程と発展の様子を概観する。 ・世界の歴史の枠組みと流れを理解させ、文化の多様性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって歴史的思考力を培う。				
【評価の観点】 定期考査・小テスト・問題集・ノートなどの提出物の内容や授業への取り組み状況を総合的に評価する。				
【使用教材】 教科書：『詳説世界史B』 山川出版社 副教材：『NEW 授業がよくわかる世界史』 中部日本教育文化会 『グローバルワイド 最新世界史図表』 第一学習社				
期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備 考
一 学 期	中間考査	序章 先史の世界 第1章 オリエントと地中海世界 1 古代オリエント世界	・人類の進化、農耕・牧畜を基礎とする諸文明成立過程、及び人類と言語の分化を理解する。 ・西アジア世界の風土の特色を理解する。メソポタミアとエジプトを中心としたオリエント世界の展開およびイラン人王朝の活動とその文明の特徴を理解する。 ・アケメネス朝やササン朝の文明が、東西諸民族の交流やその文明におよぼした影響について学ぶ。	映像教材を使用
	期末考査	2 ギリシア世界 3 ローマ世界	・地中海世界の風土の特色を理解し、エーゲ文明からギリシアのポリス社会について、古代民主政や奴隷制を中心に理解する。 ・ローマ共和政の成立から。地中海世界の統一について理解する。 ・帝政ローマの盛衰について学ぶ。	映像教材を使用
二 学 期	中間考査	第2章 アジア・アメリカの 古代文明 1 インドの古典文明 2 東南アジアの諸文明	・南アジア・東南アジアの風土と諸民族について特色を把握する。 ・インダス文明の特色とアーリヤ人・非アーリヤ人の王朝の展開を理解する。 ・ヒンドゥー教とカースト制の特徴および南アジアにおける仏教の衰退について、その基本的な知識を身につける。 ・東南アジアの諸民族独自の歩みを、南アジア文明や中国文明の影響と関連させながら学習する。	映像教材を使用

期	考查	単元名	学習内容・自己評価	備考
二学期	期末考查	3 中国の古典文明 4 南北アメリカ文明 第3章 内陸アジア世界・東アジア世界の形成 1 草原の遊牧民とオアシスの定住民	<ul style="list-style-type: none"> ・東アジアの風土の特色を理解し、中国文明の起源、殷・周時代と春秋・戦国時代の社会変動や新思想の形成及びその基本的な知識を身につける。 ・秦、漢帝国の統治の特色や、世界との繋がりについて基本的な事項を理解する。 ・アメリカ大陸の古代文明について学ぶ ・内陸アジアの自然と風土の特色と、そこで活躍した遊牧民とその国家形成の過程を、オアシス民との関係において学ぶ。 	映像教材を使用
三学期	学年末考查	2 北方民族の活動と中国の分裂 3 東アジア文化圏の形成 第4章 イスラーム世界の形成と発展 1 イスラーム世界の形成 2 イスラーム世界の発展 3 インド・東南アジア・アフリカのイスラーム化 4 イスラーム文明の発展	<ul style="list-style-type: none"> ・魏晋南北朝時代の変遷と南北朝の文化についてそれぞれの特色を理解する。 ・隋唐帝国の国家制度と、隣接する東アジア文化圏諸国の動向を理解する。 ・イスラーム教の特徴を理解し、中央アジア～アフリカ～東南アジアへと浸透していった経緯やその社会システムを理解する。 ・高度なイスラーム文明が、固有の文化と外来の文化が融合して発展し、ヨーロッパ世界にも大きな影響を与えていることを理解させる。 	映像教材を使用
【学習上の留意点】 <ul style="list-style-type: none"> ・視聴覚教材を効果的に用いる。 				

教科 公民		科目 現代社会	2 単位	対象学年・コース 1年 全コース
<p>【年間学習目標】 私たちが生活する社会の仕組みについて理解を深め、自分たちを取り巻く現状と今後の課題を学ぶ。 学習内容を踏まえ、周囲に起こる問題に自ら目を向ける姿勢を養う。 入試に対応する基礎力の養成に主眼を置く。</p>				
<p>【評価の観点】 定期考査, 休業中の課題, 授業の取組み状況を総合的に評価する。</p>				
<p>【使用教材】 教科書: 高等学校 改訂版 現代社会 (第一学習社)</p>				
期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備考
1 学期	中間考査	第5章 現代の経済社会と私たちの生活 ①経済社会と経済体制 ②現代の企業 ③市場経済のしくみ	<input type="checkbox"/> 経済の基本的なしくみと資本主義経済, 社会主義経済の特徴を理解する。 <input type="checkbox"/> 企業・家計・政府の活動, 企業の社会的責任について理解する。 <input type="checkbox"/> 企業の活動, 株式会社の特徴について理解する。 <input type="checkbox"/> 価格機構のはたらきと市場の失敗について理解する。	
	期末考査	④経済成長と景気変動 ⑤政府の経済的役割と租税の意義 ⑥金融機関のはたらき ⑦戦後の日本経済の動き ⑧産業構造の変化	<input type="checkbox"/> 経済指標を理解し, 景気変動と経済成長が生活に与える影響を考察する。 <input type="checkbox"/> 財政のしくみ, 租税・財政政策の意義と課題について考える。 <input type="checkbox"/> 資金の流れ, 金融機関の役割, 日本銀行の役割について理解する。 <input type="checkbox"/> 日本の高度経済成長やバブル経済の要因について, 理解する。 <input type="checkbox"/> 平成不況に対する政策を理解し, 日本経済の課題について考察する。 <input type="checkbox"/> 産業構造の変化, 経済のサービス化・ソフト化について考察する。	
2 学期	中間考査	⑨雇用と労働問題 ⑩公害の防止と環境保全 ⑪消費者保護と契約 ⑫社会保障と国民福祉	<input type="checkbox"/> 労働者が保護される法を学び, 雇用事情, 労働環境の変化を理解する。 <input type="checkbox"/> 労働問題について, 具体的事例をあげて多角的に考察する。 <input type="checkbox"/> 日本の公害と国や企業の対応, 環境を保全する方策を考える。 <input type="checkbox"/> 消費者問題について, 自分自身の問題として考察する。 <input type="checkbox"/> 消費者主権, 企業の責任, 国の消費者を保護する対策を理解する。 <input type="checkbox"/> 社会保障の意義を理解し, 現代の社会保障の課題について考察する。	
2 学期	期末考査	第6章 国際経済の動向と日本の役割 ①国際経済のしくみと貿易の拡大 ②国際経済の動向 ③発展途上国の経済と南北問題 ④国際協調と日本の役割	<input type="checkbox"/> 貿易の意義, 円高・円安の生じる理由, 経済のグローバル化を考える。 <input type="checkbox"/> 日本の貿易を理解し, 貿易の拡大と貿易摩擦について考察する。 <input type="checkbox"/> 地域的経済統合をはかる動きが見られることを理解する。 <input type="checkbox"/> 南北問題の原因を考え, 発展途上国のかかえている問題を理解する。 <input type="checkbox"/> 国際協力のあり方, 国際経済の中での日本の役割について考える。	

3 学 期	学 年 末 考 査	<p>第4章 国際政治の動向と日本の役割</p> <p>①国家主権と国際法 ②国際連合の役割 ③今日の国際社会 ④核兵器の廃絶と国際平和 ⑤地域紛争と人種・民族問題 ⑥国境と領土問題 ⑦外交政策と日本の役割</p>	<p><input type="checkbox"/>国際法の意義と役割について、多面的に考察し、理解する。</p> <p><input type="checkbox"/>勢力均衡と集団安全保障体制の違いについて考え、国連の役割と課題について理解する。</p> <p><input type="checkbox"/>国際連合の役割と課題について、理解する。</p> <p><input type="checkbox"/>冷戦終結前後の国際社会の状況について、年表を使って整理し、理解する。</p> <p><input type="checkbox"/>核兵器を廃絶するには何が必要かを考え、核兵器の開発・拡散の状況、廃絶するためのさまざまな取り組みについて、具体的事例をあげて多角的に考察する。</p> <p><input type="checkbox"/>なぜ人種や民族の違いにより争うのかを主体的に考え、人種・民族紛争の実態、難民問題について理解する。</p> <p><input type="checkbox"/>国境と領土問題、特に日本の領土問題についての知識を身につける。</p> <p><input type="checkbox"/>国際社会における日本の役割や、国際社会の一員として私たちは何をすべきかを考える。</p>	
その他		<p>第2章 個人の尊重と法の支配</p> <p>①民主政治における個人と国家 ②基本的人権と法の支配 ③世界のおもな政治体制</p> <p>第3章 現代の民主政治と政治参加の意義</p> <p>①日本国憲法の基本原理 ②平和主義と安全保障 ③基本的人権の保障と新しい人権 ④国民主権と議会制民主主義 ⑤内閣と行政の民主化 ⑥裁判所と人権保障 ⑦地方自治と住民の福祉 ⑧世論形成と政治参加</p>	<p>第7章 現代に生きる倫理</p> <p>①豊かな人生を求めて ②日本の伝統的なものの考え方 ③西洋の自然観と人間観 ④私たちの課題</p> <p>第1編 私たちの生きる社会</p> <p>①地球環境問題 ②資源・エネルギー問題 ③科学技術の発達と生命倫理 ④高度情報社会と私たちの生活</p> <p>第2編 現代社会と人間としてのあり方生き方</p> <p>第1章 現代に生きる青年</p> <p>①青年期の意義と自己形成の課題 ②現代社会における青年の生き方 ③伝統や文化と私たちの生活</p> <p>第3編 とともに生きる社会をめざして</p> <p>「税と社会」 「発展途上国の貧困問題の解決をめざして」 「人口問題と私たちの未来」</p>	3年次の選択者が問題演習と並行して学習する。
【学習上の留意点】 進度は目安です。進度の都合上、学習単元が前後します。				

教科 数学 科目 数学 I		3 単位	対象学年・コース SA・1年	
【年間学習目標】 1 教科書の内容を正確に理解する。 2 理解できた事柄を正しく活用して問題が解けるように、問題演習を反復し、理解の定着を図る。 3 授業の内容を活かし、副教材などを用いて応用力を身につける。				
【評価の観点】 定期考査、小テスト、問題集ノートなどの提出物の内容、授業の取組み状況を総合的に評価する。				
【使用教材】 教科書 数研出版 改訂版 高等学校 数学 I、II 副教材 数研出版 REPEAT 数学 I+A, II+B 数研出版 短期完成 データの分析ノート				
期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備 考
一 学 期	中間考査	数学 I 第 1 章 数と式 第 1 節 式の計算 1 整式の加法と減法 2 整式の乗法 3 因数分解 第 2 節 実数 4 実数 5 根号を含む式の計算 第 3 節 1 次不等式 6 不等式の性質 7 1 次不等式 8 絶対値を含む方程式・不等式	<input type="checkbox"/> 整式の計算とその法則が使える <input type="checkbox"/> 因数分解の公式を利用できる <input type="checkbox"/> 有理数、無理数、実数について理解している <input type="checkbox"/> 根号を含む式の加法、減法、乗法の計算ができる。また、分母の有理化ができる <input type="checkbox"/> 不等式の解を、数直線を用いて表示でき、1 次不等式を解くことができる <input type="checkbox"/> 連立不等式の意味を理解し、連立 1 次不等式を解くことができる <input type="checkbox"/> 絶対値の意味から絶対値を含む方程式や不等式を解くことができる	発展 / 3 次式の展開と因数分解 研究 / 数直線上の 2 点間の距離 発展 / 2 重根号 研究 / 絶対値と場合分け
	期末考査	第 2 章 2 次関数 第 1 節 2 次関数とグラフ 1 関数とグラフ 2 2 次関数のグラフ 第 2 節 2 次関数の値の変化 3 2 次関数の最大・最小 4 2 次関数の決定	<input type="checkbox"/> $f(x)$ の記号をしっかりと使用できる <input type="checkbox"/> 平方完成を利用して、2 次関数のグラフの軸と頂点を調べ、グラフが描ける <input type="checkbox"/> グラフの平行移動や対称移動を理解する <input type="checkbox"/> $y = a(x - p)^2 + q$ の形に変形し、最大値、最小値を求められる <input type="checkbox"/> 与えられた条件を関数の式に表現できる <input type="checkbox"/> 2 次関数のグラフと 2 次方程式の関係を理解する	研究 / グラフの平行移動・対称移動

期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備 考
二 学 期	中間考査	第3節 2次方程式と2次不等式 5 2次方程式 6 2次関数のグラフとx軸の位置関係 7 2次不等式 第3章 図形と計量 第1節 三角比 1 三角比 2 三角比の相互関係 3 三角比の拡張	<input type="checkbox"/> 2次方程式が解けるように、解の公式を積極的に利用できる <input type="checkbox"/> 2次関数のグラフとx軸との共有点の個数や位置関係を、 $D=b^2-4ac$ の符号から考察することができる <input type="checkbox"/> 2次関数のグラフと2次不等式の間関係を理解している <input type="checkbox"/> 式を解きやすい形に変形してから、2次不等式を解くことができる <input type="checkbox"/> 直角三角形において三角比の値が求められる <input type="checkbox"/> 三角比の相互関係を覚え、相互関係を用いて、三角比の値が求められる <input type="checkbox"/> 三角比の定義を拡張し、直角や鈍角についても考えられる <input type="checkbox"/> 三角方程式(不等式)が解ける <input type="checkbox"/> 鈍角のときも相互関係を用いて、三角比の値が求められる	発展/放物線と直線の共有点 研究/絶対値を含む関数のグラフ
	期末考査	4 正弦定理 5 余弦定理 6 正弦定理と余弦定理の応用 7 三角形の面積 8 空間図形への応用 第5章 データの分析 1 データの整理 2 データの代表値 3 データの散らばりと四分位数 4 分散と標準偏差 5 データの相関	<input type="checkbox"/> 直線の傾きと正接の間関係を理解し、直線とx軸の正の向きとのなす角が求められる <input type="checkbox"/> 正弦定理、余弦定理を用いて、三角形の角や辺の長さが求められる <input type="checkbox"/> 三角形の面積の公式を用いた問題が解ける <input type="checkbox"/> 正弦定理・余弦定理・面積の公式などを用いて、空間図形への応用ができる 第5章は短期完成ノートを利用 <input type="checkbox"/> 四分位偏差,分散,標準偏差の意味を理解する <input type="checkbox"/> データの傾向を把握し、説明できる <input type="checkbox"/> 散布図や相関係数の意味を理解し、2つのデータの傾向を把握し、説明できる	発展/ヘロンの公式 研究/正四面体の体積 研究/変量の変換
三 学 期	期末考査	数学II 第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式の解 1 複素数とその計算 2 2次方程式の解 3 解と係数の関係 第2節 高次方程式 4 剰余の定理と因数定理 5 高次方程式	<input type="checkbox"/> 虚数や虚数単位の間概念を理解できる <input type="checkbox"/> 複素数や複素数の間相等の間定義を理解している <input type="checkbox"/> 共役な複素数を求められる <input type="checkbox"/> 複素数は四則計算について閉じていることを理解している <input type="checkbox"/> 解の公式を用いて2次方程式の虚数解が求められる <input type="checkbox"/> 2次方程式の解を利用して2次式を因数分解できる <input type="checkbox"/> 2数を解とする2次方程式を作ることができる <input type="checkbox"/> 2次方程式の解の符号に関して解と係数の間関係を利用できる <input type="checkbox"/> 剰余の定理を利用して、多項式を1次式や2次式で割ったときの余りを求められる <input type="checkbox"/> 因数定理を用いて、高次式を因数分解できる <input type="checkbox"/> 因数定理を利用することにより高次方程式を解ける <input type="checkbox"/> 高次方程式が虚数解 $a+bi$ を解にもてば、 $a-bi$ も解にもつことを利用できる	研究/組立除法 発展/3次方程式の解と係数の間関係
【学習上の留意点】 授業進度に合わせて、各自で問題集を解き進め、内容の理解・定着を図ること。				

教科 数学 科目 数学 A		3 単位	対象学年・コース SA・1年	
【年間学習目標】 1 教科書の内容を正確に理解する。 2 理解できた事柄を正しく活用して問題が解けるように、問題演習を反復し、理解の定着を図る。 3 授業の内容を活かし、副教材などを用いて応用力を身につける。				
【評価の観点】 定期考査、小テスト、問題集ノートなどの提出物の内容、授業の取組み状況を総合的に評価する。				
【使用教材】 教科書 数研出版 改訂版 高等学校 数学 I, A, II 副教材 数研出版 REPEAT 数学 I +A, II +B 数研出版 短期完成 図形の性質ノート				
期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備 考
一 学 期	中間考査	数学 I 第 2 章 集合と命題 1 集合 2 命題と条件 3 命題と証明 数学 A 第 1 章 場合の数と確率 第 1 節 場合の数 1 集合の要素の個数 2 場合の数 3 順列 4 組合せ	<input type="checkbox"/> 部分集合、共通部分、和集合、空集合、補集合について理解する <input type="checkbox"/> 集合を要素で書き並べる方法と条件で示す方法を使い分けられる <input type="checkbox"/> ベン図を利用して、集合の要素の個数を数え上げられる <input type="checkbox"/> 命題の真偽を、集合の包含関係に結びつける <input type="checkbox"/> ド・モルガンの法則を理解し、利用できる <input type="checkbox"/> 必要条件、十分条件、必要十分条件、同値、逆・裏・対偶の定義を理解する <input type="checkbox"/> 対偶による証明法や背理法を利用し、命題を証明できる <input type="checkbox"/> 和の法則、積の法則を利用して考えられる <input type="checkbox"/> 順列・組合せの違いを理解することができる <input type="checkbox"/> 円順列、重複順列を考えられる <input type="checkbox"/> 同じものを含む順列・組合せの総数を求められる	研究/3つの集合の共通部分と和集合 研究/ $\sqrt{2}$ が無理数である事の証明 発展/「すべて」と「ある」の否定 研究/重複を許して作る組合せ
	期末考査	第 2 節 確率 5 事象と確率 6 確率の基本性質 7 独立な試行の確率 8 条件付き確率	<input type="checkbox"/> 試行の結果を事象としてとらえ、事象を集合と結びつけて考えられる <input type="checkbox"/> 確率の意味、試行や事象、確率の定義を理解している <input type="checkbox"/> 確率の基本性質を理解し、積事象、和事象、余事象などの確率を求められる <input type="checkbox"/> 確率の計算に集合を活用し、複雑な事象の確率を求められる <input type="checkbox"/> 試行が独立であるかを判断し、その確率を求められる <input type="checkbox"/> 反復試行の意味を理解し、その確率を求められる	研究/原因の確率
二 学 期	中間考査	第 2 章 図形の性質 第 1 節 平面図形 1 三角形の辺の比 2 三角形の外心、内心、重心 3 チェバ・メネラウスの定理 4 円に内接する四角形 5 円と直線 6 2つの円 7 作図 第 2 節 空間図形 8 直線と平面	第 2 章は短期完成ノートを利用 <input type="checkbox"/> 三角形の角の二等分線と比の関係を理解する <input type="checkbox"/> 三角形の外心、内心、重心の性質を理解する <input type="checkbox"/> メネラウス・チェバの定理を理解し、利用できる <input type="checkbox"/> 三角形の3辺の長さの性質を理解する <input type="checkbox"/> 三角形の辺と角の大小関係を理解する <input type="checkbox"/> 円に内接する四角形の性質を理解する <input type="checkbox"/> 円と直線の位置関係を理解する <input type="checkbox"/> 円の接線の性質を理解する <input type="checkbox"/> 接弦定理について理解し、利用できる <input type="checkbox"/> 方べきの定理について理解し、利用できる <input type="checkbox"/> 2つの円の位置関係や共通接線を理解する	研究/三角形の辺と角 研究/方べきの定理の逆 研究/3垂線の定理

期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備考
二 学 期	中間考査	9 空間図形と多面体	<input type="checkbox"/> 空間内の2直線の位置関係を理解する <input type="checkbox"/> 直線と平面の位置関係を理解する <input type="checkbox"/> 2つの平面の位置関係を理解する <input type="checkbox"/> 5つの正多面体の性質を理解する <input type="checkbox"/> オイラーの多面体定理を理解し、利用できる	研究/正多面体の体積 研究/正多面体の種類
	期末考査	数学II 第1章 式と証明 第1節 式と計算 1 3次式の展開と因数分解 2 二項定理 3 整式の割り算 4 分数式とその計算 5 恒等式 第2節 等式・不等式の証明 6 等式の証明 7 不等式の証明	<input type="checkbox"/> 3次の乗法公式と因数分解の公式について理解ができる <input type="checkbox"/> 二項定理をパスカルの三角形と関連付けることができる <input type="checkbox"/> 整式の除法で商や余りを求めることができる <input type="checkbox"/> 与えられた整式の商と余りの関係を理解できる <input type="checkbox"/> 分数式の四則計算が自由にできる <input type="checkbox"/> 恒等式について理解できる <input type="checkbox"/> 恒等式の証明ができる <input type="checkbox"/> 条件式を含む等式の証明ができる。 <input type="checkbox"/> 自明な不等式を証明することができる <input type="checkbox"/> 平方の大小を使って不等式が証明できる <input type="checkbox"/> 絶対値を含む不等式を証明できる <input type="checkbox"/> 相加平均・相乗平均を利用できる	研究/ $(a+b+c)^n$ の展開式 研究/代入による恒等式の係数決定
三 学 期	期末考査	第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 1 直線上の点 2 平面上の点 3 直線の方程式 4 2直線の関係 第2節 円 5 円の方程式 6 円と直線 7 2つの円	<input type="checkbox"/> 数直線上と平面上の2点間の距離、線分の内分点、外分点、三角形の重心、点対称な点を求められる <input type="checkbox"/> いろいろな条件で、直線の方程式を求められる <input type="checkbox"/> 2直線の平行、垂直条件が分かる <input type="checkbox"/> 直線に関して対称な点が求められる <input type="checkbox"/> 与えられた条件から円の方程式を求められる <input type="checkbox"/> 円と直線の位置関係を代数的に判定できる <input type="checkbox"/> 円の接線の方程式が求められる <input type="checkbox"/> 2つの円の交点を通る円の方程式や直線の方程式が求められる	研究/2直線の交点を通る直線 研究/2つの円の交点を通る図形

【学習上の留意点】授業進度に合わせ、各自で問題集を解き進め、内容の理解・定着を図ること。

教科 理科	科目 物理基礎	2 単位	対象学年・コース	1 年 グローバルクラス
<p>【年間学習目標】 物理学的思考を身に着ける。 物理現象を理解し、数式を使って説明できる。 物理の問題の「解き方を記憶する」のではなく、「解き方を理解」し「問題を解く力」を身につける。</p>				
<p>【評価の観点】 「定期考査」・「物理学実験」・「授業への取り組む姿勢」で評価する。</p>				
<p>【使用教材】 教科書 : 物理基礎 (第一学習社) 副教材 : ネオパルノート物理基礎 (第一学習社)</p>				
期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備 考
第1学期	中間考査	速度 加速度	速度 (スカラーとベクトル) 相対速度 等速直線運動 (V-t グラフ) ◎ 等速直線運動のグラフを読む。 加速度 等加速度直線運動 (V-t グラフと速度の3公式) ◎ グラフ読み方・公式の使い方を覚える。	力学台車 ばねばかり エアートラック テープタイマー
	期末考査	落体の運動 力と運動	自由落下 (重力加速度) 上方投射 斜方投射 ◎ 運動の様子を把握し、物理的に考える力をつける。 力の表し方 (力とベクトル) 力の合成 ◎ ベクトル表示を覚える。 フックの法則 (ばねと力の大きさ) 運動の3法則 (慣性の法則・運動方程式・作用反作用の法則) ◎ 力を数値化し、計算できるようにする。 張力・摩擦力・圧力・浮力 ◎ 力の問題を解く。	ばねばかり

期	考查	単元名	学習内容・自己評価	備考
第2学期	中間 考查	仕事 運動エネルギー 位置エネルギー 弾性エネルギー 力学的エネルギー	仕事 仕事率 運動エネルギー 位置エネルギー 弾性エネルギー 運動エネルギーと弾性エネルギー 運動エネルギーと位置エネルギー ◎ エネルギーと仕事の関係を理解する。 ◎ エネルギー保存の法則が使える。	
	期末 考查	熱と比熱 波の伝わり方	温度と熱 比熱と熱量 ※水面・弦を例に波動の基礎を固める。 波の速さ・波の振動数・波の周期 横波と縦波	熱量計（熱量の測定） ウェイブマシーン
第3学期	期末 考查	音波 電位・電流	※音を例に波動を考える。 音の3要素（オシロスコープで観察） ◎ 気柱の振動を考える。 ◎ 弦の振動を考える。 電荷・電気量・電流 ◎ 電荷・電気量・電流の概念を理解する。 オームの法則 ◎ 電位差と抵抗と電流の関係を覚える。	オシロスコープ はく検電器 エボナイト棒 バンデグラフ型発電機 電流計 電圧計
【学習上の留意点】				

教科 理科 科目 生物基礎	2単位	1年 グローバルクラス SA
---------------	-----	----------------

【年間学習目標】

日常生活や社会との関連を意識しつつ、生物や生物現象への関心を高め、目的意識をもって観察・実験・討論などを行い、生物学・生命科学的に探究する能力や態度を身に付けるとともに、生物学や生命科学の基本的な概念・知識や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。

【評価の観点】

- ・生物学や生命科学の基本的な概念・知識や原理・法則を説明できる。
 - ・観察・実験・討論などに参加し、科学的な思考から意見や判断を言語化できる。
 - ・個人と集団の間で主体的かつ協調的に行動できる。
- 以上の観点から、定期考査、長期休業中の課題、観察・実験・討論などの報告書と、各種提出課題（期限厳守）を含む授業への取り組みの状況から、達成された学習状況を総合的に評価するものとする。

【使用教材】

- ・教科書：本川・谷本ら『生物基礎 改訂版』啓林館。
- ・演習問題：第一学習社編集部編『セミナー生物基礎』第一学習社。

期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備考
1 学 期	中間考査	第1部 生物の特徴 <u>第1章 生物の多様性と共通性</u> 1. 多様な生物と共通性 2. 生物共通の単位—細胞— 3. 個体の成り立ちの多様性 <u>第2章 細胞とエネルギー</u> 1. 生命活動とエネルギー 2. 光合成と呼吸	<input type="checkbox"/> 生物の連続性の視点から生物の多様性と共通性を体系的に理解する。 <input type="checkbox"/> 生物世界にみられる階層構造を理解する。 <input type="checkbox"/> 真核細胞と原核細胞を比較し、細胞の内部構造を細胞小器官の多様性から理解する。 <input type="checkbox"/> 単細胞生物と多細胞生物の比較から真核生物の多細胞化の過程を考察する。 <input type="checkbox"/> ATP や酵素の構造と機能を理解し、エネルギーに着目して代謝反応の基本を理解する。 <input type="checkbox"/> 共生説を含めて光合成と呼吸を化学的に理解する。 <input type="checkbox"/> 『セミナー生物基礎』[1]生物の特徴の問題演習により理解の程度を自己評価する。	中学理科「動物の生活と生物の変遷」「生命の連続性」に関する理解を基盤とする。 発展事項として電子顕微鏡で見える細胞小器官を扱う場合がある。
	期末考査	第2部 遺伝子とそのはたらき <u>第1章 遺伝情報とDNA</u> 1. 生物と遺伝 2. DNA の構造 3. 遺伝情報とゲノム <u>第2章 遺伝情報の複製と分配</u> 1. 遺伝情報の複製 2. 遺伝情報の分配	<input type="checkbox"/> 遺伝情報を担う物質として DNA の構造と機能について理解する。 <input type="checkbox"/> 核と染色体の構造に基づき代表的な真核生物がもつ遺伝情報とゲノムを理解する。 <input type="checkbox"/> 分子の世界における遺伝情報の分配であるDNA複製の機構を理解する。 <input type="checkbox"/> 細胞の世界における遺伝情報の分配である体細胞分裂と細胞周期をもとに理解する。	中学理科「生命の連続性」に関する理解を基盤とする。 発展事項として核酸の分子構造や遺伝子発現の調節機構、幹細胞やゲノム医療に関する話題を扱う場合がある。 資料読解による遺伝子に関する科学史や医療診断など

期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備考
1 学期	期末考査 (続き)	第3章 遺伝情報とタンパク質の合成 1. 遺伝子の発現とタンパク質 2. タンパク質の合成 3. 遺伝子の発現と維持	<input type="checkbox"/> セントラル・ドグマをもとに遺伝情報の発現の過程をタンパク質合成として説明する。 <input type="checkbox"/> 遺伝子発現の時空間的な制御によって細胞の分化を理解する。 <input type="checkbox"/> 『セミナー生物基礎』[2]遺伝子とその働きの問題演習により理解の程度を自己評価する。	に関する最新の話題の理解が期待される。
2 学期	中間考査	第3部 生物の体内環境の維持 第1章 体内環境と恒常性 1. 体液とその循環 2. 体液の調節	<input type="checkbox"/> 動物の体内環境と恒常性を関連づけて説明できる。 <input type="checkbox"/> 体液の分類と循環を整理して理解できる。 <input type="checkbox"/> 血液の組成と各成分の構造・機能の特徴を整理して説明できる。 <input type="checkbox"/> 体液の循環と調節にかかわる心臓・肝臓・腎臓の構造・機能をそれぞれ理解する。 <input type="checkbox"/> 水生生物の塩類濃度調節を通して動物がもつ体液調節のしくみについて考察する。 <input type="checkbox"/> 『セミナー生物基礎』[3]生物の体内環境 (1. 体液とその働き) の問題演習により理解の程度を自己評価する。	中学理科「動物の生活と生物の変遷」に関する理解を基盤とする。 思考実験として酸素解離曲線の読み取り, 血液凝固反応の詳細, 尿生成に関わる数値の評価などを行う場合がある。
	期末考査	第2章 体内環境の維持のしくみ 1. 自律神経による調節 2. ホルモンによる調節 3. 自律神経とホルモンの共同作用 第3章 免疫 1. 免疫とは 2. 自然免疫 3. 獲得免疫	<input type="checkbox"/> 自律神経の理解として拮抗的に作用する交感神経と副交感神経を整理して理解する。 <input type="checkbox"/> ホルモンがはたらくしくみと代表的な内分泌系とホルモンを整理して理解する。 <input type="checkbox"/> 恒常性維持のためのフィードバック調節について具体例を用いて理解する。 <input type="checkbox"/> 血糖濃度と体温の調節のしくみを整理して理解する。 <input type="checkbox"/> ほ乳動物がもつ免疫担当細胞の多様性と各細胞がもつ機能を整理して理解する。 <input type="checkbox"/> 自然免疫の役割と特徴を整理して理解する。 <input type="checkbox"/> 獲得免疫として体液性免疫と細胞性免疫の役割と特徴をそれぞれ整理して理解する。 <input type="checkbox"/> 『セミナー生物基礎』[3]生物の体内環境 (2. 体内環境維持のしくみ, 3. 生体防御) の問題演習により理解の程度を自己評価する。	中学理科「動物の生活と生物の変遷」に関する理解を基盤とする。 発展事項として神経細胞の構造, 神経伝達物質, 細胞間の情報伝達のしくみ, 抗体の構造と多様性, 花粉症や拒絶反応のしくみ, 新興感染症を扱う場合がある。 思考実験として糖尿病と血糖濃度調節の数値の評価, 二重免疫拡散法などを扱う場合がある。
3 学期	学年末考査	第4部 生物の多様性と生態系 第1章 多様な植生と遷移 1. 植物と環境のかかわり 2. さまざまな植生 3. 植生の遷移	<input type="checkbox"/> 生物と環境から生態系を体系化して理解する。 <input type="checkbox"/> 環境の多様性と生活形をつなげて理解する。 <input type="checkbox"/> 光環境の変化と土壌形成の理解と合わせて陸上の植生と遷移の過程を体系的に理解する。	中学理科「自然と人間」に関する理解を基盤とする。 発展事項として, ラウンケルの生活形, 気候と地球の科学, 暖かさの指数, 生態系

期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備考
3 学 期	学 年 末 考 査 (続 き)	<u>第2章 気候とバイオーム</u> 1. バイオーム 第3章 生態系のバランスと保全 1. 生態系の成り立ち 2. 物質の循環とエネルギー 3. 生態系のバランスと保全	<input type="checkbox"/> 気候条件と遷移の理解に基づきバイオームの多様性と分布を整理して理解する。 <input type="checkbox"/> 生物間の相互作用として食物連鎖を理解し、生態ピラミッドを用いて定量的に評価する。 <input type="checkbox"/> 炭素、窒素を例に生態系内の物質循環とエネルギーの流れを体系的に理解する。 <input type="checkbox"/> 生態系の変動とバランスについて理解し、人間活動の影響と課題を例示できる。 <input type="checkbox"/> 『セミナー生物基礎』[4]植生の多様性と分布 [5]生態系とその保全の問題演習により理解の程度を自己評価する。	内の物質収支、生態系の多様性を扱う場合がある。 思考実験として、遷移の資料研究、日本のバイオームの模型作成などを扱う場合がある。

【学習上の留意点】

授業を中心とした学習方法（予習・復習の仕方やデジタル学習材の活用法など）については授業担当教員に確認してください。生物と生命現象の理解と探究には概念や知識のインプットとそれらを活用するアウトプットの両方が必要です。そのために『セミナー生物基礎』を使用する中でインプットの不足や誤りを修正し、実践的なアウトプットにつなげることが求められます。また、環境・医療・農業などの最新の話題に触れ、社会や日常生活とのつながりも理解できることが好ましいです。

教科 英語 科目 コミュニケーション英語 I		4 単位	対象学年・コース 1年 SA クラス	
【年間学習目標】 ・基本事項の定着を図り、理解力だけでなく表現力も高める。 ・「予習－授業－復習」の方法や習慣を確立し、高校英語を自ら学ぶ意欲と態度を育てる。 ・外国語学習の意味を再認識させ、自分の力で英語を楽しく読む。				
【評価の観点】 定期考査、小テスト、提出物、授業の取り組み、システム英単語テスト等を総合的に評価する。 リーディング・ライティング・リスニング・スピーキング（4技能）を総合的に評価する。				
【使用教材】 教科書 『MY WAY English Communication I』（三省堂） 副教材 『MY WAY English Communication I』 付属CD（三省堂） 副教材 『MY WAY English Communication I WORKBOOK STANDARD』 副教材 『必携英単語 LEAP』（数研出版） 副教材 『Listening Essentials 1.0』（啓隆社）				
期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備 考
1 学 期	中間 考査	L1 A Story about Names	<input type="checkbox"/> 姓名の順、姓の成り立ち、姓のない国など、名前をめぐる世界の状況について学ぶ。 <input type="checkbox"/> S+V を学ぶ。 <input type="checkbox"/> S+V+O を学ぶ。 <input type="checkbox"/> S+V+C を学ぶ。 <input type="checkbox"/> S+V+O1+O2 を学ぶ。	・各国における名前をめぐる事情の違いについて認識を深めさせる。
		L2 Message from Yanase Takashi	<input type="checkbox"/> やなせたかしさんがアンパンマンを通して私たちに残したメッセージを通じて、平和について考える。 <input type="checkbox"/> SVOC を学ぶ。 <input type="checkbox"/> S+V+O（O=that 節）を学ぶ。 <input type="checkbox"/> 比較級・最上級を学ぶ。	・真のヒーロー像について考えさせる。 ・平和、幸福について考えさせる。
	期末 考査	L3 Purposes of the Olympics	<input type="checkbox"/> オリンピックの歴史(古代・近代)とオリンピックの問題点、その意義について学ぶ。 <input type="checkbox"/> 助動詞を学ぶ。 <input type="checkbox"/> 受け身を学ぶ。 <input type="checkbox"/> 助動詞のついた受け身を学ぶ。	・オリンピックの基礎知識を学ぶ。 ・オリンピックを通して国際交流への関心を高める。
		L4 Hospital Art	<input type="checkbox"/> 病院に設置されている芸術作品から、人々を癒やすことができる芸術の力を学ぶ。 <input type="checkbox"/> 現在進行形を学ぶ。 <input type="checkbox"/> 現在完了形を学ぶ。 <input type="checkbox"/> 過去完了形を学ぶ。	・病院における芸術を鑑賞させる。 ・芸術の効果について考えさせる。

期	考查	単元名	学習内容・自己評価	備考
2 学 期	中間 考 査	L5 Writing Systems in the world	□世界のさまざまな文字やその成り立ち、書き方について学ぶ。 ◇動名詞を学ぶ。 ◇不定詞を学ぶ。 ◇It is ... to を学ぶ。	・世界の言語や文字についての認識を深めさせる。 ・文字を持つ言語と持たない言語の違いについて考えさせる。
		L6 Washoku – Traditional Japanese Dishes -	□無形文化遺産に登録された和食の特徴について、食文化を守る取り組みについて考える。 ◇関係代名詞を学ぶ。 ◇S+V+O1+O2 (O2=how to～) を学ぶ。	・和食の特徴についての説明文を的確に読み取らせる。 ・食の進化と伝統について、考えさせる。
	期末 考 査	L7 From Landmines to Herbs	□地雷跡地に作られたハーブ畑で、ハーブ製品を作り、ビジネスを始めた篠田ちひろさんの活動について学ぶ。 ◇現在分詞の形容詞的用法を学ぶ ◇過去分詞の形容詞的用法を学ぶ。 ◇分詞構文を学ぶ。	・地雷問題とその跡地活用について認識を深めさせる。 ・ビジネスを通じての社会貢献について考えさせる。
		L8 A Mysterious Object from the Past	□古代の遺物を通じて、人類の文明について考える。 ◇関係副詞を学ぶ。 ◇It is...that を学ぶ。	・未知の物体への興味を持たせる。 ・文明の発達について考えさせる。
3 学 期	期末 考 査	L9 Sesame Street	□セサミストリートを通じて、平等と多様性や各国が抱えている諸状況について学ぶ。 ◇if節を学ぶ。 ◇仮定法過去を学ぶ。 ◇I wish~/as if～を学ぶ。	・平等や多様性という概念を理解させる。 ・各国が抱えている諸状況について認識を深めさせる。
		L10 Heritages of Beatrix Potter	□ビアトリクス・ポターの生き方を学び、環境保護について考える ◇S+V+O+to 不定詞を学ぶ。 ◇S+V+O+C(C=動詞の原形, 現在分詞)を学ぶ。 ◇S+V+O1+O2(O2=if/whether 節)を学ぶ。	・ポターの湖水地方への思いを的確に読み取らせる ・環境保護のために自分にできることを考えさせる。
<p>【学習上の留意点】 定着を図るため、音読活動などを積極的にさせる。 WORKBOOK を活用し、内容確認と共に、それぞれの項目で出てきた文法も理解させる。</p>				

□; 学習のねらい ◇; 主な言語材料

教科 英語		科目 英語表現	3 単位	対象学年・コース 1年 SA クラス
<p>【年間学習目標】</p> <p>英文法を項目ごとに系統立てて学び、英語学習の基盤となる文法力を確立し、英文読解や英作文に活用できるようになることを目指す。</p>				
<p>【評価の観点】</p> <p>定期考査、小テスト、提出物、授業の取り組み等を総合的に評価する。 リーディング・ライティング・リスニング・スピーキング（4技能）を総合的に評価する。</p>				
<p>【使用教材】</p> <p>教科書 『MY WAY English Expression I』（三省堂） 問題集 『MY WAY English Expression I ワークブック』（三省堂） 『MY WAY English Expression I 付属 CD』（三省堂）</p>				
期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備 考
1 学 期	中間考査	Unit 1	<ul style="list-style-type: none"> ・ Get Ready (英語の決まり) ① 品詞 ② 代名詞 ③ 可算/不可算名詞 ④ 5 文型 ・ 現在形/現在進行形 ・ 過去形/過去進行形 ・ 未来表現 (will/be going to) ・ 現在完了形 (完了・結果/継続・現在完了進行形) ・ 現在完了形 (経験) / 過去完了 	<p>時制を理解する 不規則動詞変化を理解する(活用テスト)</p>
	期末考査	Unit 2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 助動詞 1 (可能・許可/義務) ・ 助動詞 2 (推量) ・ 受動態 1 (受動態の基本/by 以外の前置詞を伴う表現) ・ 受動態 2 (助動詞+受動態/SV00, SVOC の受動態) 	

期	考查	単元名	学習内容・自己評価	備考
2 学期	中間 考查	Unit 3	<ul style="list-style-type: none"> 不定詞 1 (名詞的用法) 不定詞 2 (副詞的用法/形容詞的用法) 動名詞 分詞 1 (形容詞の働きをする現在分詞・過去分詞) 	準動詞を理解する
	期末 考查	Unit 3	<ul style="list-style-type: none"> 分詞 2 (補語として使われる分詞/分詞構文) 知覚動詞/使役動詞 	
3 学期	期末 考查	Unit 4 Unit 5	<ul style="list-style-type: none"> 比較 1 (比較級/最上級) 比較 2 (原級 as...as~/最上級の意味を表す表現) 関係代名詞 1 (主格/目的格と省略) 関係代名詞 2 (whose, what/that) 関係副詞 (where, when/why, how) 	比較を理解する 関係詞を理解する 仮定法を理解する
【学習上の留意点】 ※ 随時、演習問題を配布し、宿題や小テストを行う。				

高 校 2 年 生 で		Unit 5	<ul style="list-style-type: none"> 仮定法過去/仮定法過去完了 その他の仮定表現 	仮定法を理解する
			<ul style="list-style-type: none"> 部分否定/準否定 間接話法と時制の一致 接続詞など 	

教科 保健体育	体育：2単位（3年次：3単位）	対象学年 1年
科目 体育・保健	保健：1単位（1，2年次のみ）	コース 全コース

【学習目標】

- 【体育】 ・運動することにより体力が向上する最も適した時期である。外周コースの持久走など積極的に運動することによって健康な生活を送るための基礎体力の向上を目指す。また、授業のいろいろなスポーツを経験することによって集団の一員としての行動や集団の規律・秩序といったことを学習する。
- 【保健】 ・思春期から中高年期までの健康に関することや、現代の健康問題を理解し、新しい時代の健康のあり方について、自ら取り組めるように学習する。
- ・集団の生活における健康などに関する知識を身につけ、社会生活における健康の意義を理解する。

【評価の観点】

【体育】 出席状況、授業への取り組み姿勢、実技テスト等を総合的に判断して評価する。

【保健】 考査の素点、ノート及び授業態度等を総合的に判断して評価する。

- 【使用教材】 教科書：現代高等保健体育（大修館書店）
副教材：現代高等保健体育ノート（大修館書店）

【学習内容】

35W	4W	8W	8W	7W	8W
	4月～5月2週	5月3週～7月	9月～2学期中間	2学期中間～12月	1月～3月
学 年	1		2-1	2-2	3
高1年男子 2単位	スポーツテスト	サッカー	剣道	陸上	バスケ
	体づくり運動	バスケ	陸上	剣道	サッカー
	集団行動	剣道	サッカー	バスケ	陸上
高2年男子 2単位	スポーツテスト	サッカー	ソフト	バードゴルフ	バスケ
	体づくり運動	バスケ	バードゴルフ	ソフト	サッカー
	集団行動	ソフト	サッカー	バスケ	バードゴルフ
高3年男子 3単位	4月～7月			9月～12月	/
	ソフト			ソフト	
	サッカー			サッカー	
	テニス			バードゴルフ	
高1年女子 2単位	スポーツテスト	テニス	バスケ	ダンス	陸上
	集団行動・体づくり運動	陸上	テニス		バスケ
高2年女子 2単位	旗体操・スポーツテスト		バレー	ダンス	バレー
	集団行動・体づくり運動		テニス		テニス
高3年女子 3単位	4月～7月			8月～12月	/
	ソフト			バレー	
	バードゴルフ			ソフト	

【体育】

種 目	学習内容	ねらい
集団行動	・集団行動（姿勢、方向転換、集合、整頓、列の増減、開列、など）	集団としての行動を秩序正しく行えることを目指す。
体づくり運動	・体ほぐしの運動 ・体力を高める運動	身のこなしや体の調子を整えさせる。
体育祭練習	・旗体操（女子） ・体育祭練習（学年種目）	集団としての行動を秩序正しく行えることを目指す。
男子	学習内容	ねらい
剣 道	・礼法、（立礼、正座、） ・竹刀の持ち方（構え、足さばき）、素振り ・防具の付け方 ・面、小手、胴打ち、切り返し ・試合形式の稽古 ・試合	剣道の技術の向上と礼儀正しい態度を養う。
陸上競技	・短距離走（50mタイムトライアル） ・リレー競争（バトンパスの方法） ・ハードル走（ハードリングの方法、インターバルの走り方、50mH走） ・持久走〔外周コース（1周700m）を2～5周〕	自己の技能や体力を最大限に発揮し、タイムの向上を目指す。
サッカー	・ボールフィーリング，パス，ドリブル ・シュート ・4対4のスマールサイドゲーム ・11対11のゲーム	サッカーの個人的技能（パス、ドリブル、シュート）を習得し、ゲームに生かせるようにする。ルールを守り、勝敗に対して公平な態度がとれるようにする。
バードゴルフ	・正確なグリップ，アドレス，バックスイング，ダウンスイング，インパクト，フォロー，フィニッシュ	基本的スイングを習得しコースを廻る。審判不在のゲームなので、「正直・公正」のフェアプレイの精神を養う。
バスケットボール	・ドリブル技術習得（左右・ドリブルチェンジ・スピードドリブル） ・2対1のパス ・5メン～3：2～2：1 ・シュート（フリースロー・3P） ・ゲーム	基本的な技術、ルールを覚えるとともに、仲間と協力して行うチームプレーなどをする楽しさや難しさを知り、チームでのオフェンス・ディフェンスを通してバスケットボールに関する理解を深める。
ソフトボール	・キャッチボール（至近距離、遠投、ゴロ、フライ） ・バッティング（素振り、トス） ・バッティング（バント、フリー） ・試合形式の練習，試合 ・チーム別での課題練習	基本的な技術を身につける為にキャッチボール、バッティングなどを行う。また、基礎を生かしたゲーム展開をできようにする。

テニス	<p>正確な構えから、いかなる返球にも対応できるフットワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フォアハンド、バックハンド、ボレー ・ラリー、戦術学習 ・ゲーム 	<p>基本的な技術を身につけ、ダブルスのゲームまで発展させる。お互い協力しながら集中してプレーを行う。</p>
女子	学習内容	ねらい
陸上競技	<ul style="list-style-type: none"> ・短距離走（50mタイムトライアル） ・リレー競争（バトンパスの方法） ・ハードル走（ハードリングの方法、インターバルの走り方、50mH走） 	<p>自己の技能や体力を最大限に発揮し、タイムの向上を目指す。</p>
バスケットボール	<ul style="list-style-type: none"> ・2人組パス（チェスト・ショルダー・バウンズ・オーバーヘッド） ・シュートの仕方（もち方・ボールを当てる位置） ・ドリブル技術習得（左右・ドリブルチェンジ・スピードドリブル） ・レイアップシュート技術の習得 ・3対2（ハーフコート） ・ゲーム 	<p>基本的な技術、ルールを覚えるとともに、仲間と協力して行うチームプレーなどをする楽しさや難しさを知り、個人技ではないチームでのオフENS・ディフェンスを通してバスケットボールに関する理解を深める。</p>
ダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス・ビデオ鑑賞 ・運動課題，テーマの絞込み ・個人のモチーフテスト，修正と踊り込み，通して踊る練習 ・発表会 	<ul style="list-style-type: none"> ・動きで自分の考えが相手に伝わる喜びを味わう。また，仲間と協和する ・楽しみや人に感動を与える楽しさを実感しよう。心と体をほぐしてリズム感を身につけよう。
テニス	<ul style="list-style-type: none"> ・グラウンドストローク（フォアハンド、バックハンド） ・ボレー，ラリー，サービスからラリー ・ゲーム 	<p>基本的な技術を身につけ、ダブルスのゲームまで発展させる。お互い協力しながら集中してプレーを行う。</p>
バレーボール	<ul style="list-style-type: none"> ・パスの技術習得（オーバーハンドパス，アンダーハンドパス），二人組でパス ・サーブ技術習得 ・スパイク技術，レシーブ，ブロックの習得 ・ゲーム 	<p>基礎技術を再確認し、試合で生かせるようにする。</p> <p>ゲームで必要な技術を身につける</p>
ソフトボール	<ul style="list-style-type: none"> ・キャッチボールでボールに慣れる（至近距離～遠投、ゴロなど） ・バッティング練習 ・場面に合わせた守備練習，チームでの練習，連携プレーの確認 ・ゲーム 	<p>身につけた基本技能を発展させ、野球におけるコミュニケーションのとれたゲームが出来るようにする。</p>

バードゴルフ	・正確なグリップ，アドレス，バックスイング，ダウンスイング，インパクト，フォロー，フィニッシュ	基本的スイングを習得しコースを廻る。審判不在のゲームなので、「正直・公正」のフェアプレイの精神を養う。
--------	---	---

【保健】

1年（1単位）	現代社会と健康	生涯を通じる健康・現代社会と健康	現代社会と健康
2年（1単位）	現代社会と健康	現代社会と健康・生涯を通じる健康	現代社会と健康・ 社会生活と健康

1年

1 学期	1 単元 現代社会と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちの健康のすがた ・健康のとらえ方 ・健康と意思決定・行動選択 ・健康に関する健康づくり ・生活習慣病とその予防
2 学期	2 単元 生涯を通じる健康	<ul style="list-style-type: none"> ・思春期と健康 ・性意識と性行動の選択 ・結婚生活と健康 ・妊娠出産と健康 ・家族計画と人工妊娠中絶
	1 単元 現代社会と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故の現状と要因 ・交通社会における運転者の資質と責任 ・安全な交通社会づくり
3 学期	1 単元 現代社会と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・食事と健康 ・運動と健康 ・休養・睡眠と健康 ・喫煙と健康 ・飲酒と健康 ・薬物乱用と健康

2年

1 学期	1 単元 現代社会と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故の現状と要因 ・交通社会における運転者の資質と責任 ・安全な交通社会づくり ・応急手当の意義とその基本 ・心肺蘇生法 ・日常的な応急手当 ・実技
------	--------------	---

2 学期	1 単元 現代社会と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・ 欲求と適応機制 ・ 心身の相関とストレス ・ ストレスへの対処 ・ 心の健康と自己実現
	2 単元 生涯を通じる健康	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加齢と健康 ・ 高齢者のための社会的取り組み ・ 保健制度とその活用 ・ 医療制度とその活用 ・ 医薬品と健康 ・ さまざまな保健活動や対策
3 学期	1 単元 現代社会と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現代の感染症 ・ 感染症の予防 ・ 性感染症・エイズとその予防
	3 単元 社会生活と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・ 働くことと健康 ・ 労働災害と健康 ・ 健康的な職業生活

【学習上の留意点】

『体育』

- ・ クラスの体育委員の指示による整列、挨拶、出欠確認。
- ・ 体育委員を中心に授業の内容に沿った準備運動や補助運動を行う。
- ・ 安全性を重視する。まずは怪我の防止という点で準備体操は十分に行う。施設の正しい利用や用具の管理、運動場の整備なども安全面では重要なことである。
- ・ 服装は学校指定の体操服。運動に相応しい着用の仕方を心掛ける。衛生面にも配慮し、体操着は清潔にしておく。また、シューズケースの置き方についてもクラス毎にまとめ、整理整頓に心掛ける。
- ・ 評価・評定：前期は10段階で評価する。学年末は5段階で評定する。

『保健』

- ・ 教科書、ノートを中心に学習する。ビデオ学習では重要と思われるところについてはメモをとるように心がけること。
- ・ ノートは年2回提出があります。日頃からまとめておくこと。

高校1年 美術（選択者）

教科 芸術		科目 美術	2 単位	対象学年・コース 1年 全コース
【年間学習目標】 様々な課題の制作を通して、表現することの意味とその楽しさを発見すること。				
【評価の観点】				
<ul style="list-style-type: none"> ◆いかに深く対象物を理解し、観ることができるか。 ◆決められた時間内に、より美しく、丁寧に、自由に、自分の思いを、表現できるか。 ◆自分以外の作品を、理解する努力をし、鑑賞できるか。 ◆与えられた時間を有効に真摯な気持ちで立ち向かえるか。 				
【使用教材】 教科書 : 光村図書美術1				
期	月	単元名	学習内容・自己評価	備考
1 学期	4	人物画	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 授業に関する諸注意 (ナイフを使い、鉛筆を削れるようにする。) ◆ 友人の顔 (鉛筆デッサンを通して、人体の成り立ち、立体を平面に移す作業を学ぶ。友人を通して、自己分析する。) 	
	5	エッチング (風景)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 版画の種類、エッチングのプロセス (様々な版画の制作過程を知り、プレス機使用のエッチングの詳細を学ぶ。) ◆ 風景スケッチ(下図) (自分の気に入った場所を探し、構図を考え表現する。) 	文理祭での発表を意識して、制作する。
	6		<ul style="list-style-type: none"> ◆ 転写 (プレス機での転写を学ぶ) ◆ ニードルによる描画 (細密画に挑戦する。) 	粘り強さの習得。
	7		<ul style="list-style-type: none"> ◆ 腐食 (銅版の化学変化を学ぶ。) ◆ 刷り (試刷り、本刷りを通し、印刷物の原理を知る。刷りにより、一枚、一枚表情が違う事を知る。) 	サインは必ず鉛筆。
2 学期	9	デザイン	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 色彩演習 (色の三原色、三要素の理解) ◆ 平面構成、制作の為の下図 (画面中に立体に見える部分を必ず設け、心象を色面でどう表現するか、考える。) 	自力で色を作る楽しさを知る。
	10		<ul style="list-style-type: none"> ◆ 平面構成 (実際に、彩色に入り、時間内にいかに美しく作業できるか、取り組む。) 	二度と同じ色が作れない儂さを知る。
	11	木彫 (抽象立体)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 刃物の取扱説明 (鑿、鋸、万力等、正しい使い方を学ぶ。) ◆ アイディアスケッチ (表現したいものを、形にし、描くことによって、明確にする。) 	怪我をしないよう注意する。
	12		<ul style="list-style-type: none"> ◆ 制作 (直方体の長さを変えず、頭にある、抽象の形を、彫りながら、探していく。) 	
3 学期	1		<ul style="list-style-type: none"> ◆ 制作 (大胆に、かつ慎重に無駄な部分と必要な部分の判断を極める。) 	
	2		<ul style="list-style-type: none"> ◆ 制作 (頭の中の物が、手で触れる物になる、楽しさを学ぶ。) ◆ 仕上げ (紙やすり、ワックスがけ。) 	詰めが甘くならないよう注意する。
	3			
【学習上の留意点】				
制作のための道具を忘れない。美術の時間はナイフで削った鉛筆を使う癖をつける。決められた時間内に制作できるよう工夫する。各自、美術館等に足を運び、美術に慣れ親しむ。				

高校1年 書道（選択者）

教科 芸術		科目 書道 I	2 単位	対象学年・コース 1年 全コース
<p>【年間学習目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> * 書写と書道の違いを理解し、芸術としての書道が書けるように。 * 臨書を通して基本的な書道の技法を身に付け、創作によって自分の書表現することができるようになること。 * 古典の歴史的背景や書道史を学びながら、それらを理解した上で楷書、行書、仮名の運筆法を習得できるようになること。 				
<p>【評価の観点】</p> <ul style="list-style-type: none"> * 毎週授業で書く作品やプリントの提出物によって評価する。 * また、授業の取り組み方や、どの程度上達しているかによって評価する。 				
<p>【使用教材】</p> <p>教科書 : 東京書籍「書道 I」 副教材 : なし</p>				
期	月	単元名	学習内容・自己評価	備 考
一学期	4	<ul style="list-style-type: none"> ・用具用材について ・書道と書写の違いと臨書について 	<ul style="list-style-type: none"> ・書道で使用する書道の道具文房四宝について説明し、道具の特徴を説明する。 ●中学校までやってきた書写と書道の違いが理解できたか。 	片付け方を覚えきれいに道具や教室を利用してもらうようにする。
	5	<ul style="list-style-type: none"> ・楷書の学習 ・九成宮醜泉銘の臨書 ・雁塔聖教序の臨書 ・自書告身の臨書 	<ul style="list-style-type: none"> ・書道の基本とされる楷書の古典を臨書することによって、基本的な筆使いを学ぶ。 ・同じ楷書でも、古典によって異なるので、よく鑑賞し感性、芸術的視点が養えるように。 ●楷書の筆使いである三過折ができるようになったか。 ●それぞれの古典の特徴を理解し、その特徴を表現することができたか。 	
	6	<ul style="list-style-type: none"> ・硬筆の書き方について 	<ul style="list-style-type: none"> ●硬筆は、丁寧に一点一画を大事に書けているかどうか。 	
	7	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字仮名交じりの書について 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字と仮名が調和している作品を創るにはどう書くべきか、文字の配置などについて学ぶ。 	
二学期	9	<ul style="list-style-type: none"> ・篆刻の学習 1 	<ul style="list-style-type: none"> ・篆刻の歴史や知識、彫り方を説明する。 ●篆刻の歴史について、白文の彫り方が理解できたかどうか。 	印刀の扱いに気を付ける。
	10	<ul style="list-style-type: none"> ・篆刻の学習 2 	<ul style="list-style-type: none"> ・篆刻の仕上げ。 	
	11	<ul style="list-style-type: none"> ・行書の学習 ・蘭亭序について 	<ul style="list-style-type: none"> ●行書がいつの時代に、どのような過程を経て出来上がったのか、歴史が理解できたか。 ●書聖王羲之について理解できたか。 ●基本的な文字の崩し方や字形を理解し書くことができたか。 	
	12	<ul style="list-style-type: none"> ・風信帖の臨書 	<ul style="list-style-type: none"> ・三筆の一人空海の書の学び方や書の特徴を説明する。 ●空海が行書の書き方、文字の崩し方を理解し、迷うことなく運筆できたか。 	
三学期	1	<ul style="list-style-type: none"> ・仮名の学習 ・仮名の単体について ・仮名の連綿について ・変体仮名について 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本で生み出された仮名の歴史について。 ・仮名の鑑賞をし、「いろは」を書く。 ●仮名の歴史が理解できたか。 ●仮名の基本的な線の引き方ができたか。 ・変体仮名と平仮名の違いと歴史について。 	
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・高野切第三種の臨書 ・散らし書きへの展開 ・和綴じの仕方について 	<ul style="list-style-type: none"> ・高野切第三種について。 ●仮名の字形が理解できたか。 ●墨継ぎの位置に気を付けて変化つけることができたか。 ・散らし書きの書き方を知り、仮名の美しさを知る。 ●散らし書きの形を知り、自分で表現できたか。 ・1年間の作品を糸で綴じてまとめる。 	和綴じの際、針の扱いに注意する。
	3	<ul style="list-style-type: none"> ・色紙作品 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで学んだ技法を取り入れながら、自分の好きな作品を書く。 	

教科 情報		科目 社会と情報	2単位	対象学年・コース 1年生・全コース
【年間学習目標】 IT領域の学習を通じて、社会のリーダーと成り得る思考力・発表技術・自己概念の形成を目指す。				
【評価の観点】 授業態度と課題製作（4割程度）、各期1回の定期考査（6割程度）の結果を元に総合的な評価をおこなう。				
【使用教材】 教科書：「社会と情報」 実教出版 副教材：必要な場面で提示する				
期	月	単元名	学習内容・自己評価	備考
1 学期	4月	1章 情報社会 3章 情報安全	■座学 情報倫理と安全対策 ■実習 ユーザーIDの配布 基本的なコンピュータの利用法	年間を通じて実習を中心としておこない、必要な場面で座学も随時取り入れる。
	5月	1章 情報社会 5章 問題解決	■座学 メディアとその特徴 問題を解決するには ■実習 Word タイピング 文章作成 Excel 表計算	
	6月	3章 情報安全 5章 問題解決	■座学 知的財産権 ■実習 Word 文章作成 Excel 表計算	
	7月	3章 情報安全 5章 問題解決	■座学 知的財産権 関数と表とグラフの活用 ■実習 Excel 表計算	定期考査
2 学期	9月	4章 デジタル化	■座学 デジタル情報の特徴。 情報の収集 ■実習 PowerPoint 『趣味・夢中なもの』『夏休みの思い出』	
	10月	5章 問題解決	■座学 表現の工夫。 ■実習 PowerPoint 『趣味・夢中なもの』『夏休みの思い出』	
	11月	5章 問題解決	■座学 プレゼンテーションの方法 ■実習 プレゼンテーション 発表	
	12月	4章 デジタル化	■座学 2進法、16進法 ■実習 プレゼンテーション 発表	定期考査
3 学期	1月	2章 コミュニケーション	■座学 ネットワークの仕組み ■実習 Webページの製作(プログラミング)	Webページの製作では、興味のある学問や趣味をテーマにプログラミングする。
	2月	2章 コミュニケーション	■座学 インターネットの仕組み ■実習 Webページの製作(プログラミング)	
	3月	2章 コミュニケーション	■座学 Webページとメールの仕組み ■実習 Webページの作品鑑賞	定期考査
【学習上の留意点】 授業態度、製作課題の内容を重視する。生徒諸君のまじめな学習態度が望まれる。				

期	考查	単元名	学習内容・自己評価	備考
2 学 期 後 期	2 学 期 中 間 考 査	論理的文章（数編）	<ul style="list-style-type: none"> ・設定した課題などに応じて収集した様々な情報を、分析したり整理したりして、効果的に表現するために資する資料を作成する。 ・語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てる 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字テスト ・現代文単語
	2 学 期 期 末 考 査	文学的文章 論理的文章 冬季休業中の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を読んで批評することを通して、人間・社会・自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりする。 ・文章の構成や展開の有り様や、それらが要旨などを伝えるために果たしている効果などを分析、考察し、その価値を判じる本文の構造を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文学史 ・漢字テスト ・現代文単語
3 学 期	3 学 期 期 末 考 査	文学的文章 論理的文章	<ul style="list-style-type: none"> ・書かれている内容だけではなく、それらの内容がどのように書かれているのかなどという点にも着目し、叙述が醸し出すものを味わう。 ・文章に表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取り、人間・社会・自然などについて考察する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文学史 ・漢字テスト。 ・現代文単語
【学習上の留意点】 ・詳しくは授業担当者の指示に従うこと。				

教科 国語 科目 古典		3単位	対象学年・コース 2年 文系	
<p>【年間学習目標】 国語を適切に表現し的確に理解する能力を養い、伝え合う力を高めるとともに思考力を伸ばし心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を養う。</p>				
<p>【評価の観点】 ・学習方法が確立し、基本的な文法事項が定着している。 ・敬語や古典常識、漢文の句形や基礎知識が定着している。</p>				
<p>【使用教材】 教科書 : 高等学校 改訂版 古典B 古文編および漢文編 (第一学習社) 副教材 : クリアカラー国語便覧 (数研出版) これでわかる明快古典文法 (いいずな書店) これでわかる明快古典文法 必修ノート (いいずな出版) 古文単語330 (いいずな書店) 詳説 漢文 (いいずな書店) 詳説 漢文 必修ノート (いいずな書店)</p>				
期	考查	単元名	学習内容・自己評価	備考
1学期	1学期中間考查	(古文) 説話(一) 物語(一) (漢文) 故事・寓話 古代の史話	<p>作品を正確に解釈し、味わう。 ○以下のことを理解、定着する。 ・和歌の修辞 ・助詞(格助詞・接続助詞) ・古典常識(歌合・月の異名など) ・文学史(説話・歌物語)</p> <p>作品を正確に書き下し、解釈し、味わう。 ○以下のことを理解、定着する。 ・句形(否定・部分否定・二重否定・詠嘆・反語・比較)</p>	<p>古文単語テスト</p> <p>ノート提出</p>
	1学期期末考查	(古文) 物語(二) (漢文) 古代の史話 名家の文章	<p>作品を正確に解釈し、味わう。 ○以下のことを理解、定着する。 ・敬語(二方面敬語 絶対敬語) ・副助詞(だに・すら・さへ) ・文学史</p> <p>作品を正確に書き下し、解釈し、味わう。 ○以下のことを理解、定着する。 ・句形(受身・詠嘆・疑問・二重否定・反語)</p>	<p>古文単語テスト</p> <p>ノート提出</p>

期	考查	単元名	学習内容・自己評価	備考
2 学期	2 学期 中間 考查	(古文) 物語(二) (漢文) 項羽と劉邦	作品を正確に解釈し、味わう。 ○以下のことを理解、定着する。 ・敬語(二方面敬語・複合動詞の敬語化) ・文学史 作品を正確に書き下し、解釈し、味わう。 ○以下のことを理解、定着する。 ・句形(疑問・反語・抑揚・詠嘆) ・文学史	古文単語テスト ノート提出
	2 学期 期末 考查	(古文) 日記 (漢文) 項羽と劉邦 儒家の思想	作品を正確に解釈し、味わう。 ○以下のことを理解、定着する。 ・なむの識別 ・なりの識別 ・助詞(終助詞) ・呼応の副詞 ・文学史 作品を正確に書き下し、解釈し、味わう。 ○以下のことを理解、定着する。 ・句形(疑問・反語・仮定・詠嘆)	古文単語テスト ノート提出
3 学期	3 学期 期末 考查	(古文) 物語(二) (漢文) 儒家の思想 道家・法家の思想	作品を正確に解釈し、味わう。 ○以下のことを理解、定着する。 ・文学史 ・古典常識(あらすじ 人物関係) 作品を正確に書き下し、解釈し、味わう。 ○以下のことを理解、定着する。 ・句形(疑問・反語・仮定・否定・限定) ・対句 ・思想・文学史	古文単語テスト ノート提出
<p>【学習上の留意点】教科書の改訂に伴い変更あり。 古文単語のテストを、定期的に流し込んでいく。 授業進度によって、内容が変わることがあります。</p>				

教科 地歴公民 科目 世界史B		3 単位	対象学年・コース 2年 グローバルクラスSA	
【年間学習目標】 ・ヨーロッパ世界の形成と発展過程を概観する。 ・14～17世紀、アジアの大帝国の盛衰をたどる。 ・いわゆる環大西洋革命の進展と世界史的影響について考察する。				
【評価の観点】 定期考査・小テスト、ノート・レポートなど提出物の内容や授業への取り組み状況を、総合的に評価する。				
【使用教材】 教科書：『詳説 世界史B』 山川出版 副教材：『グローバルワイド 最新世界史図表』 第一学習社				
期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備考
一 学 期	中間考査	第5章 ヨーロッパ世界の形成と発展 1 西ヨーロッパ世界の成立 2 東ヨーロッパ世界の成立 3 西ヨーロッパ中世世界の変容 4 西ヨーロッパの中世文化	・ヨーロッパ世界の風土の特色を理解する。 ・ゲルマン人の移動と建国、西ヨーロッパ世界の成立とキリスト教の興隆、封建社会のしくみについて理解する。 ・西欧とは異なる皇帝を中心とした独自の文化・社会を形成したビザンツ帝国について理解する。 ・十字軍の影響で封建制が崩壊し、西欧各国が中央集権化を進めた様子を理解する。	映像教材を使用
	期末考査	第6章 内陸アジア世界・東アジア 世界の展開 1 トルコ化とイスラーム化の進展 2 東アジア諸地域の自立化 3 モンゴルの大帝国 第7章 アジア諸地域の繁栄 1 東アジア世界の動向 2 清代の中国と周辺諸国 3 トルコ・イラン世界の展開 4 ムガル帝国と東南アジア交易の発展	・モンゴル帝国の興亡と、日本を含む諸地域世界に及ぼした影響の大きさを理解する。 ・宋王朝の統治の特色と文化の興隆について学ぶ。 ・明清時代の中国と東アジア諸地域の動向を理解する。 ・14世紀のイスラーム世界の展開を理解する。 ・インドのイスラーム化と文化融合について理解する。	映像教材を使用
二 学 期	中間考査	第8章 近代ヨーロッパ世界の形成 1 ヨーロッパ世界の拡大 2 ルネサンス 3 宗教改革 4 主権国家体制の形成	・大航海時代の到来により、ヨーロッパ経済や社会、文化が大きく変化したことを理解し、多種多様な知識や価値観の流入により、文化運動であるルネサンスが始まったことを理解する。 ・カトリック教会批判の宗教改革により、世俗の規範や秩序が変化していくことを理解する。 ・諸国の政治的なまとまりがより強固になっていく中で、独立した主権国家が各地で形成されていった過程を理解する。	映像教材を使用

期	考查	単元名	学習内容・自己評価	備考
二 学 期	期 末 考 査	第9章 近代ヨーロッパ世界の展開 1 重商主義と啓蒙専制主義 2 ヨーロッパ諸国の海外進出 3 17～18世紀ヨーロッパの文化と社会 第10章 近代ヨーロッパ・ アメリカ世界の成立 1 産業革命 2 アメリカ独立革命	<ul style="list-style-type: none"> ・東アジアの風土の特色を理解し、中国文明の起源、殷・周時代と春秋・戦国時代の社会変動や新思想の形成及びその基本的な知識を身につける。 ・秦、漢帝国の統治の特色や、世界との繋がりについて基本的な事項を理解する。 ・アメリカ大陸の古代文明について学ぶ ・内陸アジアの自然と風土の特色と、そこで活躍した遊牧民とその国家形成の過程を、オアシス民との関係において学ぶ。 	映像教材を使用
三 学 期	学 年 末 考 査	3 フランス革命と ナポレオン 第11章 欧州における近代国民国家 の発展 1 ウィーン体制の成立 2 ヨーロッパの再編と 新統一国家の誕生 3 南北アメリカの発展 4 19世紀の欧米文化	<ul style="list-style-type: none"> ・革命の過程で、フランスがたどった政治体制の変化について理解し、周辺諸国への革命の影響を理解する。 ・ナポレオン戦争後のウィーン体制について理解し、ヨーロッパの勢力図が変化したことを確認する。 ・ウィーン体制への抵抗の中で、自由主義とナショナリズムが進展していったことを理解する。 ・1848年の世界史的な意義を理解する。・クリミア戦争によりヨーロッパの国際関係に変化が生じ、イタリアやドイツの統一運動が進展したことを理解する。 ・ビスマルク外交とヨーロッパの国際関係を理解する。 ・大陸国家となったアメリカ合衆国が、南北戦争を契機に資本主義を進展させたことを理解する。 ・19世紀の欧米文化の特徴とその背景を理解する。 	映像教材を使用
【学習上の留意点】 <ul style="list-style-type: none"> ・視聴覚教材を効果的に用いる。 				

教科 地理歴史 科目 日本史 B	4 単位	対象学年・コース 2年 グローバルクラスSA
-------------------------	------	-------------------------------

【年間学習目標】

我が国の文化と伝統の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。

【評価の観点】

定期考査、小テスト、問題集ノートなどの提出物の内容、授業の取組み状況を総合的に評価する。

【使用教材】

教科書 : 詳説 日本史 B (山川出版社)

副教材 : 最新 日本史図表 (第一学習社) 新日本史研究ノート 標準編 (啓隆社)

期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備考
1 学期	中間考査	第1章 日本文化のあけぼの 1 文化のはじまり 2 農耕社会の成立 3 古墳とヤマト政権 第2章 律令国家の形成 1 飛鳥の朝廷 2 律令国家への道	□自然環境や大陸からの文化の影響による生活の変化に着目して、旧石器文化、縄文文化及び弥生文化の時代の社会について理解させる □我が国における国家の形成と律令体制の確立の過程、隋・唐など東アジア世界との交流に着目して、古代国家の展開と文化の特色について理解させる	
	期末考査	3 平城京の時代 4 天平文化 5 平安朝廷の形成 第3章 貴族性と国風文化 1 摂関政治 2 国風文化 3 地方政治の展開と武士	□荘園・公領の動きや武士の台頭など地方の動向に着目して、古代国家の推移と国風文化の展開及び中世社会の萌芽について理解させる。	

期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備考
2 学期	中間考査	第4章 中世社会の成立 1 院政と平氏の台頭 2 鎌倉幕府の成立 3 武士の社会 4 蒙古襲来と幕府の衰退 5 鎌倉文化	□ 武士の土地支配と公武関係、宋・元とのかわりに着目して、武家政権の形成過程と鎌倉新仏教など文化に見られる新しい気運について理解させる	

	<p>期末 考査</p>	<p>第 5 章 武家社会の成長 1 室町幕府の成立 2 幕府の衰退と庶民の台頭 3 室町文化 4 戦国大名の登場 第 6 章 幕藩体制の成立 1 織豊政権 2 桃山文化 3 幕藩体制の成立 4 幕藩社会の構造</p>	<p>□ 日本の諸地域の動向, 日明貿易など東アジア世界との交流, 庶民の台頭に注目して, 産業経済の発展や下剋上など中世社会の多様な展開及び武家文化と公家文化のかかわりや庶民文化の萌芽など文化の動向について理解させる □ ヨーロッパ世界との接触とその影響, 鎖国などその後の対外関係, 支配体制と身分制度や儒学の役割, 文化の特色に着目して, 織豊政権, 幕藩体制の特質について理解させる</p>	
<p>3 学 期</p>	<p>学 年 末 考 査</p>	<p>第 7 章 幕藩体制の展開 1 幕政の安定 2 経済の発展 3 元禄文化 第 8 章 幕藩体制の動揺 1 幕政の改革 2 宝暦・天明期の文化 3 幕府の衰退と近代への道 4 化政文化</p>	<p>□ 幕藩体制の下での経済機構や交通・技術の発展, 都市の繁栄に着目して, 農業や商工業の発展及び町人文化の形成, 農山漁村の生活文化について理解させる □ 欧米諸国のアジアへの進出, 学問・思想及び産業の新たな展開に着目して, 幕藩体制の動揺と近代化の基盤の形成について理解させる</p>	
<p>【学習上の留意点】 大学入試に対応できるよう、歴史の流れがしっかりと掴めるようにする</p>				

教科 数学 科目 数学II		4 単位	対象学年・コース SA・2年・文系	
【年間学習目標】				
1 教科書の内容を正確に理解する。 2 理解できた事柄を正しく活用して問題が解けるように、問題演習を反復し、理解の定着を図る。 3 授業の内容を活かし、副教材などを用いて応用力を身につける。				
【評価の観点】 定期考査, 小テスト, 問題集ノートなどの提出物の内容, 授業の取組み状況を総合的に評価する。				
【使用教材】 教科書 数研出版 改訂版 高等学校 数学II 副教材 数研出版 REPEAT 数学II+B				
期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備 考
一 学 期	中間考査	数学II 第5章 指数関数・対数関数 第1節 指数関数 1 指数の拡張 2 指数関数 第2節 対数関数 3 対数とその性質 4 対数関数 5 常用対数	<input type="checkbox"/> 指数法則を利用した計算ができる <input type="checkbox"/> 累乗根の定義を理解し、計算ができる <input type="checkbox"/> 指数を有理数や実数の範囲まで拡張する <input type="checkbox"/> 指数関数の性質を理解し、グラフが描け、 a^x を含む方程式や不等式を解けるようにする <input type="checkbox"/> 対数の定義を理解する <input type="checkbox"/> 指数と対数とを相互に書き換えられる <input type="checkbox"/> 対数の公式を理解し、使いこなす <input type="checkbox"/> 対数関数の性質を理解し、グラフを描ける <input type="checkbox"/> 対数関数を含む方程式・不等式を解ける <input type="checkbox"/> 常用対数を理解し、常用対数表を読み取れる <input type="checkbox"/> 常用対数を用いる応用問題が解ける	研究/負の数の n 乗根
	期末考査	第4章 三角関数 第1節 三角関数 1 角の拡張 2 三角関数 3 三角関数のグラフ 4 三角関数の性質	<input type="checkbox"/> 一般角を動径とともに考察でき、図示し、動径の表す角を $\alpha + 360^\circ \times n$ と表すことができる <input type="checkbox"/> 弧度と角度の換算ができる <input type="checkbox"/> 単位円を利用し、三角関数の性質を理解することができる <input type="checkbox"/> $-\theta$ や $\theta \pm \pi$ などの公式を理解し、それらを用いて三角関数の値を求めることができる <input type="checkbox"/> 三角関数が周期関数であることを知り、グラフの特徴やその性質を調べ理解することができる	
二 学 期	中間考査	5 三角関数の応用 第2節 加法定理 6 加法定理 7 加法定理の応用	<input type="checkbox"/> 三角関数を含む方程式、不等式を解くことができる <input type="checkbox"/> 変数を置き換え、関数の最大値、最小値を考えることができる <input type="checkbox"/> 加法定理を証明することができる <input type="checkbox"/> 正接の加法定理から2直線のなす角を求められる。 <input type="checkbox"/> 2倍角、半角の公式を利用することができる <input type="checkbox"/> 三角関数の合成を利用することができる	研究/加法定理と点の回転 発展/和と積の公式

期	考查	単元名	学習内容・自己評価	備考
二 学 期	期 末 考 査	第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 1 微分係数 2 導関数とその計算 3 接線の方程式 第2節 関数の値の変化 4 関数の増減と極大・極小 5 関数の増減・グラフの応用	<input type="checkbox"/> 平均変化率と微分係数の定義を理解する <input type="checkbox"/> 導関数の意味と種々の記号を理解する <input type="checkbox"/> 定義に従って導関数を求められる <input type="checkbox"/> 導関数の公式 $(x^n)' = nx^{n-1}$ を理解する <input type="checkbox"/> 導関数を求めてから、微分係数を求められる <input type="checkbox"/> 接線の方程式を求められる <input type="checkbox"/> 導関数の符号と関数の増減の関係を理解する <input type="checkbox"/> 関数の増減を調べ、極値を求めたり、関数のグラフをかくことができる。 <input type="checkbox"/> 関数の極値の条件から関数を決定できる <input type="checkbox"/> 関数の増減を調べ、最大値・最小値を求められる <input type="checkbox"/> 関数 $y = f(x)$ の増減を調べることで方程式 $f(x) = 0$ の実数解の個数を求められる <input type="checkbox"/> 関数 $y = f(x)$ の増減を調べることで不等式 $f(x) > 0$ の成立を証明することができる。	研究／関数 x^n の導関数
三 学 期	期 末 考 査	第3節 積分法 6 不定積分 7 定積分 8 定積分と図形の面積	<input type="checkbox"/> 不定積分の公式を理解し、また利用して種々の関数の不定積分を求められる <input type="checkbox"/> 面積 $S(x)$ と関数 $f(x)$ の不定積分の関係を理解する <input type="checkbox"/> $\int_a^x f(x)dx$ が x の関数であり、その導関数が $f(x)$ であることを理解する <input type="checkbox"/> 2つの曲線で囲まれる図形の面積を、定積分を利用して求められる	研究／曲線と接線で囲まれた部分の面積 研究／放物線と x 軸で囲まれた部分の面積
【学習上の留意点】 授業進度に合わせ、各自で問題集を解き進め、内容の理解・定着を図ること。				

教科 数学 科目 数学 B		3 単位	対象学年・コース SA・2年・文系	
<p>【年間学習目標】</p> <p>1 教科書の内容を正確に理解する。</p> <p>2 理解できた事柄を正しく活用して問題が解けるように、問題演習を反復し、理解の定着を図る。</p> <p>3 授業の内容を活かし、副教材などを用いて応用力を身につける。</p>				
<p>【評価の観点】 定期考査，小テスト，問題集ノートなどの提出物の内容，授業の取組み状況を総合的に評価する。</p>				
<p>【使用教材】 教科書 数研出版 改訂版 高等学校 数学 II，B 副教材 数研出版 REPEAT 数学 II+B</p>				
期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備 考
一 学 期	中間考査	数学 II 第 3 節 軌跡と領域 8 軌跡と方程式 9 不等式の表す領域 数学 B 第 3 章 数列 第 1 節 等差数列と等比数列 1 数列と一般項 2 等差数列 3 等差数列の和 4 等比数列 5 等比数列とその和	<input type="checkbox"/> 軌跡の方程式が求められる <input type="checkbox"/> 不等式の表す領域が図示できる <input type="checkbox"/> 2変数関数の最大値、最小値を、領域を利用して求められる <input type="checkbox"/> 数列の定義を理解する <input type="checkbox"/> 等差数列の定義を理解し、一般項や和を求められる <input type="checkbox"/> 等差中項の性質を理解し、問題を解ける <input type="checkbox"/> 等比数列の定義を理解し、一般項や和を求められる <input type="checkbox"/> 等比中項の性質を理解し、問題を解ける	研究／放物線を境界線とする領域 研究／複利計算
	期末考査	第 2 節 いろいろな数列 6 和の記号 Σ 7 階差数列 8 いろいろな数列の和 第 3 節 数学的帰納法 9 漸化式 10 数学的帰納法	<input type="checkbox"/> いろいろな数列の和を求められる <input type="checkbox"/> 和の記号 Σ の意味と使い方を理解する <input type="checkbox"/> Σ の公式を導き、それを利用することができる <input type="checkbox"/> 階差数列を利用して数列の一般項を求められる <input type="checkbox"/> 第 n 項までの和の式から、その数列の一般項を求められる。 <input type="checkbox"/> 漸化式を用いた数列の定義を理解する <input type="checkbox"/> 漸化式で表された等差、等比、階差数列を理解し、一般項が求められる <input type="checkbox"/> $a_{n+1} = pa_n + q$ の形の漸化式で表される数列の一般項を求められる <input type="checkbox"/> 数学的帰納法を理解し、証明に利用できる	研究／図形と漸化式 発展／隣接3項間漸化式

期	考查	単元名	学習内容・自己評価	備考
二 学 期	中間 考 査	第1章 平面上のベクトル 第1節 平面上のベクトルとその演算 1 ベクトル 2 ベクトルの演算 3 ベクトルの成分 4 ベクトルの内積	<input type="checkbox"/> ベクトル概念を理解できる <input type="checkbox"/> 逆ベクトルや零ベクトルを理解できる <input type="checkbox"/> ベクトルの和、差、実数倍を理解できる <input type="checkbox"/> ベクトルの平行条件が理解でき、同じ向きの単位ベクトルを式で表現できる <input type="checkbox"/> ベクトルの分解を理解できる <input type="checkbox"/> 成分表示されたベクトルの大きさを求められる。 また、成分表示された2つのベクトルの和、差を成分表示できるができる <input type="checkbox"/> 点の座標とベクトルの成分の関係を理解できる <input type="checkbox"/> 大きさとなす角でベクトルの内積を計算できる <input type="checkbox"/> 成分表示されたベクトルの内積を計算できる <input type="checkbox"/> ベクトルのなす角を、内積を利用して求められる	研究／三角形の面積
	期 末 考 査	第2節 ベクトルと平面図形 5 位置ベクトル 6 ベクトルと図形への応用 7 図形のベクトルによる表示 第2章 空間のベクトル 1 空間の点 2 空間のベクトル 3 ベクトルの成分 4 ベクトルの内積	<input type="checkbox"/> ベクトルで表された等式を、位置ベクトルを用いて証明できる <input type="checkbox"/> 位置ベクトルの一意性を理解し、図形の性質を証明できる <input type="checkbox"/> 図形の頂点に関する位置ベクトルを定めて図形を考察できる <input type="checkbox"/> 線分上の点を、線分を $t:(1-t)$ に内分する点として処理できる <input type="checkbox"/> 直線上の点を位置ベクトルで考察し、直線のベクトル方程式と関連づけできる <input type="checkbox"/> 2直線の位置関係、直線と平面との位置関係が分かる。(特に、平面と直線が垂直になる条件) <input type="checkbox"/> 空間座標が扱える <input type="checkbox"/> 空間におけるベクトルの加法、減法、実数倍、単位ベクトル、逆ベクトル、零ベクトルが平面の場合と同様に定義されることを理解している <input type="checkbox"/> 空間のベクトルを与えられた3つのベクトルで表せる <input type="checkbox"/> 平面と同様に内積が定義されることを理解している <input type="checkbox"/> 位置ベクトルを理解し、利用できる	研究／点と直線との距離
	期 末 考 査	5 ベクトルの図形への応用 6 座標空間における図形	<input type="checkbox"/> 3点が一直線上にある条件が分かる <input type="checkbox"/> 同じ平面上にある条件を式に直せる <input type="checkbox"/> 簡単な平面の方程式や球面の方程式が分かる	発展／平面の方程式

【学習上の留意点】 授業進度に合わせ、各自で問題集を解き進め、内容の理解・定着を図ること。

教科 英語 科目 コミュニケーション英語 II		4 単位	対象学年・コース 2年 SA コース	
【年間学習目標】 1. 広くことばへの関心を高め、豊かな言語観、思考力、表現力を育む 2. 幅広い生き方や価値観、世界観に目を向けさせ、社会の中で自らの力で考え、表現する姿勢を培う				
【評価の観点】 定期考査、小テスト、提出物、授業の取り組み、システム英単語テスト等を総合的に評価する。				
【使用教材】 教科書 『MY WAY English Communication II 』（三省堂） 副教材 『MY WAY English Communication I WORKBOOK STANDARD』				
期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備 考
1 学 期	中 間 考 査	L1 Pictograms	□身近にあるピクトグラム、国や地域によって異なるピクトグラム、日本発祥のピクトグラムなどについて学ぶ。 ◇SVO / SVC を学ぶ。 ◇SVO(O=if 節) を学ぶ。 ◇SVC (C=過去分詞) を学ぶ。	・ピクトグラムの役割を考えさせる。 ・国や地域による違いから、文化の違いを認識させる。
		L2 A New Way to Clean Up the Ocean	□あるオランダ人の若者による海のリサイクルごみ回収のための取り組みや、その挑戦する姿勢について学ぶ。 ◇ SVO1O2(O2=if 節、that 節、what 節) を学ぶ。 ◇it seems that を学ぶ。	・海のごみ回収のしくみを理解させる。 ・あきらめずに挑戦し続けることの意義を考えさせる。
	期 末 考 査	L3 Cuba	□キューバの歴史が生み出した文化的な特徴や、平等と助け合いに重点を置いた社会制度について学ぶ。 ◇It is ... to 不定詞を学ぶ。 ◇It is ... that ~ を学ぶ。 ◇形式目的語を学ぶ。	・キューバの文化や社会の特徴に着目させ、その優れた点や、日本との類似点・相違点を考えさせる。
		L4 The World's Poorest President	□「世界で最も貧しい大統領」と呼ばれたウルグアイのホセ・ムヒカ元大統領の「幸せ」についての考え方を学ぶ。 ◇SVOC(C=動詞の原形、過去分詞) を学ぶ。 ◇help+O+動詞の原形を学ぶ。	・現代社会における「経済発展」と「幸せ」の関係について考えさせる。

期	考查	単元名	学習内容・自己評価	備考
2 学期	中間 考查	L5 Eye Contact	□デフリンピックに参加したろう者女子サッカー選手からアイコンタクトの大切さを学ぶ。 ◇関係代名詞 を学ぶ。 ◇前置詞+関係代名詞を学ぶ。 ◇関係代名詞・関係副詞の非制限用を学ぶ。	・目で伝えるコミュニケーションの大切さについて考えさせる。
		L6 A Space Elevator	□宇宙エレベーターの構造について学び、その実現可能性について考える。 ◇現在完了形 /現在完了進行形を学ぶ。 ◇過去完了進行形 /未来進行形を学ぶ。	宇宙エレベーターについての説明文的に正確に読み取らせる
	期末 考查	L7 An Encouraging Song	□時代を超えて歌い継がれる ZARD の『負けないで』について知り、坂井さんはどのような思いを込めたのかを知る。 ◇助動詞 would を使った表現を学ぶ ◇助動詞+have+過去分詞を学ぶ。 ◇完了不定詞を学ぶ。	・歌詞に込められた思いを認識する。 ・この歌がどのように人々を励ましたのかを認識する。
		L8 Language Contacts	□小笠原諸島の「小笠原言語」を例に、複数の言語が出会うとき、互いに及ぼす影響について考える。 ◇仮定法過去 / 仮定法過去完了 を学ぶ。 ◇if を使わない仮定法を学ぶ。 ◇no matter+疑問詞を学ぶ。	言語接触によって生まれた言語について考え、ことばの大切さを考えさせる。
3 学期	期末 考查	L9 Charles Chaplin	□20世紀の喜劇王と呼ばれたチャップリンの半生を学び、喜劇王になるまでの葛藤について学ぶ。 ◇分詞構文（現在分詞、過去分詞）を学ぶ。 ◇完了形の分詞構文を学ぶ。 ◇付帯状況の with を学ぶ。	人生経験を糧に悲劇から喜劇を生み出した経緯を理解させる。
		L10 The Five-story Pagoda of Horyuji	□1300年もの間倒れずにその姿を保っている法隆寺の五重塔の秘密を学ぶ。 ◇同格の that を学ぶ。 ◇倒置を学ぶ。 ◇省略 S を学ぶ。 ◇強調構文を学ぶ。	・五重塔の構造を的確に読み取らせる。 ・東洋と西洋の建造物の違いについて認識させる。
<p>【学習上の留意点】</p> <p>定着を図るため、音読活動などを積極的にさせる。</p> <p>WORKBOOK を活用し、内容確認と共に、それぞれの項目で出てきた文法も理解させる。</p>				

□; 学習のねらい ◇; 主な言語材料

教科 英語	科目 英語表現Ⅱ	3 単位	対象学年・コース 2年 SA コース	
【年間学習目標】 「英文法」の基礎 ・ 基本を体系的に学習しながら「書く」「話す」表現力を育成します。				
【評価の観点】 定期考査、小テスト、提出物、授業の取り組み等を総合的に評価する。				
【使用教材】 教科書 『MY WAY English Expression II』（三省堂） 参考書 『CROWN 総合英語』（三省堂）				
期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備考
1 学期	中間考査	Unit 1	現在形・現在進行形・その他の進行形の用法 未来完了形・その他の完了形進行形 助動詞と受動態 助動詞1（義務・必要など） 助動詞2（過去の習慣／助動詞を用いた慣用表現） さまざまな受動態の表現	時制、助動詞、受動態 の復習と発展
	期末考査	Unit 2	不定詞と動名詞 自動詞＋不定詞 SVO＋不定詞 疑問詞＋不定詞 完了形、進行形、受動態の不定詞 不定詞を用いたその他の表現 分詞と分詞構文 さまざまな分詞構文 with で付帯状況を表す表現	不定詞、動名詞の復習 と発展
2 学期	中間考査	Unit 3	比較と関係詞 比較級・最上級などの慣用表現 関係詞の非制限用法／複合関係詞 仮定法と否定、話法など 仮定法を用いたさまざまな表現 間接話法／否定表現	比較表現、関係詞、仮 定法、否定表現、話法 の復習と発展
	期末考査	Unit 4	前置詞、接続詞、文修飾副詞 代名詞を使ったさまざまな表現 時間構文 無生物主語構文／名詞構文 譲歩構文	重要構文の学習
3 学期	期末考査	続 Unit 4	結果・程度構文 目的構文 強調表現 同格表現 群動詞 群前置詞	重要構文の学習
【学習上の留意点】 ※ 随時、演習問題を配布し、宿題や小テストを行う。				

教科 保健体育	体育：2単位（3年次：3単位）	対象学年 1年
科目 体育・保健	保健：1単位（1，2年次のみ）	コース 全コース

【学習目標】

- 【体育】 ・運動することにより体力が向上する最も適した時期である。外周コースの持久走など積極的に運動することによって健康な生活を送るための基礎体力の向上を目指す。また、授業のいろいろなスポーツを経験することによって集団の一員としての行動や集団の規律・秩序といったことを学習する。
- 【保健】 ・思春期から中高年期までの健康に関することや、現代の健康問題を理解し、新しい時代の健康のあり方について、自ら取り組めるように学習する。
- ・集団の生活における健康などに関する知識を身につけ、社会生活における健康の意義を理解する。

【評価の観点】

【体育】 出席状況、授業への取り組み姿勢、実技テスト等を総合的に判断して評価する。

【保健】 考査の素点、ノート及び授業態度等を総合的に判断して評価する。

- 【使用教材】 教科書：現代高等保健体育（大修館書店）
副教材：現代高等保健体育ノート（大修館書店）

【学習内容】

35W	4W	8W	8W	7W	8W
	4月～5月2週	5月3週～7月	9月～2学期中間	2学期中間～12月	1月～3月
学 年	1		2-1	2-2	3
高1年男子 2単位	スポーツテスト	サッカー	剣道	陸上	バスケ
	体づくり運動	バスケ	陸上	剣道	サッカー
	集団行動	剣道	サッカー	バスケ	陸上
高2年男子 2単位	スポーツテスト	サッカー	ソフト	バードゴルフ	バスケ
	体づくり運動	バスケ	バードゴルフ	ソフト	サッカー
	集団行動	ソフト	サッカー	バスケ	バードゴルフ
高3年男子 3単位	4月～7月			9月～12月	/
	ソフト			ソフト	
	サッカー			サッカー	
	テニス			バードゴルフ	
高1年女子 2単位	スポーツテスト	テニス	バスケ	ダンス	陸上
	集団行動・体づくり運動	陸上	テニス		バスケ
高2年女子 2単位	旗体操・スポーツテスト		バレー	ダンス	バレー
	集団行動・体づくり運動		テニス		テニス
高3年女子 3単位	4月～7月			8月～12月	/
	ソフト			バレー	
	バードゴルフ			ソフト	

【体育】

種 目	学習内容	ねらい
集団行動	・集団行動（姿勢、方向転換、集合、整頓、列の増減、開列、など）	集団としての行動を秩序正しく行えることを目指す。
体づくり運動	・体ほぐしの運動 ・体力を高める運動	身のこなしや体の調子を整えさせる。
体育祭練習	・旗体操（女子） ・体育祭練習（学年種目）	集団としての行動を秩序正しく行えることを目指す。
男子	学習内容	ねらい
剣 道	・礼法、（立礼、正座、） ・竹刀の持ち方（構え、足さばき）、素振り ・防具の付け方 ・面，小手，胴打ち，切り返し ・試合形式の稽古 ・試合	剣道の技術の向上と礼儀正しい態度を養う。
陸上競技	・短距離走（50mタイムトライアル） ・リレー競争（バトンパスの方法） ・ハードル走（ハードリングの方法，インターバルの走り方，50mH走） ・持久走〔外周コース（1周700m）を2～5周〕	自己の技能や体力を最大限に発揮し，タイムの向上を目指す。
サッカー	・ボールフィーリング，パス，ドリブル ・シュート ・4対4のスマールサイドゲーム ・11対11のゲーム	サッカーの個人的技能（パス、ドリブル、シュート）を習得し、ゲームに生かせるようにする。ルールを守り，勝敗に対して公平な態度がとれるようにする。
バードゴルフ	・正確なグリップ，アドレス，バックスイング，ダウンスイング，インパクト，フォロー，フィニッシュ	基本的スイングを習得しコースを廻る。審判不在のゲームなので，「正直・公正」のフェアプレイの精神を養う。
バスケットボール	・ドリブル技術習得（左右・ドリブルチェンジ・スピードドリブル） ・2対1のパス ・5メン～3：2～2：1 ・シュート（フリースロー・3P） ・ゲーム	基本的な技術、ルールを覚えるとともに、仲間と協力して行うチームプレーなどをする楽しさや難しさを知り，チームでのオフェンス・ディフェンスを通してバスケットボールに関する理解を深める。
ソフトボール	・キャッチボール（至近距離、遠投、ゴロ、フライ） ・バッティング（素振り、トス） ・バッティング（バント、フリー） ・試合形式の練習，試合 ・チーム別での課題練習	基本的な技術を身につける為にキャッチボール、バッティングなどを行う。また，基礎を生かしたゲーム展開をできようにする。

テニス	<p>正確な構えから、いかなる返球にも対応できるフットワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フォアハンド、バックハンド、ボレー ・ラリー、戦術学習 ・ゲーム 	<p>基本的な技術を身につけ、ダブルスのゲームまで発展させる。お互い協力しながら集中してプレーを行う。</p>
女子	学習内容	ねらい
陸上競技	<ul style="list-style-type: none"> ・短距離走（50mタイムトライアル） ・リレー競争（バトンパスの方法） ・ハードル走（ハードリングの方法、インターバルの走り方、50mH走） 	<p>自己の技能や体力を最大限に発揮し、タイムの向上を目指す。</p>
バスケットボール	<ul style="list-style-type: none"> ・2人組パス（チェスト・ショルダー・バウンズ・オーバーヘッド） ・シュートの仕方（もち方・ボールを当てる位置） ・ドリブル技術習得（左右・ドリブルチェンジ・スピードドリブル） ・レイアップシュート技術の習得 ・3対2（ハーフコート） ・ゲーム 	<p>基本的な技術、ルールを覚えるとともに、仲間と協力して行うチームプレーなどをする楽しさや難しさを知り、個人技ではないチームでのオフェンス・ディフェンスを通してバスケットボールに関する理解を深める。</p>
ダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス・ビデオ鑑賞 ・運動課題，テーマの絞込み ・個人のモチーフテスト，修正と踊り込み，通して踊る練習 ・発表会 	<ul style="list-style-type: none"> ・動きで自分の考えが相手に伝わる喜びを味わう。また，仲間と協和する ・楽しみや人に感動を与える楽しさを実感しよう。心と体をほぐしてリズム感を身につけよう。
テニス	<ul style="list-style-type: none"> ・グラウンドストローク（フォアハンド、バックハンド） ・ボレー，ラリー，サービスからラリー ・ゲーム 	<p>基本的な技術を身につけ、ダブルスのゲームまで発展させる。お互い協力しながら集中してプレーを行う。</p>
バレーボール	<ul style="list-style-type: none"> ・パスの技術習得（オーバーハンドパス，アンダーハンドパス），二人組でパス ・サーブ技術習得 ・スパイク技術，レシーブ，ブロックの習得 ・ゲーム 	<p>基礎技術を再確認し、試合で生かせるようにする。</p> <p>ゲームで必要な技術を身につける</p>
ソフトボール	<ul style="list-style-type: none"> ・キャッチボールでボールに慣れる（至近距離～遠投、ゴロなど） ・バッティング練習 ・場面に合わせた守備練習，チームでの練習，連携プレーの確認 ・ゲーム 	<p>身につけた基本技能を発展させ、野球におけるコミュニケーションのとれたゲームが出来るようにする。</p>

バードゴルフ	・正確なグリップ，アドレス，バックスイング，ダウンスイング，インパクト，フォロー，フィニッシュ	基本的スイングを習得しコースを廻る。審判不在のゲームなので、「正直・公正」のフェアプレイの精神を養う。
--------	---	---

【保健】

1年（1単位）	現代社会と健康	生涯を通じる健康・現代社会と健康	現代社会と健康
2年（1単位）	現代社会と健康	現代社会と健康・生涯を通じる健康	現代社会と健康・ 社会生活と健康

1年

1 学期	1 単元 現代社会と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちの健康のすがた ・健康のとらえ方 ・健康と意思決定・行動選択 ・健康に関する健康づくり ・生活習慣病とその予防
2 学期	2 単元 生涯を通じる健康	<ul style="list-style-type: none"> ・思春期と健康 ・性意識と性行動の選択 ・結婚生活と健康 ・妊娠出産と健康 ・家族計画と人工妊娠中絶
	1 単元 現代社会と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故の現状と要因 ・交通社会における運転者の資質と責任 ・安全な交通社会づくり
3 学期	1 単元 現代社会と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・食事と健康 ・運動と健康 ・休養・睡眠と健康 ・喫煙と健康 ・飲酒と健康 ・薬物乱用と健康

2年

1 学期	1 単元 現代社会と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故の現状と要因 ・交通社会における運転者の資質と責任 ・安全な交通社会づくり ・応急手当の意義とその基本 ・心肺蘇生法 ・日常的な応急手当 ・実技
------	--------------	---

2 学期	1 単元 現代社会と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・ 欲求と適応機制 ・ 心身の相関とストレス ・ ストレスへの対処 ・ 心の健康と自己実現
	2 単元 生涯を通じる健康	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加齢と健康 ・ 高齢者のための社会的取り組み ・ 保健制度とその活用 ・ 医療制度とその活用 ・ 医薬品と健康 ・ さまざまな保健活動や対策
3 学期	1 単元 現代社会と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現代の感染症 ・ 感染症の予防 ・ 性感染症・エイズとその予防
	3 単元 社会生活と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・ 働くことと健康 ・ 労働災害と健康 ・ 健康的な職業生活

【学習上の留意点】

『体育』

- ・ クラスの体育委員の指示による整列、挨拶、出欠確認。
- ・ 体育委員を中心に授業の内容に沿った準備運動や補助運動を行う。
- ・ 安全性を重視する。まずは怪我の防止という点で準備体操は十分に行う。施設の正しい利用や用具の管理、運動場の整備なども安全面では重要なことである。
- ・ 服装は学校指定の体操服。運動に相応しい着用の仕方を心掛ける。衛生面にも配慮し、体操着は清潔にしておく。また、シューズケースの置き方についてもクラス毎にまとめ、整理整頓に心掛ける。
- ・ 評価・評定：前期は10段階で評価する。学年末は5段階で評定する。

『保健』

- ・ 教科書、ノートを中心に学習する。ビデオ学習では重要と思われるところについてはメモをとるように心がけること。
- ・ ノートは年2回提出があります。日頃からまとめておくこと。

教科 高校 家庭 科目 家庭基礎		2 単位	対象学年・コース 2年 全コース	
【年間学習目標】 ・ 衣食住、福祉、消費生活などの基本的な知識と技術を身につける。 ・ 生活の中の課題を主体的に解決し、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。 ・ 実践的な学習を通して、生活に必要な知識と技術を身につける。				
【評価の観点】 ・ 定期考査、実技テスト、課題の内容と提出状況、授業に対する取り組み状況などを総合的に評価する。				
【使用教材】 教科書 : 家庭基礎 共に生きる明日をつくる (教育図書) 副教材 : トータルデータ 家庭科ガイドブック (教育図書)、マナーブック (教育図書)				
期	月	単元名	学習内容・自己評価	備 考
1 学 期	4 月	I 家族・地域・社会との共生 第2章 子どもの発達と保育 ① 子ども発達を学ぶ	□子どもの心身の発達の特徴や乳幼児期が人の一生において、重要な時期であることを理解する。	被服実習① 「トートバッグ」 しみ抜き実験
	5 月	② 子どもの生活を知る	□子どもの発達における遊びの意義、生活習慣・食事・健康と安全の重要性を理解する。	
		③ 子どもと育ち合う	□親の役割や子どもを生き育てることの意義について考えることができる。	
		④ 社会が子どもを育てる	□現代の子どもを取り巻く環境の問題にや子どもの権利や福祉について理解する。	
	6 月	第3章 高齢期の生活	□高齢期の心身の特徴、生活について知り、	
7 月	① 超高齢社会を生きる高齢期の心身の特徴と暮らし ② 高齢者の暮らしを支える仕組み	社会的な支援のあり方について理解する。 □高齢者を支える基本的な制度や仕組み、高齢者を支える地域の役割について考えることができる。	1 学期末考査	
8 月				

期	月	単元名	学習内容・自己評価	備考
2 学期	9 月	Ⅱ生活の自立 第1章 食生活と自立 ① 人が食べるということ	<input type="checkbox"/> 食事を健康とのかかわりや、人の一生における食事の役割について理解する。 <input type="checkbox"/> 日本の食文化を知り、食生活を創造する主体であることを確認する。 <input type="checkbox"/> 栄養素の種類や機能について理解する。 <input type="checkbox"/> おもな食品の特徴について理解し、持続可能な食生活、安全で健康な食生活について考え、工夫する。 <input type="checkbox"/> 茶道体験を通して、日本の文化やもてなしの心など、マナーを学ぶ	被服実習② 「ハーフパンツ」
	10 月	② 栄養と食品		調理実習 「軽食」
	11 月	●日本の伝統文化		
	12 月	Ⅱ生活の自立 第4章 消費生活と経済 ① 経済的な自立を目指して ④ 消費者問題の発生と消費者の権利		<input type="checkbox"/> 自分も含めた家族の生活費と家計との関係を認識する。 <input type="checkbox"/> 生涯を見通した経済計画の重要性について理解する。 <input type="checkbox"/> 自分の消費行動の社会への影響力を認識し、適切な意思決定ができる。 <input type="checkbox"/> 消費者問題や消費者の権利や消費者支援
3 学期	1 月	Ⅰ家族・地域・社会との共生 第4章 共生社会と福祉	<input type="checkbox"/> 共生社会の重要性について理解する。 <input type="checkbox"/> 共生社会の実現のために、社会の一員として何ができるかを考え、工夫する。 <input type="checkbox"/> 身近な生活の中からユニバーサルデザインの製品を製作する	
	2 月	① 共生社会の実現のために		
	3 月			被服実習③ 「エプロン」
【学習上の留意点】 学習状況に応じて、予定進度、調理実習・茶道の時期などを変更することがあります。				

期	考查	単元名	学習内容・自己評価	備考
2 学 期 後 期	2 学 期 中 間 考 査	論理的文章（数編）	<ul style="list-style-type: none"> ・設定した課題などに応じて収集した様々な情報を、分析したり整理したりして、効果的に表現するために資する資料を作成する。 ・語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てる 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字テスト ・現代文単語
	2 学 期 期 末 考 査	文学的文章 論理的文章 冬季休業中の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を読んで批評することを通して、人間・社会・自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりする。 ・文章の構成や展開の有り様や、それらが要旨などを伝えるために果たしている効果などを分析、考察し、その価値を判じる本文の構造を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文学史 ・漢字テスト ・現代文単語
3 学 期	3 学 期 期 末 考 査	文学的文章 論理的文章	<ul style="list-style-type: none"> ・書かれている内容だけではなく、それらの内容がどのように書かれているのかなどという点にも着目し、叙述が醸し出すものを味わう。 ・文章に表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取り、人間・社会・自然などについて考察する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文学史 ・漢字テスト。 ・現代文単語
【学習上の留意点】 ・詳しくは授業担当者の指示に従うこと。				

教科 国語 科目 古典		3単位	対象学年・コース 2年 文系	
<p>【年間学習目標】 国語を適切に表現し的確に理解する能力を養い、伝え合う力を高めるとともに思考力を伸ばし心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を養う。</p>				
<p>【評価の観点】 ・学習方法が確立し、基本的な文法事項が定着している。 ・敬語や古典常識、漢文の句形や基礎知識が定着している。</p>				
<p>【使用教材】 教科書 : 高等学校 改訂版 古典B 古文編および漢文編 (第一学習社) 副教材 : クリアカラー国語便覧 (数研出版) これでわかる明快古典文法 (いいずな書店) これでわかる明快古典文法 必修ノート (いいずな出版) 古文単語330 (いいずな書店) 詳説 漢文 (いいずな書店) 詳説 漢文 必修ノート (いいずな書店)</p>				
期	考查	単元名	学習内容・自己評価	備考
1学期	1学期中間考查	(古文) 説話(一) 物語(一) (漢文) 故事・寓話 古代の史話	<p>作品を正確に解釈し、味わう。 ○以下のことを理解、定着する。 ・和歌の修辞 ・助詞(格助詞・接続助詞) ・古典常識(歌合・月の異名など) ・文学史(説話・歌物語)</p> <p>作品を正確に書き下し、解釈し、味わう。 ○以下のことを理解、定着する。 ・句形(否定・部分否定・二重否定・詠嘆・反語・比較)</p>	<p>古文単語テスト</p> <p>ノート提出</p>
	1学期期末考查	(古文) 物語(二) (漢文) 古代の史話 名家の文章	<p>作品を正確に解釈し、味わう。 ○以下のことを理解、定着する。 ・敬語(二方面敬語 絶対敬語) ・副助詞(だに・すら・さへ) ・文学史</p> <p>作品を正確に書き下し、解釈し、味わう。 ○以下のことを理解、定着する。 ・句形(受身・詠嘆・疑問・二重否定・反語)</p>	<p>古文単語テスト</p> <p>ノート提出</p>

期	考查	単元名	学習内容・自己評価	備考
2 学期	2 学期 中間 考查	(古文) 物語(二) (漢文) 項羽と劉邦	作品を正確に解釈し、味わう。 ○以下のことを理解、定着する。 ・敬語(二方面敬語・複合動詞の敬語化) ・文学史 作品を正確に書き下し、解釈し、味わう。 ○以下のことを理解、定着する。 ・句形(疑問・反語・抑揚・詠嘆) ・文学史	古文単語テスト ノート提出
	2 学期 期末 考查	(古文) 日記 (漢文) 項羽と劉邦 儒家の思想	作品を正確に解釈し、味わう。 ○以下のことを理解、定着する。 ・なむの識別 ・なりの識別 ・助詞(終助詞) ・呼応の副詞 ・文学史 作品を正確に書き下し、解釈し、味わう。 ○以下のことを理解、定着する。 ・句形(疑問・反語・仮定・詠嘆)	古文単語テスト ノート提出
3 学期	3 学期 期末 考查	(古文) 物語(二) (漢文) 儒家の思想 道家・法家の思想	作品を正確に解釈し、味わう。 ○以下のことを理解、定着する。 ・文学史 ・古典常識(あらすじ 人物関係) 作品を正確に書き下し、解釈し、味わう。 ○以下のことを理解、定着する。 ・句形(疑問・反語・仮定・否定・限定) ・対句 ・思想・文学史	古文単語テスト ノート提出
<p>【学習上の留意点】教科書の改訂に伴い変更あり。 古文単語のテストを、定期的に流し込んでいく。 授業進度によって、内容が変わることがあります。</p>				

教科 社会 科目 地理 B		3 単位	対象学年・コース 2年 グローバルクラス	
<p>【年間学習目標】</p> <p>*教科書の内容を理解する。</p> <p>*ESD（持続可能な開発のための教育）に基づき、様々な地理的スキルを駆使することにより、世界の諸問題の原因・解決策を正確に見極める力を身に付け、一定の見識が持てるようにする。</p>				
<p>【評価の観点】</p> <p>定期考査、長期休業中の課題、作業プリントなどの提出物の内容、授業の取組み状況を総合的に評価する。</p>				
<p>【使用教材】</p> <p>教科書 : 二宮書店 『新編詳解地理B』 地図帳 : 『新詳高等地図』</p> <p>副教材 : 二宮書店 『データブック オブ・ザ・ワールド』</p>				
期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備考
一学期	中間考査	<p>第Ⅰ編 地図と地理的スキル</p> <p>第1章 地理情報と地図</p> <p>第2章 地図と地域調査</p> <p>第Ⅱ編 現代世界の系統地理的考察</p> <p>第1章 自然環境</p> <p>第1節 地形</p>	<p>□様々な地図を学ぶことで、地理的に世界を俯瞰できるようなスキルを養う。</p> <p>□GIS や地図を読み取る基本的なスキルを習得する。</p> <p>□地上には営力により様々な規模の地形あることを大観する。地形図の読図スキルを習得させる。世界全体から大規模な地形をみて、そこに類似性や規則性が見えてくることを理解する。</p> <p>□大地形・小地形それぞれの特徴、分布や形成要因について基礎的知識や概念を習得し、地形と生活、自然災害との関係を考察する。</p> <p>□地形図の読図スキルを習得する。</p>	
	期末考査	<p>第2節 気候</p> <p>第3節 自然と生活</p> <p>第4節 環境問題</p>	<p>□地球規模でみた気温・降水量・大気大循環、海洋や水の循環を取り上げ、それぞれの特色や形成要因を考察・理解する。長期的におこる気候変動と、異常気象について理解する。</p> <p>□世界の気候区分の方法や世界規模からみた植生・土壌の特色を理解する。世界の気候帯を取り上げ、その分布や形成要因、気候と人々の生活との関連について考察し、基礎的・基本的知識を習得する。</p> <p>□地球上で発生している様々な災害・環境問題を取り上げ、実態と対応策について理解する。</p>	
二学期	中間考査	<p>第2章 資源と産業</p> <p>第1節 農林水産業</p>	<p>□世界の農業・水産業・林業を取り上げ、それぞれの特色や分布、形成要因などについて考察し、基礎的・基本的知識を習得する。</p> <p>□世界や日本の食料問題・課題を世界的視野に留意して概観し、形成要因を考察する。</p>	

期	考查	単元名	学習内容・自己評価	備考
二 学 期	期 末 考 査	第2節 資源・エネルギー 第3節 工業 第4節 流通と消費	<input type="checkbox"/> 世界の資源・エネルギーを取り上げ、それぞれの特色や分布、形成要因などについて考察し、基礎的・基本的知識を習得する。世界や日本の資源・エネルギー問題を世界的視野に留意して概観し、形成要因を考察する。 <input type="checkbox"/> 世界の工業の成り立ち・立地を取り上げ、工業地域の形成と変容に関して考察し、基礎的・基本的知識を習得する。グローバル化する中での世界と日本の工業に関して世界的視野に留意して、それらの動向・形成要因について考察する。 <input type="checkbox"/> 世界の交通・情報通信・貿易・商業・観光を取り上げて、それぞれの特色と動向、形成要因に関して考察し、基礎的・基本的知識を習得する。それぞれの課題に関して世界的視野に留意して考察する。	
三 学 期	期 末 考 査	第3章 人口と村落・都市 第1節 人口 第2節 村落・都市 第4章 生活文化、民族・宗教 第1節 衣食住 第2節 言語と宗教 第3節 民族と国家	<input type="checkbox"/> 世界の人口分布、人口増加・人口構成に関する動向を取り上げて、形成要因に関して考察し、基礎的・基本的知識を習得する。世界の人口増加地域と減少地域の人口問題を比較しながら、日本の人口問題とも関連させて考察する。 <input type="checkbox"/> 様々な規模の集落があることを理解し、村落の立地と形態、都市の発達と変容に関して考察し、村落・都市に関する基礎的・基本的知識を習得する。世界と日本の居住・都市問題の地域性や形成要因について世界的視野に留意して考察する。 <input type="checkbox"/> 世界の衣食住を取り上げ、それらの分布と特色を理解させ、地域性との関連を考察し、基礎的・基本的知識を習得する。 <input type="checkbox"/> 世界の言語と宗教の分布を理解し、言語・宗教と社会との関連を考察し、基礎的・基本的知識を習得する。 <input type="checkbox"/> 民族と国家との関連を理解し、基礎的・基本的知識を習得する。世界的にみた民族と国家との多様性や日本の領土問題について考察し、国家群や国連の役割を理解する。	
【学習上の留意点】 ＊視聴覚教材や白地図、地形図を利用し、多角的な授業を行なう。 ＊GISの技能を積極的に学ぶとともに、AIを利用した授業展開を行なう。 ＊用語や単語の暗記だけでなく、自然と人間の係わりについて理解できるようにさせる。				

教科 数学 科目 数学II		4 単位	対象学年・コース SA・2年・理系	
【年間学習目標】 1 教科書の内容を正確に理解する。 2 理解できた事柄を正しく活用して問題が解けるように、問題演習を反復し、理解の定着を図る。 3 授業の内容を活かし、副教材などを用いて応用力を身につける。				
【評価の観点】 定期考査, 小テスト, 問題集ノートなどの提出物の内容, 授業の取組み状況を総合的に評価する。				
【使用教材】 教科書 数研出版 改訂版 高等学校 数学II, III 副教材 数研出版 REPEAT 数学II+B, III				
期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備考
一学期	中間考査	数学II 第5章 指数関数・対数関数 第1節 指数関数 1 指数の拡張 2 指数関数 第2節 対数関数 3 対数とその性質 4 対数関数 5 常用対数	<input type="checkbox"/> 指数法則を利用した計算ができる <input type="checkbox"/> 累乗根の定義を理解し、計算ができる <input type="checkbox"/> 指数を有理数や実数の範囲まで拡張する <input type="checkbox"/> 指数関数の性質を理解し、グラフが描け、 a^x を含む方程式や不等式を解けるようにする <input type="checkbox"/> 対数の定義を理解する <input type="checkbox"/> 指数と対数とを相互に書き換えられる <input type="checkbox"/> 対数の公式を理解し、使いこなす <input type="checkbox"/> 対数関数の性質を理解し、グラフを描ける <input type="checkbox"/> 対数関数を含む方程式・不等式を解ける <input type="checkbox"/> 常用対数を理解し、常用対数表を読み取れる <input type="checkbox"/> 常用対数を用いる応用問題が解ける	研究/負の数の n 乗根
	期末考査	第4章 三角関数 第1節 三角関数 1 角の拡張 2 三角関数 3 三角関数のグラフ 4 三角関数の性質 5 三角関数の応用 第2節 加法定理 6 加法定理 7 加法定理の応用	<input type="checkbox"/> 一般角を動径とともに考察でき、図示し、動径の表す角を $\alpha + 360^\circ \times n$ と表すことができる <input type="checkbox"/> 弧度と角度の換算ができる <input type="checkbox"/> 単位円を利用し、三角関数の性質を理解することができる <input type="checkbox"/> $-\theta$ や $\theta \pm \pi$ などの公式を理解し、それらを用いて三角関数の値を求めることができる <input type="checkbox"/> 三角関数が周期関数であることを知り、グラフの特徴やその性質を調べ理解することができる <input type="checkbox"/> 三角関数を含む方程式、不等式を解くことができる <input type="checkbox"/> 変数を置き換え、関数の最大値、最小値を考えることができる <input type="checkbox"/> 加法定理を証明することができる <input type="checkbox"/> 正接の加法定理から2直線のなす角を求められる。 <input type="checkbox"/> 2倍角、半角の公式を利用することができる <input type="checkbox"/> 三角関数の合成を利用することができる	研究/加法定理と点の回転 発展/和と積の公式
二学期	中間考査	第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 1 微分係数 2 導関数とその計算 3 接線の方程式 第2節 関数の値の変化 4 関数の増減と極大・極小	<input type="checkbox"/> 平均変化率と微分係数の定義を理解する <input type="checkbox"/> 導関数の意味と種々の記号を理解する <input type="checkbox"/> 定義に従って導関数を求められる <input type="checkbox"/> 導関数の公式 $(x^n)' = nx^{n-1}$ を理解する <input type="checkbox"/> 導関数を求めてから、微分係数を求められる <input type="checkbox"/> 接線の方程式を求められる <input type="checkbox"/> 導関数の符号と関数の増減の関係を理解する <input type="checkbox"/> 関数の増減を調べ、極値を求めたり、関数のグラフをかくことができる。 <input type="checkbox"/> 関数の極値の条件から関数を決定できる <input type="checkbox"/> 関数の増減を調べ、最大値・最小値を求められる	研究/関数 x^n の導関数

期	考查	単元名	学習内容・自己評価	備考
二 学 期	中間 考查	5 関数の増減・グラフの応用	<input type="checkbox"/> 関数 $y = f(x)$ の増減を調べることで方程式 $f(x) = 0$ の実数解の個数を求められる <input type="checkbox"/> 関数 $y = f(x)$ の増減を調べることで不等式 $f(x) > 0$ の成立を証明することができる。	
	期末 考查	第3節 積分法 6 不定積分 7 定積分 8 定積分と図形の面積 数学III 第3章 関数 1 分数関数 2 無理関数 3 逆関数と合成関数 第4章 極限 第1節 数列の極限 1 数列の極限 2 無限等比数列 3 無限級数	<input type="checkbox"/> 不定積分の公式を理解し、また利用して種々の関数の不定積分を求められる <input type="checkbox"/> 面積 $S(x)$ と関数 $f(x)$ の不定積分の関係を理解する <input type="checkbox"/> $\int_a^x f(t)dt$ が x の関数であることを理解し、 x で微分できることを理解する <input type="checkbox"/> 2つの曲線で囲まれる図形の面積を、定積分を利用して求められる <input type="checkbox"/> 分数関数、無理関数のグラフをかくことができる <input type="checkbox"/> 分数関数、無理関数のグラフを利用して不等式を解くことができる <input type="checkbox"/> 逆関数の定義を理解し、種々の関数の逆関数を求めることができる <input type="checkbox"/> 合成関数の定義を理解し、種々の関数の合成関数を求められる <input type="checkbox"/> 数列の収束、発散を判定し、収束する場合はその極限値を求められる <input type="checkbox"/> はさみうちの原理を用いて数列の極限値を求められる <input type="checkbox"/> 無限級数の収束、発散を判定し、収束する場合はその和を求めることができる <input type="checkbox"/> 数列の一般項とその無限級数の収束、発散の関係を理解する	研究/曲線と接線で囲まれた部分の面積 研究/放物線と x 軸で囲まれた部分の面積
三 学 期	期末 考查	第2節 関数の極限 4 関数の極限(1) 5 関数の極限(2) 6 三角関数と極限 7 関数の連続性 第5章 微分法 第1節 導関数 1 微分係数と導関数 2 導関数の計算 第2節 いろいろな関数の導関数 3 いろいろな関数の導関数 4 第 n 次導関数 5 曲線の方程式と導関数	<input type="checkbox"/> 式を変形することで、関数の極限を求められる <input type="checkbox"/> 関数の片側極限を調べ、関数の極限を求められる <input type="checkbox"/> はさみうちの原理を用いて、関数の極限値を求められる <input type="checkbox"/> $\lim_{x \rightarrow 0} \frac{\sin x}{x} = 1$ を利用して、三角関数を含む関数の極限値を求められる <input type="checkbox"/> 関数の連続性、不連続性を判定することができる <input type="checkbox"/> 中間値の定理を利用して、方程式の実数解の存在を示すことができる <input type="checkbox"/> 微分可能性と連続性の関係を理解できる <input type="checkbox"/> 連続が微分可能性の十分条件でないことを理解できる <input type="checkbox"/> 導関数を微分係数から得られる新しい関数として理解できる <input type="checkbox"/> 積・商・合成関数・逆関数等の微分法を定義に基づいて証明できる <input type="checkbox"/> (x^α) が α の範囲が実数に拡張して計算できる <input type="checkbox"/> 様々な関数の導関数の計算ができる <input type="checkbox"/> 自然対数の底 e の定義を理解し、利用できる <input type="checkbox"/> 高次導関数の定義を理解し、種々の関数の高次導関数を求めることができる <input type="checkbox"/> 曲線の媒介変数表示を理解し、媒介変数で表示された関数の導関数が求められる	研究/指数関数 $y = a^x$ のグラフと e の関係
【学習上の留意点】 授業進度に合わせ、各自で問題集を解き進め、内容の理解・定着を図ること。				

教科 数学 科目 数学 B		3 単位	対象学年・コース SA・2年・理系	
<p>【年間学習目標】</p> <p>1 教科書の内容を正確に理解する。</p> <p>2 理解できた事柄を正しく活用して問題が解けるように、問題演習を反復し、理解の定着を図る。</p> <p>3 授業の内容を活かし、副教材などを用いて応用力を身につける。</p>				
<p>【評価の観点】 定期考査，小テスト，問題集ノートなどの提出物の内容，授業の取組み状況を総合的に評価する。</p>				
<p>【使用教材】 教科書 数研出版 改訂版 高等学校 数学 II，B，III</p> <p>副教材 数研出版 REPEAT 数学 II+B，III</p>				
期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備考
一 学 期	中間考査	数学 II 第 3 節 軌跡と領域 8 軌跡と方程式 9 不等式の表す領域 数学 B 第 3 章 数列 第 1 節 等差数列と等比数列 1 数列と一般項 2 等差数列 3 等差数列の和 4 等比数列 5 等比数列とその和	<input type="checkbox"/> 軌跡の方程式が求められる <input type="checkbox"/> 不等式の表す領域が図示できる <input type="checkbox"/> 2変数関数の最大値、最小値を、領域を利用して求められる <input type="checkbox"/> 数列の定義を理解する <input type="checkbox"/> 等差数列を理解し、一般項や和を求められる <input type="checkbox"/> 等差中項の性質を理解し、問題を解ける <input type="checkbox"/> 等比数列を理解し、一般項や和を求められる <input type="checkbox"/> 等比中項の性質を理解し、問題を解ける	研究／放物線を境界線とする領域 研究／複利計算
	期末考査	第 2 節 いろいろな数列 6 和の記号 Σ 7 階差数列 8 いろいろな数列の和 第 3 節 数学的帰納法 9 漸化式 10 数学的帰納法	<input type="checkbox"/> いろいろな数列の和を求められる <input type="checkbox"/> 和の記号 Σ の意味と使い方を理解する <input type="checkbox"/> Σ の公式を導き、それを利用することができる <input type="checkbox"/> 階差数列を利用して数列の一般項を求められる <input type="checkbox"/> 第 n 項までの和の式から、その数列の一般項を求められる。 <input type="checkbox"/> 漸化式を用いた数列の定義を理解する <input type="checkbox"/> 漸化式で表された等差、等比、階差数列を理解し、一般項が求められる <input type="checkbox"/> $a_{n+1} = pa_n + q$ の形の漸化式で表される数列の一般項を求められる <input type="checkbox"/> 数学的帰納法を理解し、証明に利用できる	研究／図形と漸化式 発展／隣接3項間漸化式
二 学 期	中間考査	第 1 章 平面上のベクトル 第 1 節 平面上のベクトルとその演算 1 ベクトル 2 ベクトルの演算 3 ベクトルの成分 4 ベクトルの内積	<input type="checkbox"/> ベクトル概念を理解できる <input type="checkbox"/> 逆ベクトルや零ベクトルを理解できる <input type="checkbox"/> ベクトルの和、差、実数倍を理解できる <input type="checkbox"/> ベクトルの平行条件が理解でき、同じ向き単位ベクトルを式で表現できる <input type="checkbox"/> ベクトルの分解を理解できる <input type="checkbox"/> 成分表示されたベクトルの大きさを求められる。 また、成分表示された 2 つのベクトルの和、差を成分表示できるができる <input type="checkbox"/> 点の座標とベクトルの成分の関係を理解できる <input type="checkbox"/> 大きさとなす角でベクトルの内積を計算できる <input type="checkbox"/> 成分表示されたベクトルの内積を計算できる <input type="checkbox"/> ベクトルのなす角を、内積を利用して求められる	研究／三角形の面積

期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備考
二 学 期	中間考査	第2節 ベクトルと平面図形 5 位置ベクトル 6 ベクトルと図形への応用 7 図形のベクトルによる表示	<input type="checkbox"/> ベクトルで表された等式を、位置ベクトルを用いて証明できる <input type="checkbox"/> 位置ベクトルの一意性を理解し、図形の性質を証明できる <input type="checkbox"/> 図形の頂点に関する位置ベクトルを定めて図形を考察できる <input type="checkbox"/> 線分上の点を、線分を $t:(1-t)$ に内分する点として処理できる <input type="checkbox"/> 直線上の点を位置ベクトルで考察し、直線のベクトル方程式と関連づけできる <input type="checkbox"/> 2直線の位置関係、直線と平面との位置関係が分かる。(特に、平面と直線が垂直になる条件)	研究/点と直線との距離
	期末考査	第2章 空間のベクトル 1 空間の点 2 空間のベクトル 3 ベクトルの成分 4 ベクトルの内積 5 ベクトルの図形への応用 6 座標空間における図形	<input type="checkbox"/> 空間座標が扱える <input type="checkbox"/> 空間におけるベクトルの加法、減法、実数倍、単位ベクトル、逆ベクトル、零ベクトルが平面の場合と同様に定義されることを理解している <input type="checkbox"/> 空間のベクトルを与えられた3つのベクトルで表せる <input type="checkbox"/> 平面と同様に内積が定義されることを理解している <input type="checkbox"/> 位置ベクトルを理解し、利用できる <input type="checkbox"/> 3点が一直線上にある条件が分かる <input type="checkbox"/> 同じ平面上にある条件を式に直せる <input type="checkbox"/> 簡単な平面の方程式や球面の方程式が分かる	発展/平面の方程式
三 学 期	期末考査	数学Ⅲ 第2章 式と曲線 第1節 2次曲線 1 放物線 2 楕円 3 双曲線 4 2次曲線の平行移動 5 2次曲線と直線 6 2次曲線の性質 第2節 媒介変数表示と極座標 7 曲線の媒介変数表示 8 極座標と極方程式 9 コンピュータの利用	<input type="checkbox"/> 放物線、楕円、双曲線の概形を描ける <input type="checkbox"/> 2次曲線の図形的な性質を理解している <input type="checkbox"/> 曲線の平行移動を理解している <input type="checkbox"/> x, y の2次方程式を変形して、その方程式が表す図形を求められる <input type="checkbox"/> 2次曲線と直線の位置関係を、それらの共有点の個数を利用して求められる <input type="checkbox"/> 2次曲線の接線の方程式が求められる <input type="checkbox"/> 2次曲線を離心率 e を用いて統一的に表せる <input type="checkbox"/> 媒介変数表示の意味を理解できる <input type="checkbox"/> 特別な曲線について、その媒介変数表示から x と y の方程式で表すことができる。 <input type="checkbox"/> 2次曲線や円を媒介変数表示できる <input type="checkbox"/> 媒介変数表示の曲線を平行移動して得られる曲線の方程式を求められる <input type="checkbox"/> 極座標で表された点の位置を表示できる <input type="checkbox"/> 極座標で表された点の直交座標が求められる <input type="checkbox"/> 直交座標で表された点の極座標が求められる <input type="checkbox"/> 円や直線を極方程式で表すことができる <input type="checkbox"/> 極方程式で表された曲線を直交座標に関する方程式で表せる <input type="checkbox"/> 直交座標で表された曲線を極方程式で表せる <input type="checkbox"/> 直交座標で表された点の極座標が求められる	研究/直角双曲線 $xy=1$ 研究/2次曲線の接線の方程式 研究/いろいろな曲線の媒介変数表示 研究/分数式による円の媒介変数表示 研究/2次曲線を表す極方程式
【学習上の留意点】 授業進度に合わせ、各自で問題集を解き進め、内容の理解・定着を図ること。				

期	考查	単元名	学習内容・自己評価	備考																			
【年間学習目標】 物理学的思考を身に着ける。 物理現象を理解し、数式を使って説明できる。 物理の問題の「解き方を記憶する」のではなく、「解き方を理解」し「問題を解く力」を身につける。																							
【評価の観点】 「定期考查」・「物理学実験」・「授業への取り組む姿勢」で評価する。																							
【使用教材】 教科書：物理基礎（第一学習社） 物理（第一学習社） 副教材：問題集 セミナー物理基礎＋物理（第一学習社）																							
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:5%;">期</th> <th style="width:10%;">考查</th> <th style="width:25%;">単元名</th> <th style="width:45%;">学習内容・自己評価</th> <th style="width:15%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align:center; vertical-align:middle;">第1学期</td> <td style="text-align:center; vertical-align:middle;">中間 考查</td> <td>力と運動 運動量の保存 物体の運動 剛体の回転とつり合い</td> <td>『運動量と力積』の関係を覚える。 ◎「バットで打ったボール」の問題が解ける。 『運動量保存の法則』・『はね返りの係数』 が使える。 ◎「衝突・分裂・合体とエネルギーの関係」 の問題が解ける。 ※スーパーボールとはね返り ※鉄球の衝突 モーメントを理解する。 ※天秤とつり合い ◎「小円を切り抜いた円板の重心」・「壁に立 てかけられた棒」の問題が解ける。</td> <td style="text-align:center; vertical-align:middle;">天秤</td> </tr> <tr> <td style="text-align:center; vertical-align:middle;">期末 考查</td> <td>力と運動 さまざまな運動</td> <td>『等速円運動』を覚える。 ◎「ループコースター」の問題が解ける。 『単振動』を覚える。 ◎「ばね振り子」・「単振り子」の問題が解 ける。 『万有引力』と『円運動』の関係を覚える。 ◎「人工衛星」の問題が解ける。</td> <td style="text-align:center; vertical-align:middle;">ばね</td> </tr> <tr> <td style="text-align:center; vertical-align:middle;">第2学期</td> <td style="text-align:center; vertical-align:middle;">中間 考查</td> <td>エネルギー 熱とエネルギー 原子と分子 原子・分子の運動</td> <td>『温度』・『熱量』・『比熱』を使うことがで きる。 ※熱量の測定 ◎「熱量の保存」の問題が解ける。 『ボイル・シャルルの法則』を使える。 『内部エネルギーと熱の移動（熱力学の第 1法則）』を覚える。 『定圧変化・定積変化・等温変化』をグラ フで表す。 ◎「P-V グラフ」が書ける。 『気体の分子運動』から、『気体の圧力』を 求める。 『定積モル比熱』・『定圧モル比熱』を計算 で求める。 ◎「気体の分子運動と圧力」・「P-V グラフ」 の問題が解ける。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					期	考查	単元名	学習内容・自己評価	備考	第1学期	中間 考查	力と運動 運動量の保存 物体の運動 剛体の回転とつり合い	『運動量と力積』の関係を覚える。 ◎「バットで打ったボール」の問題が解ける。 『運動量保存の法則』・『はね返りの係数』 が使える。 ◎「衝突・分裂・合体とエネルギーの関係」 の問題が解ける。 ※スーパーボールとはね返り ※鉄球の衝突 モーメントを理解する。 ※天秤とつり合い ◎「小円を切り抜いた円板の重心」・「壁に立 てかけられた棒」の問題が解ける。	天秤	期末 考查	力と運動 さまざまな運動	『等速円運動』を覚える。 ◎「ループコースター」の問題が解ける。 『単振動』を覚える。 ◎「ばね振り子」・「単振り子」の問題が解 ける。 『万有引力』と『円運動』の関係を覚える。 ◎「人工衛星」の問題が解ける。	ばね	第2学期	中間 考查	エネルギー 熱とエネルギー 原子と分子 原子・分子の運動	『温度』・『熱量』・『比熱』を使うことがで きる。 ※熱量の測定 ◎「熱量の保存」の問題が解ける。 『ボイル・シャルルの法則』を使える。 『内部エネルギーと熱の移動（熱力学の第 1法則）』を覚える。 『定圧変化・定積変化・等温変化』をグラ フで表す。 ◎「P-V グラフ」が書ける。 『気体の分子運動』から、『気体の圧力』を 求める。 『定積モル比熱』・『定圧モル比熱』を計算 で求める。 ◎「気体の分子運動と圧力」・「P-V グラフ」 の問題が解ける。	
期	考查	単元名	学習内容・自己評価	備考																			
第1学期	中間 考查	力と運動 運動量の保存 物体の運動 剛体の回転とつり合い	『運動量と力積』の関係を覚える。 ◎「バットで打ったボール」の問題が解ける。 『運動量保存の法則』・『はね返りの係数』 が使える。 ◎「衝突・分裂・合体とエネルギーの関係」 の問題が解ける。 ※スーパーボールとはね返り ※鉄球の衝突 モーメントを理解する。 ※天秤とつり合い ◎「小円を切り抜いた円板の重心」・「壁に立 てかけられた棒」の問題が解ける。	天秤																			
	期末 考查	力と運動 さまざまな運動	『等速円運動』を覚える。 ◎「ループコースター」の問題が解ける。 『単振動』を覚える。 ◎「ばね振り子」・「単振り子」の問題が解 ける。 『万有引力』と『円運動』の関係を覚える。 ◎「人工衛星」の問題が解ける。	ばね																			
第2学期	中間 考查	エネルギー 熱とエネルギー 原子と分子 原子・分子の運動	『温度』・『熱量』・『比熱』を使うことがで きる。 ※熱量の測定 ◎「熱量の保存」の問題が解ける。 『ボイル・シャルルの法則』を使える。 『内部エネルギーと熱の移動（熱力学の第 1法則）』を覚える。 『定圧変化・定積変化・等温変化』をグラ フで表す。 ◎「P-V グラフ」が書ける。 『気体の分子運動』から、『気体の圧力』を 求める。 『定積モル比熱』・『定圧モル比熱』を計算 で求める。 ◎「気体の分子運動と圧力」・「P-V グラフ」 の問題が解ける。																				

		単元名	学習内容・自己評価	備考
第2学期	期末考査	波 波の性質 音 光 レンズ	『波の性質一般』を作図法（反射・屈折・回折・干渉）で覚え。 『音の性質一般』を覚える。 ◎「発音体（気柱・弦）の振動」・「ドップラー効果」の問題が解ける。 ※弦の振動の観察 『光の性質一般』を覚える。 ◎「ヤングの実験」・「薄膜の干渉」・「矩形の干渉」・「ニュートンリング」の問題が解ける。 ※干渉現象の観察 凸・凹レンズ	オシロスコープ 気柱共鳴 おんさ レーザー光線源 スリット 干渉版 ニュートンリング 偏光板 光学実験台
第3学期	期末考査	電気と磁気 電荷と磁場	『電場と電荷に働く力』の関係を覚える。 ◎「クーロンの法則」の問題が解ける。 『電位と仕事』の関係を覚える。 『コンデンサーと電気量』の関係を覚える。 ◎「電気量保存の法則」の問題が解ける。 『オームの法則とキルヒホッフの法則』を覚える。 ◎「回路図」の問題が解ける。	バンデグラフ型起電機 コンデンサーと充電・放電
【学習上の留意点】				

教科	理科	科目	生物	3 単位	対象学年・コース	2年 グローバルクラス 理系
<p>【年間学習目標】</p> <p>生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次の通り育成することを目指す。</p> <p>(1) 生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に着けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>						
<p>【評価の観点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生物学や生命科学の基本的な概念・知識や原理・法則を説明できる。 観察・実験・討論などに参加し、科学的な思考から意見や判断を言語化できる。 個人と集団の間で主体的かつ協調的に行動できる。 <p>以上の観点から、定期考査の素点、休業中の課題の完成度、観察・実験・討論などの報告書や各種提出課題（期限厳守）を含む授業と日常学習への取り組みの状況から、達成された学習状況を総合的に評価するものとする。</p>						
<p>【使用教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書： 本川・谷本ら『生物 改訂版』啓林館。＊『生物基礎 改訂版』を使用することもある。 図説： 吉里ら監修『スクエア最新図説生物 neo』第一学習社。 演習問題： 第一学習社編集部編『セミナー生物基礎』『セミナー生物』第一学習社。 各種模擬試験の問題と解説。 						
期	考査	単元名	学習内容・自己評価		備考	
一 学 期	中間 考査	<p>第1部 生命現象と物質</p> <p><u>第1章 生命と物質</u></p> <p>1. 物質と細胞</p> <p>2. 生命現象とタンパク質</p> <p><u>第2章 代謝</u></p> <p>1. 代謝とエネルギー</p> <p>2. 呼吸</p> <p>3. 光合成</p> <p>4. 窒素代謝</p>	<input type="checkbox"/> 細胞の内部構造と構成する物質の特徴を理解する。 <input type="checkbox"/> さまざまなタンパク質がさまざまな生命現象を支えていることを理解する。 <input type="checkbox"/> 『セミナー生物』[1]細胞と分子の問題演習により理解の程度を自己評価する。 <input type="checkbox"/> 有機物の分解・合成に伴ってエネルギーが出入りするとともに ATP が果たす役割を理解する。 <input type="checkbox"/> 呼吸によってエネルギーが作られる仕組みを理解する。 <input type="checkbox"/> 光合成によって光エネルギーを用いて有機物が作られる仕組みを理解する。 <input type="checkbox"/> 窒素固定と窒素同化について理解する。 <input type="checkbox"/> 『セミナー生物』[2]同化 [3]異化の問題演習により理解の程度を自己評価する。	以下の実験例も参照すること。 原形質分離の観察、細胞質流動の観察、脱水素酵素の反応、アルコール発酵、緑葉色素の抽出と分離、根粒と根粒菌の観察		
	期末 考査	<p><u>第3章 遺伝情報と物質</u></p> <p>1. 遺伝情報とその発現</p> <p>2. 遺伝子の発現調節</p> <p>3. バイオテクノロジー</p>	<input type="checkbox"/> DNA の複製の仕組み、遺伝子の発現の仕組み、および遺伝子情報の変化を理解する。逆転写のしくみを含む。 <input type="checkbox"/> 遺伝子の発現が調節されていること、およびその仕組みの概要を理解する。エピジェネティックな遺伝を含む。	以下の実験例も参照すること。 核内の DNA と RNA の染色による検出、遺伝子の		

期	考查	単元名	学習内容・自己評価	備考
二 学 期	期末 考查 (<u>続き</u>)	第2部 生殖と発生 第1章 有性生殖と染色体の分配 1. 有性生殖	<input type="checkbox"/> 遺伝子を扱った技術について、その原理と有用性を理解させる。 <input type="checkbox"/> 減数分裂による遺伝子の分配と受精により多様な遺伝子的な組み合わせが生じることを理解させる。 <input type="checkbox"/> 無性生殖と比較して減数分裂と受精の意義がわかる。 <input type="checkbox"/> 『セミナー生物』[4]遺伝情報の発現 [5]有性生殖の問題演習により理解の程度を自己評価する。 <input type="checkbox"/> 夏季休業中に「生物基礎」全範囲並びに「生物」の既習範囲を復習する。	発現調節, DNAの切断と電気泳動, 減数分裂と花粉の形成
	中間 考查	2. 遺伝子の多様な組み合わせ 第2章 動物の生殖と発生 1. 動物の配偶子形成と受精	<input type="checkbox"/> 遺伝子の連鎖と組換えについて理解する。 <input type="checkbox"/> 遺伝の法則, 連鎖と組換えにより遺伝子の組合せが変わることを考えることができる。伴性遺伝を含む。 <input type="checkbox"/> 配偶子形成と受精の過程について理解する。 <input type="checkbox"/> 配偶子形成は, 減数分裂を含む一連の過程によって卵や精子などができることを扱う。 <input type="checkbox"/> 『セミナー生物』[5]有性生殖 [6]発生の問題演習により理解の程度を自己評価する。	以下の実験例も参照すること。 組換えによる遺伝的多様性, ウニの受精の観察
	期末 考查	2. 初期発生の過程 第3章 植物の生殖と発生 1. 被子植物の授精 2. 胚と種子の形成 3. 植物の器官形成	<input type="checkbox"/> 卵割から器官分化の始まりまでの過程について理解する。 <input type="checkbox"/> 被子植物を中心とし, 精細胞と卵細胞の形成過程, 重複受精による胚と胚乳の形成などを扱う。 <input type="checkbox"/> 花の形態形成における遺伝子の働きについてはABCモデルなどを取り上げる。 <input type="checkbox"/> 『セミナー生物』[6]発生の問題演習により理解の程度を自己評価する。 <input type="checkbox"/> 冬季休業中に「生物基礎」全範囲並びに「生物」の既習範囲を復習する。	以下の実験例も参照すること。 ウニの初期発生の観察, ニワトリの初期発生とアポトーシス, 花粉の発芽と花粉管の観察, 芽と茎頂分裂組織の観察
三 学 期	学年 末 考查	第3部 生物の環境応答 第1章 刺激の受容と反応 1. 刺激の受容 2. 神経 3. 神経系 4. 効果器 第2章 動物の行動 1. 生得的行動 2. 学習行動	<input type="checkbox"/> 眼や耳の感覚細胞が刺激を受容する仕組みを理解する。 <input type="checkbox"/> 受容器と効果器は中枢神経と末梢神経からなる神経系によって連絡されていること, 神経に興奮が発生して伝えられる仕組みを理解する。 <input type="checkbox"/> 筋肉の筋原繊維が収縮する仕組みを理解する。 <input type="checkbox"/> 刺激に対する反応としての動物個体の行動を神経系における情報の流れを理解する。様々な動物の行動を理解する。 <input type="checkbox"/> 『セミナー生物』[8]動物の反応と行動の問題演習により理解の程度を自己評価する。	以下の実験例も参照すること。 盲斑の位置と形, アリの道しるべフェロモン, オーキシン濃度と植物の成長

期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備考
三学期	学年末考査(続き)	<p>第3章 植物の環境応答</p> <p>1. 植物の一生と植物ホルモン</p> <p>2. 発芽と成長の環境応答</p> <p>3. 花芽形成の環境応答</p> <p>4. 花や果実の成長と老化</p> <p>5. 光受容体と植物ホルモンのはたらきのまとめ</p>	<p><input type="checkbox"/> 植物の一生について環境に応答してはたらく植物ホルモンのちがいを理解する。代表的な植物ホルモンとして、オーキシシンやジベレリンなどを学ぶ。</p> <p><input type="checkbox"/> 環境の変化と開花のしくみについて理解する。</p> <p><input type="checkbox"/> 植物の光環境に関係する植物ホルモンについて理解する。光受容体として、フィトクロムなどの働きを知る。</p> <p><input type="checkbox"/> 『セミナー生物』[7]植物の環境応答の問題演習により理解の程度を自己評価する。</p> <p><input type="checkbox"/> 春季休業中に「生物基礎」全範囲並びに「生物」の既習範囲を復習する。</p>	

【学習上の留意点】

授業を中心とした学習方法(予習・復習の仕方やデジタル学習材の活用法など)については授業担当教員に確認してください。生物と生物現象の理解・探究には概念や知識のインプットとそれらを活用するアウトプットの両方が必要です。『セミナー生物基礎』『セミナー生物』を使いインプットの不足を埋め、誤りを修正し、実践的なアウトプットにつなげましょう。あわせて、希望する進路で要求される学力を身に着けるため、適する問題集や参考書を段階的に追加しましょう。環境・医療・農業などの最新の話題に触れ、社会や日常生活とのつながりも理解できることが好ましいです。

期	考查	単元名	学習内容・自己評価	備考
1 学期	期末 考查	2. 物質量 3. 溶解と濃度 4. 状態変化と気体の圧力 5. 化学変化と化学の基本法則 第2節 酸と塩基の反応 1. 酸と塩基 2. 水素イオン濃度 3. 中和と塩 4. 中和滴定 第3節 酸化還元反応 1. 酸化と還元 2. 酸化剤と還元剤の反応 3. 金属のイオン化傾向 4. 酸化還元反応の利用 5. 電池 6. 電気分解	<input type="checkbox"/> 物質量と粒子数、質量、気体の体積との関係について理解する。 <input type="checkbox"/> 物質量に基づく計算方法に習熟する。 <input type="checkbox"/> 物質の溶解と濃度について学習する。 <input type="checkbox"/> 状態変化に伴う熱運動のエネルギーの変化と、気体の圧力について学習する。 <input type="checkbox"/> 化学反応式は化学反応に関与する物質とその量的関係を表すことを理解する。 <input type="checkbox"/> 酸と塩基の概念を固め、その性質を理解する。 <input type="checkbox"/> 酸、塩基の強弱と電離度の大小関係を理解する。 <input type="checkbox"/> 水素イオン濃度とpHとの関係を理解する。 <input type="checkbox"/> 中和反応で生成する塩の性質を学ぶ。 <input type="checkbox"/> 中和滴定の操作を学び、ビュレット、ホールピペットなどの取り扱い方を知る。 <input type="checkbox"/> 中和反応に関与する物質の量的関係を理解する。 <input type="checkbox"/> 酸化と還元が電子の授受によることを理解する。 <input type="checkbox"/> 酸化剤、還元剤について理解し、代表的な酸化剤と還元剤の反応を学ぶ。 <input type="checkbox"/> 金属のイオン化傾向に基づく金属の反応性を理解する。 <input type="checkbox"/> 電池は、酸化還元反応によって電気エネルギーを取り出す仕組みであることを理解する。 <input type="checkbox"/> 電気分解は、外部から加えた電気エネルギーによって、電極で酸化還元反応が起こることを理解する。 <input type="checkbox"/> 反応に関与した物質の変化量と電気量との関係を理解する。	※測定または計算による数値には有効数字が伴う。 ※実験・観察は理科の学習を深く学ぶためには不可欠である。
2 学期	中間 考查	【化学】 第I章 物質の状態 ※第1節 化学結合と結晶 1. 化学結合と結晶の性質 2. 金属結晶の構造 3. イオン結晶の構造 4. 共有結晶の構造 5. 分子間力と分子結晶 6. 非結晶 第2節 物質の三態変化 1. 物質の三態とその変化 2. 気液平衡と蒸気圧 第3節 気体の性質 1. 気体の体積変化 2. 気体の状態方程式 3. 理想気体と実在の気体	<input type="checkbox"/> 物質の沸点、融点を分子間力や化学結合と関連付けて理解する。 <input type="checkbox"/> 状態変化に伴うエネルギーの出入りを理解する。 <input type="checkbox"/> 状態間の平衡と温度や圧力との関係について、状態図を用いて学ぶ。 <input type="checkbox"/> 気体の体積と圧力や温度との関係(ボイルの法則、シャルルの法則)を理解する。 <input type="checkbox"/> 気体の状態方程式を理解し、その応用を学習する。また、実在の気体と理想気体の違いを理解する。 <input type="checkbox"/> 混合気体について、分圧の法則を理解する。	※第1節の内容はすでに学習しているので、ここでは復習(演習)を中心に学習する。

期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備 考
2 学 期	期 末 考 査	第4節 溶液の性質 1. 溶解と溶液 2. 希薄溶液の性質 3. コロイド溶液 第Ⅱ章 物質の変化と平衡 第1節 物質とエネルギー 1. 反応熱と熱化学方程式 2. ヘスの法則と結合エネルギー ※第2節 電池・電気分解 1. 電池 2. 電気分解 第3節 化学反応の速さ 1. 化学反応の速さと濃度・圧力 2. 化学反応の速さと温度 3. 触媒 第4節 化学平衡 1. 可逆反応と平衡 2. 平衡状態の変化と平衡移動 3. 平衡定数 4. 電離平衡	<input type="checkbox"/> 溶解の仕組みを理解する。 <input type="checkbox"/> 溶解度を溶解平衡と関連付けて理解する。 <input type="checkbox"/> 気体の溶解度を理解する。 <input type="checkbox"/> 蒸気圧降下、沸点上昇、凝固点降下及び浸透圧の定量的な取扱いを学習する。 <input type="checkbox"/> コロイドを理解し、その溶液の性質を学習する。 <input type="checkbox"/> 化学反応における熱及び光の発生や吸収は、反応の前後における物質のもつ化学エネルギーの差から生じることを理解する。 <input type="checkbox"/> 熱化学方程式のつくり方を習得する。 <input type="checkbox"/> ヘスの法則を理解する。 <input type="checkbox"/> 反応速度の表し方及び反応速度に影響を与える要因を理解する。 <input type="checkbox"/> 触媒の働きとその利用を学習する。 <input type="checkbox"/> 可逆反応、化学平衡及び化学平衡の移動を理解する。 <input type="checkbox"/> ルシャトリエの原理を理解する。 <input type="checkbox"/> 平衡定数を理解し、それを応用した量的な関係の計算手法について学ぶ。 <input type="checkbox"/> 水のイオン積、pH及び弱酸や弱塩基の電離平衡について理解する。 <input type="checkbox"/> 塩の加水分解や緩衝液における電離平衡について理解する。	※第2節はすでに学習しているので、問題演習を中心とした学習を行う。

期	考查	単元名	学習内容・自己評価	備考
3 学 期	学 年 末 考 査	第三章 無機物質 第1節 非金属元素の単体とその化合物 1. 元素の分類と性質 2. 水素とその化合物 3. 希ガス 4. ハロゲンとその化合物 5. 酸素・硫黄とその化合物 6. 窒素・リンとその化合物 7. 炭素・ケイ素とその化合物 第2節 典型金属元素の単体とその化合物 1. アルカリ金属とその化合物 2. 2族元素とその化合物 3. 亜鉛・水銀とその化合物 4. アルミニウムとその化合物 5. スズ・鉛とその化合物 第3節 遷移元素の単体とその化合物 1. 鉄とその化合物 2. 銅とその化合物 3. 銀とその化合物 4. クロム・マンガンとその化合物 5. 金属イオンの定性分析 第4節 無機物質と人間生活 1. 金属の利用 2. セラミックスの利用	<input type="checkbox"/> 典型元素の単体と化合物の性質や反応を周期表と関連付けて理解する。 <input type="checkbox"/> 無機物質を、日常生活および化学工業に関連付けて理解する。 <input type="checkbox"/> 典型金属元素とその化合物について、性質や用途を学習する。 <input type="checkbox"/> 遷移元素の単体と化合物の性質や反応について理解する。 <input type="checkbox"/> 金属イオンの定性分析について学習する。 <input type="checkbox"/> 人間生活に利用されている代表的な金属、セラミックスなどについて、その製法と利用について学習する。	
【学習上の留意点】 ・学習進度は状況に応じて、変更がある場合がある。また、プリント等を用いた演習を必要に応じて行う。 ・実験・観察は理科の学習の基本であり、重視している。				

教科 英語 科目 コミュニケーション英語 II		4 単位	対象学年・コース 2年 SA コース	
【年間学習目標】 1. 広くことばへの関心を高め、豊かな言語観、思考力、表現力を育む 2. 幅広い生き方や価値観、世界観に目を向けさせ、社会の中で自らの力で考え、表現する姿勢を培う				
【評価の観点】 定期考査、小テスト、提出物、授業の取り組み、システム英単語テスト等を総合的に評価する。				
【使用教材】 教科書 『MY WAY English Communication II 』（三省堂） 副教材 『MY WAY English Communication I WORKBOOK STANDARD』				
期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備 考
1 学 期	中 間 考 査	L1 Pictograms	□身近にあるピクトグラム、国や地域によって異なるピクトグラム、日本発祥のピクトグラムなどについて学ぶ。 ◇SVO / SVC を学ぶ。 ◇SVO(O=if 節) を学ぶ。 ◇SVC (C=過去分詞) を学ぶ。	・ピクトグラムの役割を考えさせる。 ・国や地域による違いから、文化の違いを認識させる。
		L2 A New Way to Clean Up the Ocean	□あるオランダ人の若者による海のリサイクルごみ回収のための取り組みや、その挑戦する姿勢について学ぶ。 ◇ SVO1O2(O2=if 節、that 節、what 節) を学ぶ。 ◇it seems that を学ぶ。	・海のごみ回収のしくみを理解させる。 ・あきらめずに挑戦し続けることの意義を考えさせる。
	期 末 考 査	L3 Cuba	□キューバの歴史が生み出した文化的な特徴や、平等と助け合いに重点を置いた社会制度について学ぶ。 ◇It is ... to 不定詞を学ぶ。 ◇It is ... that ~ を学ぶ。 ◇形式目的語を学ぶ。	・キューバの文化や社会の特徴に着目させ、その優れた点や、日本との類似点・相違点を考えさせる。
		L4 The World's Poorest President	□「世界で最も貧しい大統領」と呼ばれたウルグアイのホセ・ムヒカ元大統領の「幸せ」についての考え方を学ぶ。 ◇SVOC(C=動詞の原形、過去分詞) を学ぶ。 ◇help+O+動詞の原形を学ぶ。	・現代社会における「経済発展」と「幸せ」の関係について考えさせる。

期	考查	単元名	学習内容・自己評価	備考
2 学期	中間 考查	L5 Eye Contact	□デフリンピックに参加したろう者女子サッカー選手からアイコンタクトの大切さを学ぶ。 ◇関係代名詞 を学ぶ。 ◇前置詞+関係代名詞を学ぶ。 ◇関係代名詞・関係副詞の非制限用を学ぶ。	・目で伝えるコミュニケーションの大切さについて考えさせる。
		L6 A Space Elevator	□宇宙エレベーターの構造について学び、その実現可能性について考える。 ◇現在完了形 /現在完了進行形を学ぶ。 ◇過去完了進行形 /未来進行形を学ぶ。	宇宙エレベーターについての説明文的に正確に読み取らせる
	期末 考查	L7 An Encouraging Song	□時代を超えて歌い継がれる ZARD の『負けないで』について知り、坂井さんはどのような思いを込めたのかを知る。 ◇助動詞 would を使った表現を学ぶ ◇助動詞+have+過去分詞を学ぶ。 ◇完了不定詞を学ぶ。	・歌詞に込められた思いを認識する。 ・この歌がどのように人々を励ましたのかを認識する。
		L8 Language Contacts	□小笠原諸島の「小笠原言語」を例に、複数の言語が出会うとき、互いに及ぼす影響について考える。 ◇仮定法過去 / 仮定法過去完了 を学ぶ。 ◇if を使わない仮定法を学ぶ。 ◇no matter+疑問詞を学ぶ。	言語接触によって生まれた言語について考え、ことばの大切さを考えさせる。
3 学期	期末 考查	L9 Charles Chaplin	□20 世紀の喜劇王と呼ばれたチャップリンの半生を学び、喜劇王になるまでの葛藤について学ぶ。 ◇分詞構文（現在分詞、過去分詞）を学ぶ。 ◇完了形の分詞構文を学ぶ。 ◇付帯状況の with を学ぶ。	人生経験を糧に悲劇から喜劇を生み出した経緯を理解させる。
		L10 The Five-story Pagoda of Horyuji	□1300 年もの間倒れずにその姿を保っている法隆寺の五重塔の秘密を学ぶ。 ◇同格の that を学ぶ。 ◇倒置を学ぶ。 ◇省略 S を学ぶ。 ◇強調構文を学ぶ。	・五重塔の構造を的確に読み取らせる。 ・東洋と西洋の建造物の違いについて認識させる。
<p>【学習上の留意点】</p> <p>定着を図るため、音読活動などを積極的にさせる。</p> <p>WORKBOOK を活用し、内容確認と共に、それぞれの項目で出てきた文法も理解させる。</p>				

□; 学習のねらい ◇; 主な言語材料

教科 英語	科目 英語表現Ⅱ	3 単位	対象学年・コース 2年 SA コース	
【年間学習目標】 「英文法」の基礎 ・ 基本を体系的に学習しながら「書く」「話す」表現力を育成します。				
【評価の観点】 定期考査、小テスト、提出物、授業の取り組み等を総合的に評価する。				
【使用教材】 教科書 『MY WAY English Expression II』（三省堂） 参考書 『CROWN 総合英語』（三省堂）				
期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備 考
1 学期	中間考査	Unit 1	現在形・現在進行形・その他の進行形の用法 未来完了形・その他の完了形進行形 助動詞と受動態 助動詞1（義務・必要など） 助動詞2（過去の習慣／助動詞を用いた慣用表現） さまざまな受動態の表現	時制、助動詞、受動態の復習と発展
	期末考査	Unit 2	不定詞と動名詞 自動詞＋不定詞 SVO＋不定詞 疑問詞＋不定詞 完了形、進行形、受動態の不定詞 不定詞を用いたその他の表現 分詞と分詞構文 さまざまな分詞構文 with で付帯状況を表す表現	不定詞、動名詞の復習と発展
2 学期	中間考査	Unit 3	比較と関係詞 比較級・最上級などの慣用表現 関係詞の非制限用法／複合関係詞 仮定法と否定、話法など 仮定法を用いたさまざまな表現 間接話法／否定表現	比較表現、関係詞、仮定法、否定表現、話法の復習と発展
	期末考査	Unit 4	前置詞、接続詞、文修飾副詞 代名詞を使ったさまざまな表現 時間構文 無生物主語構文／名詞構文 譲歩構文	重要構文の学習
3 学期	期末考査	続 Unit 4	結果・程度構文 目的構文 強調表現 同格表現 群動詞 群前置詞	重要構文の学習
【学習上の留意点】 ※ 随時、演習問題を配布し、宿題や小テストを行う。				

教科 保健体育	体育：2単位（3年次：3単位）	対象学年 1年
科目 体育・保健	保健：1単位（1，2年次のみ）	コース 全コース

【学習目標】

- 【体育】 ・運動することにより体力が向上する最も適した時期である。外周コースの持久走など積極的に運動することによって健康な生活を送るための基礎体力の向上を目指す。また、授業のいろいろなスポーツを経験することによって集団の一員としての行動や集団の規律・秩序といったことを学習する。
- 【保健】 ・思春期から中高年期までの健康に関することや、現代の健康問題を理解し、新しい時代の健康のあり方について、自ら取り組めるように学習する。
- ・集団の生活における健康などに関する知識を身につけ、社会生活における健康の意義を理解する。

【評価の観点】

【体育】 出席状況、授業への取り組み姿勢、実技テスト等を総合的に判断して評価する。

【保健】 考査の素点、ノート及び授業態度等を総合的に判断して評価する。

- 【使用教材】 教科書：現代高等保健体育（大修館書店）
副教材：現代高等保健体育ノート（大修館書店）

【学習内容】

35W	4W	8W	8W	7W	8W
	4月～5月2週	5月3週～7月	9月～2学期中間	2学期中間～12月	1月～3月
学 年	1		2-1	2-2	3
高1年男子 2単位	スポーツテスト	サッカー	剣道	陸上	バスケ
	体づくり運動	バスケ	陸上	剣道	サッカー
	集団行動	剣道	サッカー	バスケ	陸上
高2年男子 2単位	スポーツテスト	サッカー	ソフト	バードゴルフ	バスケ
	体づくり運動	バスケ	バードゴルフ	ソフト	サッカー
	集団行動	ソフト	サッカー	バスケ	バードゴルフ
高3年男子 3単位	4月～7月			9月～12月	/
	ソフト			ソフト	
	サッカー			サッカー	
	テニス			バードゴルフ	
高1年女子 2単位	スポーツテスト	テニス	バスケ	ダンス	陸上
	集団行動・体づくり運動	陸上	テニス		バスケ
高2年女子 2単位	旗体操・スポーツテスト		バレー	ダンス	バレー
	集団行動・体づくり運動		テニス		テニス
高3年女子 3単位	4月～7月			8月～12月	/
	ソフト			バレー	
	バードゴルフ			ソフト	

【体育】

種 目	学習内容	ねらい
集団行動	・集団行動（姿勢、方向転換、集合、整頓、列の増減、開列、など）	集団としての行動を秩序正しく行えることを目指す。
体づくり運動	・体ほぐしの運動 ・体力を高める運動	身のこなしや体の調子を整えさせる。
体育祭練習	・旗体操（女子） ・体育祭練習（学年種目）	集団としての行動を秩序正しく行えることを目指す。
男子	学習内容	ねらい
剣 道	・礼法、（立礼、正座、） ・竹刀の持ち方（構え、足さばき）、素振り ・防具の付け方 ・面，小手，胴打ち，切り返し ・試合形式の稽古 ・試合	剣道の技術の向上と礼儀正しい態度を養う。
陸上競技	・短距離走（50mタイムトライアル） ・リレー競争（バトンパスの方法） ・ハードル走（ハードリングの方法，インターバルの走り方，50mH走） ・持久走〔外周コース（1周700m）を2～5周〕	自己の技能や体力を最大限に発揮し，タイムの向上を目指す。
サッカー	・ボールフィーリング，パス，ドリブル ・シュート ・4対4のスマールサイドゲーム ・11対11のゲーム	サッカーの個人的技能（パス、ドリブル、シュート）を習得し、ゲームに生かせるようにする。ルールを守り，勝敗に対して公平な態度がとれるようにする。
バードゴルフ	・正確なグリップ，アドレス，バックスイング，ダウンスイング，インパクト，フォロー，フィニッシュ	基本的スイングを習得しコースを廻る。審判不在のゲームなので，「正直・公正」のフェアプレイの精神を養う。
バスケットボール	・ドリブル技術習得（左右・ドリブルチェンジ・スピードドリブル） ・2対1のパス ・5メン～3：2～2：1 ・シュート（フリースロー・3P） ・ゲーム	基本的な技術、ルールを覚えるとともに、仲間と協力して行うチームプレーなどをする楽しさや難しさを知り，チームでのオフェンス・ディフェンスを通してバスケットボールに関する理解を深める。
ソフトボール	・キャッチボール（至近距離、遠投、ゴロ、フライ） ・バッティング（素振り、トス） ・バッティング（バント、フリー） ・試合形式の練習，試合 ・チーム別での課題練習	基本的な技術を身につける為にキャッチボール、バッティングなどを行う。また，基礎を生かしたゲーム展開をできようにする。

テニス	<p>正確な構えから、いかなる返球にも対応できるフットワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フォアハンド、バックハンド、ボレー ・ラリー、戦術学習 ・ゲーム 	<p>基本的な技術を身につけ、ダブルスのゲームまで発展させる。お互い協力しながら集中してプレーを行う。</p>
女子	学習内容	ねらい
陸上競技	<ul style="list-style-type: none"> ・短距離走（50mタイムトライアル） ・リレー競争（バトンパスの方法） ・ハードル走（ハードリングの方法、インターバルの走り方、50mH走） 	<p>自己の技能や体力を最大限に発揮し、タイムの向上を目指す。</p>
バスケットボール	<ul style="list-style-type: none"> ・2人組パス（チェスト・ショルダー・バウンズ・オーバーヘッド） ・シュートの仕方（もち方・ボールを当てる位置） ・ドリブル技術習得（左右・ドリブルチェンジ・スピードドリブル） ・レイアップシュート技術の習得 ・3対2（ハーフコート） ・ゲーム 	<p>基本的な技術、ルールを覚えるとともに、仲間と協力して行うチームプレーなどをする楽しさや難しさを知り、個人技ではないチームでのオフェンス・ディフェンスを通してバスケットボールに関する理解を深める。</p>
ダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス・ビデオ鑑賞 ・運動課題，テーマの絞込み ・個人のモチーフテスト，修正と踊り込み，通して踊る練習 ・発表会 	<ul style="list-style-type: none"> ・動きで自分の考えが相手に伝わる喜びを味わう。また，仲間と協和する ・楽しみや人に感動を与える楽しさを実感しよう。心と体をほぐしてリズム感を身につけよう。
テニス	<ul style="list-style-type: none"> ・グラウンドストローク（フォアハンド、バックハンド） ・ボレー，ラリー，サービスからラリー ・ゲーム 	<p>基本的な技術を身につけ、ダブルスのゲームまで発展させる。お互い協力しながら集中してプレーを行う。</p>
バレーボール	<ul style="list-style-type: none"> ・パスの技術習得（オーバーハンドパス，アンダーハンドパス），二人組でパス ・サーブ技術習得 ・スパイク技術，レシーブ，ブロックの習得 ・ゲーム 	<p>基礎技術を再確認し、試合で生かせるようにする。</p> <p>ゲームで必要な技術を身につける</p>
ソフトボール	<ul style="list-style-type: none"> ・キャッチボールでボールに慣れる（至近距離～遠投、ゴロなど） ・バッティング練習 ・場面に合わせた守備練習，チームでの練習，連携プレーの確認 ・ゲーム 	<p>身につけた基本技能を発展させ、野球におけるコミュニケーションのとれたゲームが出来るようにする。</p>

バードゴルフ	・正確なグリップ，アドレス，バックスイング，ダウンスイング，インパクト，フォロー，フィニッシュ	基本的スイングを習得しコースを廻る。審判不在のゲームなので、「正直・公正」のフェアプレイの精神を養う。
--------	---	---

【保健】

1年（1単位）	現代社会と健康	生涯を通じる健康・現代社会と健康	現代社会と健康
2年（1単位）	現代社会と健康	現代社会と健康・生涯を通じる健康	現代社会と健康・ 社会生活と健康

1年

1 学期	1 単元 現代社会と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちの健康のすがた ・健康のとらえ方 ・健康と意思決定・行動選択 ・健康に関する健康づくり ・生活習慣病とその予防
2 学期	2 単元 生涯を通じる健康	<ul style="list-style-type: none"> ・思春期と健康 ・性意識と性行動の選択 ・結婚生活と健康 ・妊娠出産と健康 ・家族計画と人工妊娠中絶
	1 単元 現代社会と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故の現状と要因 ・交通社会における運転者の資質と責任 ・安全な交通社会づくり
3 学期	1 単元 現代社会と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・食事と健康 ・運動と健康 ・休養・睡眠と健康 ・喫煙と健康 ・飲酒と健康 ・薬物乱用と健康

2年

1 学期	1 単元 現代社会と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故の現状と要因 ・交通社会における運転者の資質と責任 ・安全な交通社会づくり ・応急手当の意義とその基本 ・心肺蘇生法 ・日常的な応急手当 ・実技
------	--------------	---

2 学期	1 単元 現代社会と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・ 欲求と適応機制 ・ 心身の相関とストレス ・ ストレスへの対処 ・ 心の健康と自己実現
	2 単元 生涯を通じる健康	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加齢と健康 ・ 高齢者のための社会的取り組み ・ 保健制度とその活用 ・ 医療制度とその活用 ・ 医薬品と健康 ・ さまざまな保健活動や対策
3 学期	1 単元 現代社会と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現代の感染症 ・ 感染症の予防 ・ 性感染症・エイズとその予防
	3 単元 社会生活と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・ 働くことと健康 ・ 労働災害と健康 ・ 健康的な職業生活

【学習上の留意点】

『体育』

- ・ クラスの体育委員の指示による整列、挨拶、出欠確認。
- ・ 体育委員を中心に授業の内容に沿った準備運動や補助運動を行う。
- ・ 安全性を重視する。まずは怪我の防止という点で準備体操は十分に行う。施設の正しい利用や用具の管理、運動場の整備なども安全面では重要なことである。
- ・ 服装は学校指定の体操服。運動に相応しい着用の仕方を心掛ける。衛生面にも配慮し、体操着は清潔にしておく。また、シューズケースの置き方についてもクラス毎にまとめ、整理整頓に心掛ける。
- ・ 評価・評定：前期は10段階で評価する。学年末は5段階で評定する。

『保健』

- ・ 教科書、ノートを中心に学習する。ビデオ学習では重要と思われるところについてはメモをとるように心がけること。
- ・ ノートは年2回提出があります。日頃からまとめておくこと。

教科 高校 家庭 科目 家庭基礎		2単位	対象学年・コース 2年 全コース	
【年間学習目標】 <ul style="list-style-type: none"> 衣食住、福祉、消費生活などの基本的な知識と技術を身につける。 生活の中の課題を主体的に解決し、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。 実践的な学習を通して、生活に必要な知識と技術を身につける。 				
【評価の観点】 <ul style="list-style-type: none"> 定期考査、実技テスト、課題の内容と提出状況、授業に対する取り組み状況などを総合的に評価する。 				
【使用教材】 教科書： 家庭基礎 共に生きる明日をつくる（教育図書） 副教材： トータルデータ 家庭科ガイドブック（教育図書）、マナーブック（教育図書）				
期	月	単元名	学習内容・自己評価	備 考
1 学 期	4 月	I 家族・地域・社会との共生 第2章 子どもの発達と保育 ① 子ども発達を学ぶ	<input type="checkbox"/> 子どもの心身の発達の特徴や乳幼児期が人の一生において、重要な時期であることを理解する。 <input type="checkbox"/> 子どもの発達における遊びの意義、生活習慣・食事・健康と安全の重要性を理解する。 <input type="checkbox"/> 親の役割や子どもを生き育てることの意義について考えることができる。 <input type="checkbox"/> 現代の子どもを取り巻く環境の問題にや子どもの権利や福祉について理解する。	被服実習① 「トートバッグ」 しみ抜き実験
		② 子どもの生活を知る		
		③ 子どもと育ち合う		
	5 月	④ 社会が子どもを育てる		
	6 月	第3章 高齢期の生活	<input type="checkbox"/> 高齢期の心身の特徴、生活について知り、社会的な支援のあり方について理解する。	
	① 超高齢社会を生きる高齢期の心身の特徴と暮らし	<input type="checkbox"/> 高齢者を支える基本的な制度や仕組み、高齢者を支える地域の役割について考えることができる。	1 学期末考査	
7 月	② 高齢者の暮らしを支える仕組み			
	8 月			

期	月	単元名	学習内容・自己評価	備考
2 学期	9 月	Ⅱ生活の自立 第1章 食生活と自立 ① 人が食べるということ	<input type="checkbox"/> 食事を健康とのかかわりや、人の一生における食事の役割について理解する。 <input type="checkbox"/> 日本の食文化を知り、食生活を創造する主体であることを確認する。 <input type="checkbox"/> 栄養素の種類や機能について理解する。 <input type="checkbox"/> おもな食品の特徴について理解し、持続可能な食生活、安全で健康な食生活について考え、工夫する。 <input type="checkbox"/> 茶道体験を通して、日本の文化やもてなしの心など、マナーを学ぶ	被服実習② 「ハーフパンツ」
	10 月	② 栄養と食品		調理実習 「軽食」
	11 月	●日本の伝統文化		
	12 月	Ⅱ生活の自立 第4章 消費生活と経済 ① 経済的な自立を目指して ④ 消費者問題の発生と消費者の権利		<input type="checkbox"/> 自分も含めた家族の生活費と家計との関係を認識する。 <input type="checkbox"/> 生涯を見通した経済計画の重要性について理解する。 <input type="checkbox"/> 自分の消費行動の社会への影響力を認識し、適切な意思決定ができる。 <input type="checkbox"/> 消費者問題や消費者の権利や消費者支援
3 学期	1 月	Ⅰ家族・地域・社会との共生 第4章 共生社会と福祉	<input type="checkbox"/> 共生社会の重要性について理解する。 <input type="checkbox"/> 共生社会の実現のために、社会の一員として何ができるかを考え、工夫する。 <input type="checkbox"/> 身近な生活の中からユニバーサルデザインの製品を製作する	
	2 月	① 共生社会の実現のために		
	3 月			被服実習③ 「エプロン」
【学習上の留意点】 学習状況に応じて、予定進度、調理実習・茶道の時期などを変更することがあります。				

教科 国語	科目 現代文B	3 単位	対象 3年 文系	
<p>【年間学習目標】 近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。</p>				
<p>【評価の観点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章を読んで、構成・展開・要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価することができる。 文章を読んで、書き手の意図や、人物・情景・心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わうことができる。 文章を読んで批評することを通して、人間・社会・自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりすることができる。 目的や課題に応じて、収集した様々な情報を分析・整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現することができる。 				
<p>【使用教材】 教科書 : 高等学校 現代文B (第一学習社) 副教材 : 演習問題集</p>				
期	考查	単元名	学習内容・自己評価	備考
1学期	中間 考查	論理的 文章 入試 問題 演習	<ul style="list-style-type: none"> 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価する。 問題演習に取り組み、実力をつける。 	
	期末 考查	論理的 文章 入試 問題 演習	<ul style="list-style-type: none"> 文章を読んで批評することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりする。 過去の入試問題を使って問題の解法を学び、実力をつける。 	
2学期	中間 考查	論理的 文章 入試 問題 演習	<ul style="list-style-type: none"> 書き手のものの見方・感じ方・考え方について思考・想像・批評する。 問題演習に取り組み、実力をつける。 	
	期末 考查	論理的 文章 入試 問題 演習	<ul style="list-style-type: none"> 文章を読むことを通じ、読み手としてのものの見方、感じ方、考え方を深める。 問題演習に取り組み、実力をつける。 	文学史
<p>【学習上の留意点】 授業の進度によって内容が変わることがあります。</p>				

教科 国語 科目 古典		5単位	対象 3年 ATBE (文系) 科	
【年間学習目標】 ・古典としての古文、漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を養う。 ・大学受験に必要な知識、読解力、表現力を養う。				
【評価の観点】 ・古典に表れた思想や感情を的確に読み取り、ものの見方・感じ方・考え方が豊かになったている。 ・古典の理解に役立てるための音声・文法・表記・語句・語彙・漢字等を理解し、知識が身についている。 ・大学受験に必要な知識、理解力、表現力が身についている。				
【使用教材】 教科書 : 高等学校 改訂版 古典B 古文編および漢文編 (第一学習社) 副教材 : これでわかる明快古典文法 (いいずな書店) 精説漢文 (いいずな書店) みるみる覚える古文単語300 (いいずな書店) 入試演習問題集・・・未定。習熟度に合わせて検討				
期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備考
1 学 期	中 間 考 査	(古文) 随筆 (二) 入試問題演習 (漢文) 志怪と伝奇 宋・元代の文章 入試問題演習	<ul style="list-style-type: none"> 随筆を読んで、作者の思想や感情を読み取る。 助動詞の知識を確認し、解釈にいかす。 中国の主要な思想の概要を理解する。 古代中国の思想から現代に通ずるものの見方・考え方を知る。 本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改める。 重要句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をする。 	
1 学 期	期 末 考 査	(古文) 説話 評論 入試問題演習 (漢文) 逸話 漢詩の鑑賞 入試問題演習	<ul style="list-style-type: none"> 長編物語の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 敬語や助詞・助動詞の知識を確認し、解釈にいかす。 本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改める。 重要句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をする。 	

2 学 期	中間 考 査	(古文) 物語(一) 日記 入試問題演習 (漢文) 清代の文章 入試問題演習	<ul style="list-style-type: none"> ・物語を読んで、作者の思想や感情を読み取る。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・問題の解き方を学び、実力を養う。 	
	期 末 考 査	入試問題演習	<ul style="list-style-type: none"> ・問題の解き方を学び、実力を養う。 	
【学習上の留意点】 授業の進度によって内容が変わることがあります。				

教科 地歴・公民 科目 世界史 B	7 単位	対象学年・コース 3年 グローバルクラス SA
-------------------	------	-------------------------

【年間学習目標】

- * 1学期の途中からは、高校1年生、2年生の既習範囲の復習を中心に学習する。
- * 夏休み明けからは帝国主義以降の歴史の講義を再開し、大学で学ぶ内容に直結する時代を学んでいく。

【評価の観点】

定期考査、小テスト、提出物の内容、授業の取り組み状況などを総合的に評価する。

【使用教材】 教科書：『詳説 世界史 B』 山川出版社
副教材：『グローバルワイド最新世界史図表』 第一学習社

期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備 考
一 学 期	中 間	第12章 アジア諸国の動揺 1 オスマン帝国支配の動揺と西アジア地域の変容 2 南アジア・東南アジアの植民地化 3 東アジアの激動 第13章 帝国主義とアジアの民族運動 1 帝国主義と列強の展開 2 世界分割と列強対立 3 アジア諸国の改革と民族運動	<ul style="list-style-type: none"> ・19世紀の欧米文化の特徴とその背景を理解する。 ・世界市場の形成を背景にした欧米諸国のアジアへの干渉と、アジアにおけるナショナリズムの萌芽を理解する。 ・19世紀に入ってからオスマン帝国内の民族・宗教対立が激化し、「瀕死の病人」と称されるようになったことを理解する。 ・アヘン戦争やアロー戦争を通じて清朝が半植民地化されていったことを理解する。 ・日清戦争は、日本と清が中国東北地方と朝鮮半島をめぐる戦い、この戦争の結果が東アジア情勢を変化させたことを理解する。 ・帝国主義時代におけるヨーロッパ諸国の世界分割をめぐる競合と、支配・従属関係を伴う世界の一体化と社会の変容を理解する。 ・欧米諸国の支配を受けたアジア諸国の改革と民族運動の形成を理解する。 	演習の2時間は授業の復習演習
	期 末	マーク模試演習 『ツインズマスター』 第1章～第10章	<ul style="list-style-type: none"> ・古代オリエント～ナポレオン時代までの復習をする。 	

期	考查	単元名	学習内容・自己評価	備考
二 学 期	中 間	第 14 章 二つの世界大 戦 1 第一次世界大戦と ロシア革命 2 ヴェルサイユ体制下 の欧米諸国 3 アジア・アフリカの 民族運動 4 世界恐慌と ファシズム諸国の侵略 5 第二次世界大戦 第 15 章 冷戦と 第三世界の独立 1 戦後世界秩序の形成 とアジア諸地域の 独立 2 冷戦の激化と西欧・ 日本の経済復興 3 第三世界の台頭と 米ソの歩み寄り 4 石油危機と世界経済 の再編	<ul style="list-style-type: none"> ・ヴェルサイユ・ワシントン両体制の崩壊過程、世界恐慌とファシズムの台頭にいたる国際社会の政治・経済の動向を理解する。 ・第二次世界大戦に至る過程と戦争規模の拡大、米ソの国際的地位の高まりを理解する。特にドイツの台頭を中心に理解する。 ・日本の動向もポイントは押さえ、「世界の中の日本」を意識することが出来るようにする。 ・第二次世界大戦後、米ソを中心とした冷戦体制が成立し、東西両陣営に世界が分裂したことを理解する。 ・戦後の20年間に段階的に独立を達成したアジア・アフリカ諸国が第三勢力として躍進し、発言力を強めたことを理解する。 ・日本・西欧の高度経済成長や社会主義圏の経済停滞などから、国際政治や経済が多極化に向かったことを理解する。 	演習の 2 時間は「研究」テーマを決めて、 期末考查期間に行う プレゼンテーション の準備を始める。
	期 末	第 16 章 現在の世界 研究発表の準備 視聴覚教材の鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・冷戦後の世界について概観する。 ・演習の時間に自ら定めたテーマについて、図書館の本や ILYOU の PC で調べたことを、発表用に PowerPoint を作成する。 ・授業時間内に練習をし、担任、クラブ顧問、日本史選択の生徒に発表をみてもらい、評価を受ける。 ・授業や発表で身につけた知識の確認ため、視聴覚教材を鑑賞する。 	演習の時間も発表の 準備を行う。
【学習上の留意点】 視聴覚教材を効果的に用いる。問題集は年度ごとに検討し、変更されることもあります。				

教科 地歴公民 科目 日本史 B		5 単位	対象学年・コース 3年 グローバルクラスSA	
<p>【年間学習目標】</p> <p>日本文化の特色やその伝統の形成について認識を深める。その際、歴史の過程を実証的に考察させることによって歴史の見方・考え方を身に付けさせ、歴史的思考力を育成する。そして、民主的・平和的な国家・社会を形成する自覚と国際社会に主体的に対応できる資質を養うことをねらいとする。</p> <p>大学受験に向けて、基礎的な知識の定着から応用力の養成を目指す。</p> <p>3年生は近代以降を学び、あわせて問題演習もおこない、国立私立大学受験に対応できる実力養成を図る</p>				
<p>【評価の観点】</p> <p>定期考査，小テスト，問題集ノートなどの提出物の内容，授業の取組み状況を総合的に評価する。</p>				
<p>【使用教材】</p> <p>教科書 : 詳説 日本史 B (山川出版社)</p> <p>副教材 : 最新 日本史図表 (第一学習社) 共通テスト実力トレーニング 日本史 (啓隆社)</p>				
期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備考
1 学期	中間考査	第1章 日本文化のあけぼの 1 文化のはじまり 2 農耕社会の成立 3 古墳とヤマト政権 第2章 律令国家の形成 1 飛鳥の朝廷 2 律令国家への道 3 平城京の時代 4 天平文化 5 平安朝廷の形成	<input type="checkbox"/> 自然環境や大陸からの文化の影響による生活の変化に着目して，旧石器文化，縄文文化及び弥生文化の時代の社会について理解させる <input type="checkbox"/> 我が国における国家の形成と律令体制の確立の過程，隋・唐など東アジア世界との交流に着目して，古代国家の展開と文化の特色について理解させる <input type="checkbox"/> 荘園・公領の動きや武士の台頭など地方の動向に着目し，古代国家の推移と国風文化の展開及び中世社会の萌芽について理解させる。	
	期末考査	第3章 貴族性と国風文化 1 摂関政治 2 国風文化 3 地方政治の展開と武士 第4章 中世社会の成立 1 院政と平氏の台頭 2 鎌倉幕府の成立 3 武士の社会 4 蒙古襲来と幕府の衰退 5 鎌倉文化	<input type="checkbox"/> 武士の棟梁として源氏平氏の台頭とその政権の特色を理解させる <input type="checkbox"/> 武士の土地支配と公武関係，宋・元とのかかわりに着目して，武家政権の形成過程と鎌倉新仏教など文化に見られる新しい気運について理解させる	

2 学 期	中間 考 査	<p>第5章 武家社会の成長</p> <p>1 室町幕府の成立</p> <p>2 幕府の衰退と庶民の台頭</p> <p>3 室町文化</p> <p>4 戦国大名の登場</p> <p>第6章 幕藩体制の成立</p> <p>1 織豊政権</p> <p>2 桃山文化</p> <p>3 幕藩体制の成立</p> <p>4 幕藩社会の構造</p>	<input type="checkbox"/> 日本の諸地域の動向，日明貿易など東アジア世界との交流，庶民の台頭に着目して，産業経済の発展や下剋上など中世社会の多様な展開及び武家文化と公家文化のかかわりや庶民文化の萌芽など文化の動向について理解させる
	期末 考 査	<p>第7章 幕藩体制の展開</p> <p>1 幕政の安定</p> <p>2 経済の発展</p> <p>3 元禄文化</p> <p>第8章 幕藩体制の動揺</p> <p>1 幕政の改革</p> <p>2 宝暦・天明期の文化</p> <p>3 幕府の衰退と近代への道</p> <p>4 化政文化</p>	<input type="checkbox"/> ヨーロッパ世界との接触とその影響，鎖国などその後の対外関係，支配体制と身分制度や儒学の役割，文化の特色に着目して，織豊政権，幕藩体制の特質について理解させる <input type="checkbox"/> 幕藩体制の下での経済機構や交通・技術の発展，都市の繁栄に着目して，農業や商工業の発展及び町人文化の形成，農山漁村の生活文化について理解させる <input type="checkbox"/> 欧米諸国のアジアへの進出，学問・思想及び産業の新たな展開に着目して，幕藩体制の動揺と近代化の基盤の形成について理解させる <input type="checkbox"/> ニュース検定対策講座
3 学 期			<input type="checkbox"/> ニュース検定受検（2月予定）

【学習上の留意点】

出来るだけ早い時期に通史の講義を終わらせ、時事問題を含め多くの問題を解く時間を確保する。
単に用語の暗記にとどまらず歴史の流れ全体を把握できるよう指導する。

教科 英語 科目 英語 III	4 単位	対象学年・コース 3年 SA コース
-----------------	------	--------------------

【年間学習目標】

語彙、文法、構文を総合的に駆使して、英語長文の内容を的確に把握し、高度な英語運用能力の育成を目指す。

【評価の観点】

定期考査、小テスト、提出物、授業の取り組み等を総合的に評価する。

【使用教材】

『MY WAY English Communication III』（三省堂）

期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備考
1 学 期	中間考査	Reading Skills 1~ Reading Skills 8	主語と述語動詞 フレーズ・リーディング 代名詞・未知語の推測 パラグラフ構成 ディスコースマーカー 列挙・例示 ディスコースマーカー 時間的順序 ディスコースマーカー 比較・対照 ディスコースマーカー 原因・結果	各 Reading skills は 1~1.5 時間を目安とする。
	期末考査	Reading skills 9 ~ Lesson 4	スキミング・ スキャニング 助動詞+受け身 比較級・最上級 関係代名詞 what no matter how ~ 同格の that 分詞構文	各 Lesson は3時間を目安とする。

期	考查	単元名	学習内容・自己評価	備考
2 学 期	中間 考查	Lesson 5 ~ Lesson 9	it is ~ that ... 助動詞+受け身 現在完了の受け身 関係副詞 間接疑問 関係代名詞の非制限用法 how to ~ 比較・倍数表現 助動詞+受け身	単元別に文法を確認 実践力を養う
	期末 考查	Lesson10 ~ Lesson 14	完了進行形 倒置 過去完了 使役動詞+O+過去分詞 省略関係副詞 it is ~ that ... 部分否定 前置詞+関係代名詞 had better ~ 否定の倒置 省略 関係代名詞の非制限用法	単元別に文法を確認 実践力を養う

教科 英語 科目 英語演習A		4単位	対象学年・コース 3年 SA コース	
<p>【年間学習目標】</p> <p>多様なジャンルの文章を読み、英語の読解力の向上と、教養を高めることを目指す。</p>				
<p>【評価の観点】</p> <p>定期考査、小テスト、提出物、授業の取り組み等を総合的に評価する。</p>				
<p>【使用教材】</p> <p>教材 『UNITE 英語総合問題集 STAGE 2』(数研出版)</p>				
期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備考
1 学 期	中間考査	Lesson 1 ~ Lesson 7	エッセイ / 時制 エッセイ / 完了形 説明文 / 助動詞 説明文 / 受動態 エッセイ / 不定詞、動名詞 エッセイ / 分詞構文 エッセイ / 準動詞、分詞構文	
	期末考査	Lesson 8 ~ Lesson 15	説明文 / 原級、比較級、最上級 エッセイ / 比較表現 説明文 / 関係代名詞 エッセイ / 関係副詞 説明文 / 複合関係詞 エッセイ / 仮定法 説明文 / 仮定法 (慣用表現) 説明文 / 接続詞	全てを終わらせるのが困難な場合は、担当者の裁量で取り扱う単元を選択する。

期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備 考
2 学 期	中間考査	UNIT 1 ~ UNIT 7	文学 / 時制 言語 / 完了形 健康 / 助動詞 人間関係 / 受動態 歴史 / 不定詞、動名詞 ビジネス / 不定詞、動名詞 動物 / 分詞	
	期末考査	UNIT 8 ~ UNIT 15	宇宙 / 関係詞 科学 / 関係詞 食文化 / 比較 環境 / 比較 生物 / 仮定法 人文科学 / 話法、同格 文化 / 名詞構文、無生物主語 歴史 / 代名詞・否定	全てを終わらせるのが困難な場合は、担当者の裁量で取り扱う単元を選択する。

教科 英語 科目 英語演習B		3単位	対象学年・コース 3年 SA コース	
<p>【年間学習目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英文法を総点検し、使いこなせることができる。 ・入試問題を解くことにより、解答作成力を高める。 ・大学入試に必要な知識・考え方を身につける。 				
<p>【評価の観点】</p> <p>定期考査、小テスト、提出物、授業の取り組み等を総合的に評価する。</p>				
<p>【使用教材】</p> <p>副教材 『英語演習ノート ORANGE版 英文法の確認』（数研出版）</p>				
期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備考
1 学期	中間考査	第1章～第5章	第1章 時制 第2章 受動態 第3章 助動詞 第4章 仮定法 第5章 不定詞	単元別に文法を確認 実践力を養う
	期末考査	第6章～第10章	第6章 動名詞 第7章 分詞 第8章 動詞の語法① 第9章 動詞の語法② 第10章 関係詞	単元別に文法を確認 実践力を養う

期	考查	単元名	学習内容・自己評価	備考
2 学 期	中間 考 査	第 11 章～第 15 章	第 11 章 接続詞 第 12 章 前置詞 第 13 章 形容詞の語法 第 14 章 副詞の語法 第 15 章 比較	単元別に文法を確認 実践力を養う
	期 末 考 査	第 16 章～第 20 章	第 16 章 名詞の語法 第 17 章 代名詞の語法 第 18 章 主語と述語動詞の一致 第 19 章 疑問文 第 20 章 否定・倒置・省略・強調	単元別に文法を確認 実践力を養う

教科 保健体育	体育：2単位（3年次：3単位）	対象学年 1年
科目 体育・保健	保健：1単位（1，2年次のみ）	コース 全コース

【学習目標】

- [体育] ・運動することにより体力が向上する最も適した時期である。外周コースの持久走など積極的に運動することによって健康な生活を送るための基礎体力の向上を目指す。また、授業のいろいろなスポーツを経験することによって集団の一員としての行動や集団の規律・秩序といったことを学習する。
- [保健] ・思春期から中高年期までの健康に関することや、現代の健康問題を理解し、新しい時代の健康のあり方について、自ら取り組めるように学習する。
- ・集団の生活における健康などに関する知識を身につけ、社会生活における健康の意義を理解する。

【評価の観点】

[体育] 出席状況、授業への取り組み姿勢、実技テスト等を総合的に判断して評価する。

[保健] 考査の素点、ノート及び授業態度等を総合的に判断して評価する。

- 【使用教材】 教科書：現代高等保健体育（大修館書店）
副教材：現代高等保健体育ノート（大修館書店）

【学習内容】

35W	4W	8W	8W	7W	8W
	4月～5月2週	5月3週～7月	9月～2学期中間	2学期中間～12月	1月～3月
学 年	1		2-1	2-2	3
高1年男子 2単位	スポーツテスト	サッカー	剣道	陸上	バスケ
	体づくり運動	バスケ	陸上	剣道	サッカー
	集団行動	剣道	サッカー	バスケ	陸上
高2年男子 2単位	スポーツテスト	サッカー	ソフト	バードゴルフ	バスケ
	体づくり運動	バスケ	バードゴルフ	ソフト	サッカー
	集団行動	ソフト	サッカー	バスケ	バードゴルフ
高3年男子 3単位	4月～7月			9月～12月	/
	ソフト			ソフト	
	サッカー			サッカー	
	テニス			バードゴルフ	
高1年女子 2単位	スポーツテスト	テニス	バスケ	ダンス	陸上
	集団行動・体づくり運動	陸上	テニス		バスケ
高2年女子 2単位	旗体操・スポーツテスト		バレー	ダンス	バレー
	集団行動・体づくり運動		テニス		テニス
高3年女子 3単位	4月～7月			8月～12月	/
	ソフト			バレー	
	バードゴルフ			ソフト	

【体育】

種 目	学習内容	ねらい
集団行動	・集団行動（姿勢、方向転換、集合、整頓、列の増減、開列、など）	集団としての行動を秩序正しく行えることを目指す。
体づくり運動	・体ほぐしの運動 ・体力を高める運動	身のこなしや体の調子を整えさせる。
体育祭練習	・旗体操（女子） ・体育祭練習（学年種目）	集団としての行動を秩序正しく行えることを目指す。
男子	学習内容	ねらい
剣 道	・礼法、（立礼、正座、） ・竹刀の持ち方（構え、足さばき）、素振り ・防具の付け方 ・面，小手，胴打ち，切り返し ・試合形式の稽古 ・試合	剣道の技術の向上と礼儀正しい態度を養う。
陸上競技	・短距離走（50mタイムトライアル） ・リレー競争（バトンパスの方法） ・ハードル走（ハードリングの方法，インターバルの走り方，50mH走） ・持久走〔外周コース（1周700m）を2～5周〕	自己の技能や体力を最大限に発揮し，タイムの向上を目指す。
サッカー	・ボールフィーリング，パス，ドリブル ・シュート ・4対4のスマールサイドゲーム ・11対11のゲーム	サッカーの個人的技能（パス、ドリブル、シュート）を習得し、ゲームに生かせるようにする。ルールを守り，勝敗に対して公平な態度がとれるようにする。
バードゴルフ	・正確なグリップ，アドレス，バックスイング，ダウンスイング，インパクト，フォロー，フィニッシュ	基本的スイングを習得しコースを廻る。審判不在のゲームなので，「正直・公正」のフェアプレイの精神を養う。
バスケットボール	・ドリブル技術習得（左右・ドリブルチェンジ・スピードドリブル） ・2対1のパス ・5メン～3：2～2：1 ・シュート（フリースロー・3P） ・ゲーム	基本的な技術、ルールを覚えるとともに、仲間と協力して行うチームプレーなどをする楽しさや難しさを知り，チームでのオフェンス・ディフェンスを通してバスケットボールに関する理解を深める。
ソフトボール	・キャッチボール（至近距離、遠投、ゴロ、フライ） ・バッティング（素振り、トス） ・バッティング（バント、フリー） ・試合形式の練習，試合 ・チーム別での課題練習	基本的な技術を身につける為にキャッチボール、バッティングなどを行う。また，基礎を生かしたゲーム展開をできようにする。

テニス	<p>正確な構えから、いかなる返球にも対応できるフットワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フォアハンド、バックハンド、ボレー ・ラリー、戦術学習 ・ゲーム 	<p>基本的な技術を身につけ、ダブルスのゲームまで発展させる。お互い協力しながら集中してプレーを行う。</p>
女子	学習内容	ねらい
陸上競技	<ul style="list-style-type: none"> ・短距離走（50mタイムトライアル） ・リレー競争（バトンパスの方法） ・ハードル走（ハードリングの方法、インターバルの走り方、50mH走） 	<p>自己の技能や体力を最大限に発揮し、タイムの向上を目指す。</p>
バスケットボール	<ul style="list-style-type: none"> ・2人組パス（チェスト・ショルダー・バウンズ・オーバーヘッド） ・シュートの仕方（もち方・ボールを当てる位置） ・ドリブル技術習得（左右・ドリブルチェンジ・スピードドリブル） ・レイアップシュート技術の習得 ・3対2（ハーフコート） ・ゲーム 	<p>基本的な技術、ルールを覚えるとともに、仲間と協力して行うチームプレーなどをする楽しさや難しさを知り、個人技ではないチームでのオフェンス・ディフェンスを通してバスケットボールに関する理解を深める。</p>
ダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス・ビデオ鑑賞 ・運動課題，テーマの絞込み ・個人のモチーフテスト，修正と踊り込み，通して踊る練習 ・発表会 	<ul style="list-style-type: none"> ・動きで自分の考えが相手に伝わる喜びを味わう。また，仲間と協和する ・楽しみや人に感動を与える楽しさを実感しよう。心と体をほぐしてリズム感を身につけよう。
テニス	<ul style="list-style-type: none"> ・グラウンドストローク（フォアハンド、バックハンド） ・ボレー，ラリー，サービスからラリー ・ゲーム 	<p>基本的な技術を身につけ、ダブルスのゲームまで発展させる。お互い協力しながら集中してプレーを行う。</p>
バレーボール	<ul style="list-style-type: none"> ・パスの技術習得（オーバーハンドパス，アンダーハンドパス），二人組でパス ・サーブ技術習得 ・スパイク技術，レシーブ，ブロックの習得 ・ゲーム 	<p>基礎技術を再確認し、試合で生かせるようにする。</p> <p>ゲームで必要な技術を身につける</p>
ソフトボール	<ul style="list-style-type: none"> ・キャッチボールでボールに慣れる（至近距離～遠投、ゴロなど） ・バッティング練習 ・場面に合わせた守備練習，チームでの練習，連携プレーの確認 ・ゲーム 	<p>身につけた基本技能を発展させ、野球におけるコミュニケーションのとれたゲームが出来るようにする。</p>

バードゴルフ	・正確なグリップ，アドレス，バックスイング，ダウンスイング，インパクト，フォロー，フィニッシュ	基本的スイングを習得しコースを廻る。審判不在のゲームなので、「正直・公正」のフェアプレイの精神を養う。
--------	---	---

【保健】

1年（1単位）	現代社会と健康	生涯を通じる健康・現代社会と健康	現代社会と健康
2年（1単位）	現代社会と健康	現代社会と健康・生涯を通じる健康	現代社会と健康・ 社会生活と健康

1年

1 学期	1 単元 現代社会と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちの健康のすがた ・健康のとらえ方 ・健康と意思決定・行動選択 ・健康に関する健康づくり ・生活習慣病とその予防
2 学期	2 単元 生涯を通じる健康	<ul style="list-style-type: none"> ・思春期と健康 ・性意識と性行動の選択 ・結婚生活と健康 ・妊娠出産と健康 ・家族計画と人工妊娠中絶
	1 単元 現代社会と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故の現状と要因 ・交通社会における運転者の資質と責任 ・安全な交通社会づくり
3 学期	1 単元 現代社会と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・食事と健康 ・運動と健康 ・休養・睡眠と健康 ・喫煙と健康 ・飲酒と健康 ・薬物乱用と健康

2年

1 学期	1 単元 現代社会と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故の現状と要因 ・交通社会における運転者の資質と責任 ・安全な交通社会づくり ・応急手当の意義とその基本 ・心肺蘇生法 ・日常的な応急手当 ・実技
------	--------------	---

2 学期	1 単元 現代社会と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・ 欲求と適応機制 ・ 心身の相関とストレス ・ ストレスへの対処 ・ 心の健康と自己実現
	2 単元 生涯を通じる健康	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加齢と健康 ・ 高齢者のための社会的取り組み ・ 保健制度とその活用 ・ 医療制度とその活用 ・ 医薬品と健康 ・ さまざまな保健活動や対策
3 学期	1 単元 現代社会と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現代の感染症 ・ 感染症の予防 ・ 性感染症・エイズとその予防
	3 単元 社会生活と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・ 働くことと健康 ・ 労働災害と健康 ・ 健康的な職業生活

【学習上の留意点】

『体育』

- ・ クラスの体育委員の指示による整列、挨拶、出欠確認。
- ・ 体育委員を中心に授業の内容に沿った準備運動や補助運動を行う。
- ・ 安全性を重視する。まずは怪我の防止という点で準備体操は十分に行う。施設の正しい利用や用具の管理、運動場の整備なども安全面では重要なことである。
- ・ 服装は学校指定の体操服。運動に相応しい着用の仕方を心掛ける。衛生面にも配慮し、体操着は清潔にしておく。また、シューズケースの置き方についてもクラス毎にまとめ、整理整頓に心掛ける。
- ・ 評価・評定：前期は10段階で評価する。学年末は5段階で評定する。

『保健』

- ・ 教科書、ノートを中心に学習する。ビデオ学習では重要と思われるところについてはメモをとるように心がけること。
- ・ ノートは年2回提出があります。日頃からまとめておくこと。

教科 国語	科目 現代文B	3 単位	対象 3年 文系	
<p>【年間学習目標】 近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。</p>				
<p>【評価の観点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章を読んで、構成・展開・要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価することができる。 ・文章を読んで、書き手の意図や、人物・情景・心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わうことができる。 ・文章を読んで批評することを通して、人間・社会・自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりすることができる。 ・目的や課題に応じて、収集した様々な情報を分析・整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現することができる。 				
<p>【使用教材】 教科書 : 高等学校 現代文B (第一学習社) 副教材 : 演習問題集</p>				
期	考查	単元名	学習内容・自己評価	備考
1学期	中間 考查	論理的文章 入試問題演習	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価する。 ・問題演習に取り組み、実力をつける。 	
	期末 考查	論理的文章 入試問題演習	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を読んで批評することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりする。 ・過去の入試問題を使って問題の解法を学び、実力をつける。 	
2学期	中間 考查	論理的文章 入試問題演習	<ul style="list-style-type: none"> ・書き手のものの見方・感じ方・考え方について思考・想像・批評する。 ・問題演習に取り組み、実力をつける。 	
	期末 考查	論理的文章 入試問題演習	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を読むことを通じ、読み手としてのものの見方、感じ方、考え方を深める。 ・問題演習に取り組み、実力をつける。 	文学史
<p>【学習上の留意点】 授業の進度によって内容が変わることがあります。</p>				

教科	国語	科目	古典	5単位	対象	3年	ATBE (文系)	科
<p>【年間学習目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典としての古文、漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を養う。 ・大学受験に必要な知識、読解力、表現力を養う。 								
<p>【評価の観点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典に表れた思想や感情を的確に読み取り、ものの見方・感じ方・考え方が豊かになったている。 ・古典の理解に役立てるための音声・文法・表記・語句・語彙・漢字等を理解し、知識が身についている。 ・大学受験に必要な知識、理解力、表現力が身についている。 								
<p>【使用教材】教科書 : 高等学校 改訂版 古典B 古文編および漢文編 (第一学習社)</p> <p>副教材 : これでわかる明快古典文法 (いいずな書店)</p> <p>精説漢文 (いいずな書店)</p> <p>みるみる覚える古文単語300 (いいずな書店)</p> <p>入試演習問題集・・・未定。習熟度に合わせて検討</p>								
期	考査	単元名	学習内容・自己評価				備考	
1 学 期	中 間 考 査	(古文) 随筆 (二) 入試問題演習 (漢文) 志怪と伝奇 宋・元代の文章 入試問題演習	<ul style="list-style-type: none"> ・随筆を読んで、作者の思想や感情を読み取る。 ・助動詞の知識を確認し、解釈にいかす。 ・中国の主要な思想の概要を理解する。 ・古代中国の思想から現代に通ずるものの見方・考え方を知る。 ・本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改める。 ・重要句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をする。 					
1 学 期	期 末 考 査	(古文) 説話 評論 入試問題演習 (漢文) 逸話 漢詩の鑑賞 入試問題演習	<ul style="list-style-type: none"> ・長編物語の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・敬語や助詞・助動詞の知識を確認し、解釈にいかす。 ・本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改める。 ・重要句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をする。 					

2 学 期	中間 考 査	(古文) 物語(一) 日記 入試問題演習 (漢文) 清代の文章 入試問題演習	<ul style="list-style-type: none"> ・物語を読んで、作者の思想や感情を読み取る。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・問題の解き方を学び、実力を養う。 	
	期 末 考 査	入試問題演習	<ul style="list-style-type: none"> ・問題の解き方を学び、実力を養う。 	
【学習上の留意点】 授業の進度によって内容が変わることがあります。				

教科 社会 科目 地理 B		3 単位	対象学年・コース 3年 グローバルクラス	
<p>【年間学習目標】 *教科書の内容を理解する。 *ESD（持続可能な開発のための教育）に基づき、様々な地理的スキルを駆使することにより、世界の諸問題の原因・解決策を正確に見極める力を身に付け、一定の見識が持てるようにする。</p>				
<p>【評価の観点】 定期考査、長期休業中の課題、作業プリントなどの提出物の内容、授業の取組み状況を総合的に評価する。</p>				
<p>【使用教材】 教科書 : 二宮書店 『新編詳解地理B』 地図帳 : 『新詳高等地図』 副教材 : 二宮書店 『データブック オブ・ザ・ワールド』</p>				
期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備考
一 学 期	中間考査	第Ⅰ編 地図と地理的スキル 第1章 地理情報と地図 第2章 地図と地域調査 第Ⅱ編 現代世界の系統地理的考察 第1章 自然環境 第1節 地形	<input type="checkbox"/> 様々な地図を学ぶことで、地理的に世界を俯瞰できるようなスキルを養う。 <input type="checkbox"/> GIS や地図を読み取る基本的なスキルを習得する。 <input type="checkbox"/> 地上には営力により様々な規模の地形あることを大観する。地形図の読図スキルを習得させる。世界全体から大規模な地形をみて、そこに類似性や規則性が見えてくることを理解する。 <input type="checkbox"/> 大地形・小地形それぞれの特徴、分布や形成要因について基礎的知識や概念を習得し、地形と生活、自然災害との関係を考察する。 <input type="checkbox"/> 地形図の読図スキルを習得する。	
	期末考査	第2節 気候 第3節 自然と生活 第4節 環境問題	<input type="checkbox"/> 地球規模でみた気温・降水量・大気大循環、海洋や水の循環を取り上げ、それぞれの特色や形成要因を考察・理解する。長期的におこる気候変動と、異常気象について理解する。 <input type="checkbox"/> 世界の気候区分の方法や世界規模からみた植生・土壌の特色を理解する。世界の気候帯を取り上げ、その分布や形成要因、気候と人々の生活との関連について考察し、基礎的・基本的知識を習得する。 <input type="checkbox"/> 地球上で発生している様々な災害・環境問題を取り上げ、実態と対応策について理解する。	
二 学 期	中間考査	第2章 資源と産業 第1節 農林水産業	<input type="checkbox"/> 世界の農業・水産業・林業を取り上げ、それぞれの特色や分布、形成要因などについて考察し、基礎的・基本的知識を習得する。 <input type="checkbox"/> 世界や日本の食料問題・課題を世界的視野に留意して概観し、形成要因を考察する。	

期	考查	単元名	学習内容・自己評価	備考
二 学 期	期 末 考 査	第2節 資源・エネルギー 第3節 工業 第4節 流通と消費	<input type="checkbox"/> 世界の資源・エネルギーを取り上げ、それぞれの特色や分布、形成要因などについて考察し、基礎的・基本的知識を習得する。世界や日本の資源・エネルギー問題を世界的視野に留意して概観し、形成要因を考察する。 <input type="checkbox"/> 世界の工業の成り立ち・立地を取り上げ、工業地域の形成と変容に関して考察し、基礎的・基本的知識を習得する。グローバル化する中での世界と日本の工業に関して世界的視野に留意して、それらの動向・形成要因について考察する。 <input type="checkbox"/> 世界の交通・情報通信・貿易・商業・観光を取り上げて、それぞれの特色と動向、形成要因に関して考察し、基礎的・基本的知識を習得する。それぞれの課題に関して世界的視野に留意して考察する。	
三 学 期	期 末 考 査	第3章 人口と村落・都市 第1節 人口 第2節 村落・都市 第4章 生活文化、民族・宗教 第1節 衣食住 第2節 言語と宗教 第3節 民族と国家	<input type="checkbox"/> 世界の人口分布、人口増加・人口構成に関する動向を取り上げて、形成要因に関して考察し、基礎的・基本的知識を習得する。世界の人口増加地域と減少地域の人口問題を比較しながら、日本の人口問題とも関連させて考察する。 <input type="checkbox"/> 様々な規模の集落があることを理解し、村落の立地と形態、都市の発達と変容に関して考察し、村落・都市に関する基礎的・基本的知識を習得する。世界と日本の居住・都市問題の地域性や形成要因について世界的視野に留意して考察する。 <input type="checkbox"/> 世界の衣食住を取り上げ、それらの分布と特色を理解させ、地域性との関連を考察し、基礎的・基本的知識を習得する。 <input type="checkbox"/> 世界の言語と宗教の分布を理解し、言語・宗教と社会との関連を考察し、基礎的・基本的知識を習得する。 <input type="checkbox"/> 民族と国家との関連を理解し、基礎的・基本的知識を習得する。世界的にみた民族と国家との多様性や日本の領土問題について考察し、国家群や国連の役割を理解する。	
【学習上の留意点】 ＊視聴覚教材や白地図、地形図を利用し、多角的な授業を行なう。 ＊GISの技能を積極的に学ぶとともに、AIを利用した授業展開を行なう。 ＊用語や単語の暗記だけでなく、自然と人間の係わりについて理解できるようにさせる。				

教科 公民 科目 現代社会演習		3 単位	対象学年・コース 3年 グローバル理系 選択者	
【年間学習目標】 高校1年次の内容を更に充実させ、政治や経済に関するテーマを中心にレベルアップを図る。問題演習を通じて、センター試験での高得点を目指す。				
【評価の観点】 定期考査、授業の取組み状況を総合的に評価する。				
【使用教材】 教科書：高等学校 改訂版 現代社会（第一学習社） 副教材：チェック&演習 倫政（数研出版）、倫理、政治・経済の点数が面白いほど取れる本（KADOKAWA）				
期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備考
1 学期	中間 考査	1. 民主政治の原理と人権思想	<input type="checkbox"/> 社会契約説を比較し、権力のあり方を理解できる <input type="checkbox"/> 法の支配と法治主義の違いを理解できる	
		2. 民主政治のしくみ	<input type="checkbox"/> 人権保障の歩みを把握できる <input type="checkbox"/> イギリスとアメリカの政治体制を理解できる	
		3. 日本国憲法とその原理	<input type="checkbox"/> ロックとモンテスキューの権力分立論を理解できる <input type="checkbox"/> 明治憲法と昭和憲法の違いを理解できる	
		4. 基本的人権の本質と法の下での平等	<input type="checkbox"/> 日本国憲法で保障されている人権を整理できる	
		5. 自由権	<input type="checkbox"/> 権利を争った訴訟から自由権を把握できる	
		6. 社会権と新しい人権	<input type="checkbox"/> 公共の福祉の考え方を理解できる <input type="checkbox"/> 社会権の特徴を理解できる <input type="checkbox"/> 新しい人権の種類とその特徴を理解できる	
		7. 日本の平和主義	<input type="checkbox"/> 憲9条をめぐる訴訟、統治行為論の意味を理解できる	
		8. 日本の防衛政策と諸問題	<input type="checkbox"/> 日本の防衛原則を把握し、その問題点を理解できる	
		9. 国会の地位と権限	<input type="checkbox"/> 憲法を通じて国会の働きを理解できる。 <input type="checkbox"/> 衆議院の優越の流れを理解できる	
		10. 内閣の地位と権限	<input type="checkbox"/> 憲法を通じて内閣の組織と働きを理解できる <input type="checkbox"/> 今日の行政に関する問題点を指摘できる	
		11. 裁判所の地位と権限	<input type="checkbox"/> 司法権の独立と裁判官の身分保障の重要性を理解できる <input type="checkbox"/> わが国の裁判制度を理解できる <input type="checkbox"/> わが国の違憲審査制度を理解できる	
		12. 地方自治のしくみ	<input type="checkbox"/> 団体自治と住民自治の違いを理解できる <input type="checkbox"/> 特別法住民投票と住民投票条例の住民投票の違いを理解できる <input type="checkbox"/> 地方財源の状況と3割自治の関係を理解できる <input type="checkbox"/> 地方がかかえる問題を指摘できる	
		13. 選挙制度と世論	<input type="checkbox"/> 様々な選挙区制の長所短所が理解できる <input type="checkbox"/> 日本の選挙制度が把握できる <input type="checkbox"/> 日本の選挙の問題点が理解できる	
		14. 政党政治と圧力団体	<input type="checkbox"/> 二大政党制と小党分立制の長所短所が理解できる <input type="checkbox"/> 戦後日本の政党のながれを把握できる <input type="checkbox"/> 圧力団体と政党の関係を理解できる <input type="checkbox"/> 政治資金規正法と政党助成法の内容を理解できる	
	期末 考査	15. 戦後国際政治の動向	<input type="checkbox"/> 東西冷戦の対立構図と終結までの流れを理解できる	
		16. 国際政治と国際法	<input type="checkbox"/> 国際法の特徴と、国際司法機関の種類と短所を理解できる	
		17. 国際連合の役割	<input type="checkbox"/> 国際連盟の欠点が理解できる <input type="checkbox"/> 国際連合の組織を把握、安全保障理事会の役割を理解できる	
		18. 核・軍縮問題	<input type="checkbox"/> PKO と国連憲章の関係、国際連合の問題点を理解できる	
		19. 現代の世界と紛争	<input type="checkbox"/> 核軍縮条約の内容と問題点を理解できる	
		20. 資本主義経済の成立と発展	<input type="checkbox"/> 地域、民族紛争を把握できる <input type="checkbox"/> 社会システムの違いを理解できる <input type="checkbox"/> 時代で変化する資本主義のあり方を理解できる	
		21. 現代の企業	<input type="checkbox"/> 株式会社の特徴を理解できる <input type="checkbox"/> コーポレート・ガバナンスの必要性を理解できる <input type="checkbox"/> 多国籍企業など、現代の企業のあり方を理解できる	

期	考查	単元名	学習内容・自己評価	備考
2 学期	中間 考查	22. 現代の市場	<input type="checkbox"/> 需給曲線の仕組みを理解できる	
			<input type="checkbox"/> 寡占市場での価格決定の仕方を理解できる	
		<input type="checkbox"/> 市場の失敗の具体例と解決策を理解できる		
23. 国民所得と景気変動		<input type="checkbox"/> ストックとフローの概念を理解できる		
		<input type="checkbox"/> フローの諸指標を確認し、各々の求め方を理解できる		
		<input type="checkbox"/> 国民所得の三面等価を理解できる		
		<input type="checkbox"/> GDP と GNI の違いを理解できる		
		<input type="checkbox"/> 経済成長率を求められる		
		<input type="checkbox"/> 景気変動の波（4つ）の周期と要因を理解できる		
24. 金融のしくみとはたらき		<input type="checkbox"/> 直接金融と間接金融の違いを理解できる		
		<input type="checkbox"/> 銀行の役割と信用創造で生み出される通貨を求められる		
		<input type="checkbox"/> 日銀の金融政策を理解できる		
		<input type="checkbox"/> 金融の自由化の内容を把握できる		
25. 財政のしくみとはたらき		<input type="checkbox"/> 財政の役割を理解し、財政政策の仕組みを理解できる		
	<input type="checkbox"/> 租税の種類と問題点を理解できる			
	<input type="checkbox"/> 国債発行のルールと国債残高による影響を理解できる			
	<input type="checkbox"/> 財政投融资の仕組みと改革内容を理解できる			
26. 戦後の日本経済	<input type="checkbox"/> 傾斜生産方式、ドッジ・ラインなどの流れをつかめる			
	<input type="checkbox"/> 高度成長期の大型景気、高度成長の要因を理解できる			
	<input type="checkbox"/> 安定成長期以降の日本の産業構造の変化を理解できる			
	<input type="checkbox"/> バブル景気を生み出した要因を理解できる			
	<input type="checkbox"/> バブル崩壊の要因と、その後の日本経済を理解できる			
27. 中小企業・農業・消費者問題	<input type="checkbox"/> 諸問題を指摘し、解決するための国の役割を理解できる			
28. 資源・エネルギー問題・公害・環境問題	<input type="checkbox"/> わが国の環境対策について理解できる			
	<input type="checkbox"/> 地球環境問題に対する国際社会の取り組みを理解できる			
29. 労働運動の歩みと労働基本権	<input type="checkbox"/> 労働三法の内容が理解できる			
30. 労働の現状と課題	<input type="checkbox"/> 三大雇用慣行、女性労働者の現状などを理解できる			
31. 社会保障の歩み	<input type="checkbox"/> 社会保障の発展の歴史を把握できる			
	<input type="checkbox"/> 各国の社会保障の財源構成を理解できる			
	<input type="checkbox"/> わが国の社会保障の4つの柱を理解できる			
32. 社会保障の現状と課題	<input type="checkbox"/> 高齢化による、社会保障制度の見直しを理解できる			
33. 国際分業と貿易	<input type="checkbox"/> 比較生産費説を学び、自由貿易の利点を理解できる			
34. 外国為替と国際収支	<input type="checkbox"/> リストが保護貿易を主張する理由を理解できる			
	<input type="checkbox"/> 円高・円安の要因、影響が理解できる			
35. 国際通貨体制	<input type="checkbox"/> 国際収支表の読み取りが出来る			
36. 世界の貿易体制	<input type="checkbox"/> 国際通貨体制の変化と IMF と IBRD の役割を理解できる			
37. 地域的経済統合	<input type="checkbox"/> GATT の3原則とその例外、WTO の違いを理解できる			
	<input type="checkbox"/> EU を中心に、各国の地域統合を把握できる			
38. 国際経済の諸問題と日本の役割	<input type="checkbox"/> 南北問題の要因とその解決の動きが理解できる			
	<input type="checkbox"/> ODA の内容と日本の ODA の特徴が理解できる			
	期末 考查	39. 青年期の意義と課題	<input type="checkbox"/> 青年期の特徴を理解できる	
		40. 生命の倫理	<input type="checkbox"/> 生命倫理における問題点や取り組みを理解できる	
		41. 環境の倫理	<input type="checkbox"/> 現代における環境問題を理解できる	
		42. 家族・地域社会・高度情報化の課題	<input type="checkbox"/> 現代社会におけるさまざまな課題に対する取り組みを理解できる	
		43. まとめ ・その他の分野の要点の整理 ・問題演習	<input type="checkbox"/> 防衛機制、欲求などを理解できる <input type="checkbox"/> 演習を通じて得点力を磨く。	
【学習上の留意点】 進度は目安です。学習単元も理解度によって前後します。				

教科 数学 科目 数学III		5 単位	対象学年・コース SA・3年・理系	
【年間学習目標】 1 教科書の内容を正確に理解する。 2 理解できた事柄を正しく活用して問題が解けるように、問題演習を反復し、理解の定着を図る。 3 授業の内容を活かし、副教材などを用いて応用力を身につける。				
【評価の観点】 定期考査, 小テスト, 問題集ノートなどの提出物の内容, 授業の取組み状況を総合的に評価する。				
【使用教材】 教科書 数研出版 改訂版 高等学校 数学III 副教材 数研出版 REPEAT 数学III				
期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備考
一学期	中間考査	第6章 微分法への応用 第1節 導関数の応用 1 接線の方程式 2 平均値の定理 3 関数の値の変化 4 関数のグラフ 第2節 いろいろな応用 5 方程式, 不等式への応用 6 速度と加速度 7 近似式 第7章 積分法とその応用 第1節 不定積分 1 不定積分とその基本性質 2 置換積分法と部分積分法 3 いろいろな関数の不定積分	<input type="checkbox"/> 接点を与えられた接線の方程式を求められる <input type="checkbox"/> 曲線外の点からの接線の方程式を求められる <input type="checkbox"/> $F(x,y)=0$ で表された曲線や媒介変数表示された曲線の接線の方程式を求められる <input type="checkbox"/> 平均値の定理の図形的意味を理解できる <input type="checkbox"/> 平均値の定理を利用した導関数の符号と関数の増減の関係を理解する <input type="checkbox"/> 導関数の符号と関数の増減の関係を理解し、極値を求められる <input type="checkbox"/> $f(x)$ が $x=a$ で微分可能でなくても $f(a)$ が極値になる場合があることを理解できる <input type="checkbox"/> 関数の極値から関数を決定する際の必要条件、十分条件に注意できる。 <input type="checkbox"/> 導関数、第2次導関数を利用して、関数の増減、グラフの凹凸、変曲点、漸近線、対称性などを調べ、関数のグラフをかくことができる。 <input type="checkbox"/> 導関数を利用して関数のグラフをかくことにより、方程式の実数解の個数を求めたり、不等式の証明問題を解くことができる <input type="checkbox"/> 導関数の定義から、速度ベクトルや加速度ベクトルを理解し、求められる <input type="checkbox"/> 微分係数の意味を考えることで、関数の近似式を考察できる <input type="checkbox"/> 微分法の逆演算として不定積分を求められる <input type="checkbox"/> いろいろな関数の不定積分の公式を理解し、計算できる <input type="checkbox"/> 部分積分法を利用して不定積分を求められる <input type="checkbox"/> 置換積分法を利用して不定積分を求められる <input type="checkbox"/> 種々の関数の定積分を計算することができる	

期	考查	単元名	学習内容・自己評価	備考
一 学 期	期 末 考 査	第2節 定積分 4 定積分とその基本性質 5 置換積分法と部分積分法 6 積分のいろいろな問題	<input type="checkbox"/> 定積分と導関数の関係を理解できる <input type="checkbox"/> 区分求積法を理解して和の極限を求められる <input type="checkbox"/> 定積分と不等式の間係を理解できる <input type="checkbox"/> 曲線で囲まれた部分の面積を求められる <input type="checkbox"/> 立体の断面積を積分して体積を求められる <input type="checkbox"/> 回転体の体積を求められる <input type="checkbox"/> 媒介変数表示された曲線を回転させてできる 立体の体積を求められる	研究 / $\int_0^{\frac{\pi}{2}} e^x \sin x dx$ の値 発展 / 微分方程式
		第3節 積分法の応用 7 面積 8 体積 9 道のり 10 曲線の長さ		
二 学 期	中 間 考 査		大学入試対策演習	
	期 末 考 査		大学入試対策演習	
【学習上の留意点】 ・授業進度に合わせ、各自で問題集を解き進め、内容の理解・定着を図ること。 ・大学入試に向けた演習では、考える過程を大切に、扱った問題は必ず解けるまで繰り返し復習する。				

教科 数学 科目 数学演習		3 単位	対象学年・コース SA・3年・理系	
【年間学習目標】				
1 教科書の内容を正確に理解する。 2 理解できた事柄を正しく活用して問題が解けるように、問題演習を反復し、理解の定着を図る。 3 授業の内容を活かし、副教材などを用いて応用力を身につける。				
【評価の観点】 定期考査, 小テスト, 問題集ノートなどの提出物の内容, 授業の取組み状況を総合的に評価する。				
【使用教材】 教科書 数研出版 高等学校 数学III 副教材 数研出版 REPEAT 数学III				
期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備考
一 学 期	中間考査	数学III 第1章 複素数平面 1 複素数平面 2 複素数の極形式 3 ド・モアブルの定理 4 複素数と図形	<input type="checkbox"/> 複素数平面の定義を理解できる。 <input type="checkbox"/> 複素数の絶対値、複素数の和・差・実数倍を複素数平面上で図示できる。 <input type="checkbox"/> 共役複素数を活用することができる <input type="checkbox"/> 極形式の定義を理解し複素数平面上に図示できる <input type="checkbox"/> 原点を中心とする回転移動を、複素数で表すことができる <input type="checkbox"/> ド・モアブルの定理を理解し、複素数の累乗および n 乗根を求めることができる <input type="checkbox"/> 図形の性質を、複素数で表すことができる	研究/3点 α, β, γ を頂点とする三角形
	期末考査		大学入試対策演習	
二 学 期	中間考査		大学入試対策演習	
	期末考査		大学入試対策演習	
【学習上の留意点】				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業進度に合わせ、各自で問題集を解き進め、内容の理解・定着を図ること。 ・ 大学入試に向けた演習では、考える過程を大切にし、扱った問題は必ず解けるまで繰り返し復習する。 				

教科 理科 科目 物理		4単位	対象学年・コース 3年グローバルクラス 理系	
<p>【年間学習目標】 物理学的思考を身に着ける。 物理現象を理解し、数式を使って説明できる。 物理の問題の「解き方を記憶する」のではなく、「解き方を理解」し「問題を解く力」を身につける。</p>				
<p>【評価の観点】 「定期考査」・「物理学実験」・「授業への取り組む姿勢」で評価する。</p>				
<p>【使用教材】 教科書 : 物理基礎 (第一学習社) 物理 (第一学習社) 副教材 : 問題集 セミナー物理基礎+物理 (第一学習社)</p>				
期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備考
1学期	中間考査	磁場と電流	『磁場の性質一般』を覚える。 『レンツの法則』・『電磁誘導の法則』の現象を理解する。 『電流の作る磁場 (直線電流・円電流・ソレノイド)』を覚える。 『電流が磁場から受ける力』を覚える。 ◎「フレミングの左手の法則」・「ローレンツ力」の問題が解ける。 『マクスウェルの電磁誘導の法則』を覚える。 ◎「自己誘導・相互誘導」の問題が解ける	
	期末考査	原子と分子の運動 原子、電子と物質の性質	『トムソンの実験』・『ミリカンの油滴実験』・『光電効果』より電子について考える。 ◎「トムソンの実験」・「ミリカンの油滴実験」・「光電効果とエネルギー」の問題が解ける。 『ボーアの水素原子モデル』を覚える。 ◎「水素原子モデル」の計算ができる。	誘導コイル・磁石 放電管・磁石
2学期	中間考査	入試演習 (総合)		
	期末考査	入試演習 (総合)		
<p>【学習上の留意点】</p>				

教科 理科		科目 生物	4 単位	対象学年・コース 3年 グローバルクラス 理系
<p>【年間学習目標】</p> <p>生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次の通り育成することを目指す。</p> <p>(1) 生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に着けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p> <p>(4) 大学入試の問題に対して与えられた情報を適切に処理し、合格点を取れる答案作成の力を実装する。</p>				
<p>【評価の観点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物学や生命科学の基本的な概念・知識や原理・法則を説明できる。 ・観察・実験・討論などに参加し、科学的な思考から意見や判断を言語化できる。 ・個人と集団の間で主体的かつ協動的に行動できる。 <p>以上の観点から、定期考査の素点、休業中の課題の完成度、観察・実験・討論などの報告書や各種提出課題（期限厳守）を含む授業と日常学習への取り組みの状況から、達成された学習状況を総合的に評価するものとする。</p>				
<p>【使用教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書： 本川・谷本ら『生物 改訂版』啓林館。 *『生物基礎 改訂版』を使用することもある。 ・図説： 吉里ら監修『スクエア最新図説生物 neo』第一学習社。 ・演習問題： 第一学習社編集部編『セミナー生物』第一学習社。 各種模擬試験の問題と解説。 ・その他： 志望校合格に必要な過去問題集や実践問題集（共通テスト対策を含む） 				
期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備考
一学期	中間考査	第5部 生態と環境 <u>第1章 個体群と生物群集</u> 1. 個体群とその変動 2. 種内関係 3. 種間関係 4. 生物群集とその構造 <u>第2章 生態系</u> 1. 生態系と物質生産 2. 生態系と生物多様性	<input type="checkbox"/> 個体群の変動と個体群内の種内関係を理解する。 <input type="checkbox"/> 個体群の特徴に個体間の関係が反映されることを理解する。 <input type="checkbox"/> 異種個体間の相互作用を理解する。 <input type="checkbox"/> 複数種類の個体群が相互関係を持ちながら集まって形成される生物群集の成り立ちや食物連鎖を理解する。 <input type="checkbox"/> 生態系における物質生産とエネルギー効率、生態系における生物多様性に影響を与える要因を理解する。 <input type="checkbox"/> 生物多様性の重要性、外来生物の影響による個体群の絶滅の可能性を考えられる。 <input type="checkbox"/> 『セミナー生物』[9]生態と環境の問題演習により理解の程度を自己評価する。	以下の実験例も参照すること。 コアセルベートの形成、胚膜の観察、選択がはたらく場合の遺伝子頻度の変動、DNAの塩基配列の違いにもとづく進化の推定、光合成生物の系統と光合成色素の関係
		第4部 生物の進化と系統 <u>第1章 生物の進化</u> 1. 生命の起源と生命の変遷 2. 生物界の変遷と地球環境の変化	<input type="checkbox"/> 生命の起源と生物進化の道筋について理解する。 <input type="checkbox"/> 生物の進化に関係している地球環境の変化について理解する。	

		<p>3. 人類の起源と進化</p> <p><u>第2章 進化とそのしくみ</u></p> <p>1. 進化の証拠</p> <p>2. 生物の変異と進化</p> <p><u>第3章 生物の系統</u></p> <p>1. 生物の分類と系統</p> <p>2. 界とドメイン</p> <p>3. 細菌 (バクテリア) ドメイン</p> <p>4. 古細菌 (アーキア) ドメイン</p> <p>5. 真核生物ドメイン</p>	<p><input type="checkbox"/> 人類の出現を, 多様化した生物進化の一部としてとらえさせるとともに, 人類の進化を理解させる.</p> <p><input type="checkbox"/> 生物進化がどのようにして起こるのかを理解する.</p> <p><input type="checkbox"/> 生物の遺伝と進化のかかわりや進化の仕組みについて理解する.</p> <p><input type="checkbox"/> 生物は系統に基づいて分類できることを理解させる.</p> <p><input type="checkbox"/> 界を分類する規準や界より上位のドメインを設定した規準について理解する.</p> <p><input type="checkbox"/> 細菌ドメイン, アーキアドメイン, 真核生物の特徴とそれに含まれる生物を理解する.</p> <p><input type="checkbox"/> 『セミナー生物』[10]生物の進化 [11]生物の系統の問題演習により理解の程度を自己評価する.</p> <p><input type="checkbox"/> 夏季休業中に「生物基礎」「生物」の知識のインプットとその確認のための問題演習に取り組む.</p>	
二 学 期	中間 考 査	高校生物 (生物基礎・生物) の総復習	<p><input type="checkbox"/> 大学入試問題 (共通テスト・国公立大・私立大) を自力で解くために必要な体系的な知識・理解 (知識力), 得点できる答案記述 (記述力), 図・グラフの分析を含む計算処理 (計算力) を完成させる.</p> <p>演習内容はおよそ以下の 12 項目に大別される.</p> <p>① 遺伝学の歴史 ② 生体物質と呼吸</p> <p>③ 遺伝子の働きと調節 ④ 同化作用</p> <p>⑤ 生体のつくり ⑥ 刺激と反応</p> <p>⑦ 生殖と細胞分裂 ⑧ 体液のはたらき</p> <p>⑨ 発生と形態形成 ⑩ 恒常性</p> <p>⑪ 進化と系統 ⑫ 個体群と生態系</p>	<p>最新の入試動向を考慮した問題演習 (紙面上での実験・データ処理を含む) を行う.</p> <p>各個人の志望校合格に必要なインプットとアウトレットは別に追加すること.</p>
	期 末 考 査	高校生物 (生物基礎・生物) の総復習		
<p>【学習上の留意点】</p> <p>授業を中心とした学習方法 (予習・復習の仕方やデジタル学習材の活用法など) については授業担当教員に確認してください. 生物と生物現象の理解・探究には概念や知識のインプットとそれらを活用するアウトプットの両方が必要です. 『セミナー生物基礎』『セミナー生物』と各自の志望校合格に必要な参考書 (副読本)・問題集・資料集 (図説) を使い, インプットとアウトプットを繰り返しましょう. 模擬試験は受験前の準備, 受験, 受験後の復習の 3 段階を意識し, 1 学期は苦手分野の攻略を, 2 学期は得意分野の完成を目指しましょう.</p>				

教科 理科 科目 化学	4単位	グローバルコース理系		
<p>【年間学習目標】</p> <p>化学的な事物・現象についての観察, 実験などを行い、自然に対する関心や探究心を高め、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則の系統的な理解を深め、科学的な自然観を育成する。</p>				
<p>【評価の観点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象に関心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。 ・自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 <p>以上の観点から、定期考査、長期休業課題、実験報告書等の成績ならびに授業の取組み状況から評価する。</p>				
<p>【使用教材】</p> <p>教科書；第一学習社 高等学校 化学</p> <p>副教材；浜島書店 ニューステージ 化学図表</p> <p>スタディサプリ 高3スタンダードレベル化学 <理論編> 前編・後編</p> <p>スタディサプリ 高3スタンダードレベル化学 <有機編></p> <p>問題集；第一学習社 セミナー 化学基礎+化学</p>				
期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備考
1 学 期	中間 考査	<p>第IV章 有機化合物</p> <p>第1節 有機化合物の特徴と構造</p> <p>1. 特徴と分類</p> <p>2. 化学式の決定</p> <p>第2節 脂肪族炭化水素</p> <p>1. 飽和炭化水素</p> <p>2. 不飽和炭化水素</p> <p>第3節 酸素を含む脂肪族化合物</p> <p>1. アルコールとエーテル</p> <p>2. アルデヒドとケトン</p> <p>3. カルボン酸とエステル</p> <p>4. 油脂とセッケン</p> <p>第4節 芳香族化合物</p> <p>1. 芳香族炭化水素</p> <p>2. 酸素を含む芳香族化合物</p> <p>3. 窒素を含む芳香族化合物</p> <p>4. 芳香族化合物の分離</p>	<p><input type="checkbox"/> 有機化合物の性質や反応を観察、実験などを通して学習し、有機化合物の分類と特徴を理解する。</p> <p><input type="checkbox"/> 有機化合物の化学式を決定するまでの過程を学習し、その原理を理解する。</p> <p><input type="checkbox"/> 脂肪族炭化水素の性質や反応を構造と関連付けて理解する。</p> <p><input type="checkbox"/> アルコール、エーテル、カルボニル化合物、カルボン酸、エステルなどの性質を炭素骨格と官能基の特徴を関連付けて理解する。</p> <p><input type="checkbox"/> 有機化合物相互の関連について学習する。</p> <p><input type="checkbox"/> 各種異性体の特徴を理解する。</p> <p><input type="checkbox"/> 有機化合物が、その特徴を生かして人間生活の中で利用されていることを理解する。</p> <p><input type="checkbox"/> 芳香族化合物について、アルコール誘導体、ニトロ化合物、アミン類を通して、官能基と有機化合物の性質を理解する。</p> <p><input type="checkbox"/> 分液ろうとを用いた芳香族化合物の分離法を学ぶ。</p>	
	期末 考査	<p>第5節 有機化合物と人間生活</p> <p>1. 暮らしを彩る有機化合物</p> <p>2. 単糖と二糖</p> <p>3. アミノ酸</p> <p>第V章 高分子化合物</p> <p>第1節 合成高分子化合物</p> <p>1. 高分子化合物の構成</p> <p>2. 合成樹脂</p> <p>3. 合成繊維</p>	<p><input type="checkbox"/> 代表的な医薬品、染料、洗剤などの主な成分について学ぶ。</p> <p><input type="checkbox"/> 単糖、二糖の構造と性質を学習し、多糖との関連を理解する。</p> <p><input type="checkbox"/> α-アミノ酸とタンパク質の性質や反応が、その構造に特徴づけられることを学習する</p> <p><input type="checkbox"/> 天然高分子化合物の構造や性質について理解する。</p> <p><input type="checkbox"/> 合成高分子化合物の構造、性質及び合成について理解する。</p>	

期	考查	単元名	学習内容・自己評価	備考
1 学期	期末 考查	第2節 天然高分子化合物 1. デンプンとセルロース 2. タンパク質 3. 天然繊維と天然ゴム 4. 核酸 第3節 高分子化合物と人間生活 1. 機能性高分子化合物 2. 合成ゴム	<input type="checkbox"/> 核酸の構造と働きを理解する。 <input type="checkbox"/> 高分子化合物が、その特徴を生かして人間生活の中で利用されていることを理解する。 <input type="checkbox"/> 機能性高分子の特徴とその役割を学ぶ。	
2 学期	中間 考查	復習ならびに入試対策演習		※ 入試問題を用いたプリント演習を行う。
	期末 考查	復習および入試演習		
【学習上の留意点】 ・学習進度は状況に応じて、変更がある場合がある。また、プリント等を用いた演習を必要に応じて行う。 ・実験・観察は理科の学習の基本であり、重視している。				

教科 英語 科目 英語 III		4 単位	対象学年・コース 3年 SA コース	
【年間学習目標】				
語彙、文法、構文を総合的に駆使して、英語長文の内容を的確に把握し、高度な英語運用能力の育成を目指す。				
【評価の観点】				
定期考査、小テスト、提出物、授業の取り組み等を総合的に評価する。				
【使用教材】				
『MY WAY English Communication III』（三省堂）				
期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備考
1 学 期	中間 考査	Reading Skills 1~ Reading Skills 8	主語と述語動詞 フレーズ・リーディング 代名詞・未知語の推測 パラグラフ構成 ディスコースマーカー 列挙・例示 ディスコースマーカー 時間的順序 ディスコースマーカー 比較・対照 ディスコースマーカー 原因・結果	各 Reading skills は 1~1.5 時間を目安と する。
	期末 考査	Reading skills 9 ~ Lesson 4	スキミング・ スキャニング 助動詞+受け身 比較級・最上級 関係代名詞 what no matter how ~ 同格の that 分詞構文	各 Lesson は3時間を目安とする。

期	考查	単元名	学習内容・自己評価	備考
2 学 期	中間 考查	Lesson 5 ~ Lesson 9	it is ~ that ... 助動詞+受け身 現在完了の受け身 関係副詞 間接疑問 関係代名詞の非制限用法 how to ~ 比較・倍数表現 助動詞+受け身	単元別に文法を確認 実践力を養う
	期末 考查	Lesson10 ~ Lesson 14	完了進行形 倒置 過去完了 使役動詞+O+過去分詞 省略関係副詞 it is ~ that ... 部分否定 前置詞+関係代名詞 had better ~ 否定の倒置 省略 関係代名詞の非制限用法	単元別に文法を確認 実践力を養う

教科 英語 科目 英語演習A		4単位	対象学年・コース 3年 SA コース	
<p>【年間学習目標】</p> <p>多様なジャンルの文章を読み、英語の読解力の向上と、教養を高めることを目指す。</p>				
<p>【評価の観点】</p> <p>定期考査、小テスト、提出物、授業の取り組み等を総合的に評価する。</p>				
<p>【使用教材】</p> <p>教材 『UNITE 英語総合問題集 STAGE 2』（数研出版）</p>				
期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備考
1 学 期	中間考査	Lesson 1 ~ Lesson 7	エッセイ / 時制 エッセイ / 完了形 説明文 / 助動詞 説明文 / 受動態 エッセイ / 不定詞、動名詞 エッセイ / 分詞構文 エッセイ / 準動詞、分詞構文	
	期末考査	Lesson 8 ~ Lesson 15	説明文 / 原級、比較級、最上級 エッセイ / 比較表現 説明文 / 関係代名詞 エッセイ / 関係副詞 説明文 / 複合関係詞 エッセイ / 仮定法 説明文 / 仮定法（慣用表現） 説明文 / 接続詞	全てを終わらせるのが困難な場合は、担当者の裁量で取り扱う単元を選択する。

期	考查	単元名	学習内容・自己評価	備考
2 学 期	中間 考 査	UNIT 1 ~ UNIT 7	文学 / 時制 言語 / 完了形 健康 / 助動詞 人間関係 / 受動態 歴史 / 不定詞、動名詞 ビジネス / 不定詞、動名詞 動物 / 分詞	
	期 末 考 査	UNIT 8 ~ UNIT 15	宇宙 / 関係詞 科学 / 関係詞 食文化 / 比較 環境 / 比較 生物 / 仮定法 人文科学 / 話法、同格 文化 / 名詞構文、無生物主語 歴史 / 代名詞・否定	全てを終わらせるのが困難な場合は、担当者の裁量で取り扱う単元を選択する。

教科 英語 科目 英語演習B		3単位	対象学年・コース 3年 SA コース	
<p>【年間学習目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英文法を総点検し、使いこなせることができる。 ・入試問題を解くことにより、解答作成力を高める。 ・大学入試に必要な知識・考え方を身につける。 				
<p>【評価の観点】</p> <p>定期考査、小テスト、提出物、授業の取り組み等を総合的に評価する。</p>				
<p>【使用教材】</p> <p>副教材 『英語演習ノート ORANGE版 英文法の確認』（数研出版）</p>				
期	考査	単元名	学習内容・自己評価	備考
1 学 期	中間考査	第1章～第5章	第1章 時制 第2章 受動態 第3章 助動詞 第4章 仮定法 第5章 不定詞	単元別に文法を確認 実践力を養う
	期末考査	第6章～第10章	第6章 動名詞 第7章 分詞 第8章 動詞の語法① 第9章 動詞の語法② 第10章 関係詞	単元別に文法を確認 実践力を養う

期	考查	単元名	学習内容・自己評価	備考
2 学 期	中間 考 査	第 11 章～第 15 章	第 11 章 接続詞 第 12 章 前置詞 第 13 章 形容詞の語法 第 14 章 副詞の語法 第 15 章 比較	単元別に文法を確認 実践力を養う
	期 末 考 査	第 16 章～第 20 章	第 16 章 名詞の語法 第 17 章 代名詞の語法 第 18 章 主語と述語動詞の一致 第 19 章 疑問文 第 20 章 否定・倒置・省略・強調	単元別に文法を確認 実践力を養う

教科 保健体育	体育：2単位（3年次：3単位）	対象学年 1年
科目 体育・保健	保健：1単位（1，2年次のみ）	コース 全コース

【学習目標】

- 【体育】 ・運動することにより体力が向上する最も適した時期である。外周コースの持久走など積極的に運動することによって健康な生活を送るための基礎体力の向上を目指す。また、授業のいろいろなスポーツを経験することによって集団の一員としての行動や集団の規律・秩序といったことを学習する。
- 【保健】 ・思春期から中高年期までの健康に関することや、現代の健康問題を理解し、新しい時代の健康のあり方について、自ら取り組めるように学習する。
- ・集団の生活における健康などに関する知識を身につけ、社会生活における健康の意義を理解する。

【評価の観点】

【体育】 出席状況、授業への取り組み姿勢、実技テスト等を総合的に判断して評価する。

【保健】 考査の素点、ノート及び授業態度等を総合的に判断して評価する。

- 【使用教材】 教科書：現代高等保健体育（大修館書店）
副教材：現代高等保健体育ノート（大修館書店）

【学習内容】

35W	4W	8W	8W	7W	8W
	4月～5月2週	5月3週～7月	9月～2学期中間	2学期中間～12月	1月～3月
学 年	1		2-1	2-2	3
高1年男子 2単位	スポーツテスト	サッカー	剣道	陸上	バスケ
	体づくり運動	バスケ	陸上	剣道	サッカー
	集団行動	剣道	サッカー	バスケ	陸上
高2年男子 2単位	スポーツテスト	サッカー	ソフト	バードゴルフ	バスケ
	体づくり運動	バスケ	バードゴルフ	ソフト	サッカー
	集団行動	ソフト	サッカー	バスケ	バードゴルフ
高3年男子 3単位	4月～7月			9月～12月	/
	ソフト			ソフト	
	サッカー			サッカー	
	テニス			バードゴルフ	
高1年女子 2単位	スポーツテスト	テニス	バスケ	ダンス	陸上
	集団行動・体づくり運動	陸上	テニス		バスケ
高2年女子 2単位	旗体操・スポーツテスト		バレー	ダンス	バレー
	集団行動・体づくり運動		テニス		テニス
高3年女子 3単位	4月～7月			8月～12月	/
	ソフト			バレー	
	バードゴルフ			ソフト	

【体育】

種 目	学習内容	ねらい
集団行動	・集団行動（姿勢、方向転換、集合、整頓、列の増減、開列、など）	集団としての行動を秩序正しく行えることを目指す。
体づくり運動	・体ほぐしの運動 ・体力を高める運動	身のこなしや体の調子を整えさせる。
体育祭練習	・旗体操（女子） ・体育祭練習（学年種目）	集団としての行動を秩序正しく行えることを目指す。
男子	学習内容	ねらい
剣 道	・礼法、（立礼、正座、） ・竹刀の持ち方（構え、足さばき）、素振り ・防具の付け方 ・面，小手，胴打ち，切り返し ・試合形式の稽古 ・試合	剣道の技術の向上と礼儀正しい態度を養う。
陸上競技	・短距離走（50mタイムトライアル） ・リレー競争（バトンパスの方法） ・ハードル走（ハードリングの方法，インターバルの走り方，50mH走） ・持久走〔外周コース（1周700m）を2～5周〕	自己の技能や体力を最大限に発揮し，タイムの向上を目指す。
サッカー	・ボールフィーリング，パス，ドリブル ・シュート ・4対4のスマールサイドゲーム ・11対11のゲーム	サッカーの個人的技能（パス、ドリブル、シュート）を習得し、ゲームに生かせるようにする。ルールを守り，勝敗に対して公平な態度がとれるようにする。
バードゴルフ	・正確なグリップ，アドレス，バックスイング，ダウンスイング，インパクト，フォロー，フィニッシュ	基本的スイングを習得しコースを廻る。審判不在のゲームなので，「正直・公正」のフェアプレイの精神を養う。
バスケットボール	・ドリブル技術習得（左右・ドリブルチェンジ・スピードドリブル） ・2対1のパス ・5メン～3：2～2：1 ・シュート（フリースロー・3P） ・ゲーム	基本的な技術、ルールを覚えるとともに、仲間と協力して行うチームプレーなどをする楽しさや難しさを知り，チームでのオフェンス・ディフェンスを通してバスケットボールに関する理解を深める。
ソフトボール	・キャッチボール（至近距離、遠投、ゴロ、フライ） ・バッティング（素振り、トス） ・バッティング（バント、フリー） ・試合形式の練習，試合 ・チーム別での課題練習	基本的な技術を身につける為にキャッチボール、バッティングなどを行う。また，基礎を生かしたゲーム展開をできようにする。

テニス	<p>正確な構えから、いかなる返球にも対応できるフットワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フォアハンド、バックハンド、ボレー ・ラリー、戦術学習 ・ゲーム 	<p>基本的な技術を身につけ、ダブルスのゲームまで発展させる。お互い協力しながら集中してプレーを行う。</p>
女子	学習内容	ねらい
陸上競技	<ul style="list-style-type: none"> ・短距離走（50mタイムトライアル） ・リレー競争（バトンパスの方法） ・ハードル走（ハードリングの方法、インターバルの走り方、50mH走） 	<p>自己の技能や体力を最大限に発揮し、タイムの向上を目指す。</p>
バスケットボール	<ul style="list-style-type: none"> ・2人組パス（チェスト・ショルダー・バウンズ・オーバーヘッド） ・シュートの仕方（もち方・ボールを当てる位置） ・ドリブル技術習得（左右・ドリブルチェンジ・スピードドリブル） ・レイアップシュート技術の習得 ・3対2（ハーフコート） ・ゲーム 	<p>基本的な技術、ルールを覚えるとともに、仲間と協力して行うチームプレーなどをする楽しさや難しさを知り、個人技ではないチームでのオフENS・ディフェンスを通してバスケットボールに関する理解を深める。</p>
ダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス・ビデオ鑑賞 ・運動課題，テーマの絞込み ・個人のモチーフテスト，修正と踊り込み，通して踊る練習 ・発表会 	<ul style="list-style-type: none"> ・動きで自分の考えが相手に伝わる喜びを味わう。また，仲間と協和する ・楽しみや人に感動を与える楽しさを実感しよう。心と体をほぐしてリズム感を身につけよう。
テニス	<ul style="list-style-type: none"> ・グラウンドストローク（フォアハンド、バックハンド） ・ボレー，ラリー，サービスからラリー ・ゲーム 	<p>基本的な技術を身につけ、ダブルスのゲームまで発展させる。お互い協力しながら集中してプレーを行う。</p>
バレーボール	<ul style="list-style-type: none"> ・パスの技術習得（オーバーハンドパス，アンダーハンドパス），二人組でパス ・サーブ技術習得 ・スパイク技術，レシーブ，ブロックの習得 ・ゲーム 	<p>基礎技術を再確認し、試合で生かせるようにする。</p> <p>ゲームで必要な技術を身につける</p>
ソフトボール	<ul style="list-style-type: none"> ・キャッチボールでボールに慣れる（至近距離～遠投、ゴロなど） ・バッティング練習 ・場面に合わせた守備練習，チームでの練習，連携プレーの確認 ・ゲーム 	<p>身につけた基本技能を発展させ、野球におけるコミュニケーションのとれたゲームが出来るようにする。</p>

バードゴルフ	・正確なグリップ，アドレス，バックスイング，ダウンスイング，インパクト，フォロー，フィニッシュ	基本的スイングを習得しコースを廻る。審判不在のゲームなので、「正直・公正」のフェアプレイの精神を養う。
--------	---	---

【保健】

1年（1単位）	現代社会と健康	生涯を通じる健康・現代社会と健康	現代社会と健康
2年（1単位）	現代社会と健康	現代社会と健康・生涯を通じる健康	現代社会と健康・ 社会生活と健康

1年

1 学期	1 単元 現代社会と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちの健康のすがた ・健康のとらえ方 ・健康と意思決定・行動選択 ・健康に関する健康づくり ・生活習慣病とその予防
2 学期	2 単元 生涯を通じる健康	<ul style="list-style-type: none"> ・思春期と健康 ・性意識と性行動の選択 ・結婚生活と健康 ・妊娠出産と健康 ・家族計画と人工妊娠中絶
	1 単元 現代社会と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故の現状と要因 ・交通社会における運転者の資質と責任 ・安全な交通社会づくり
3 学期	1 単元 現代社会と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・食事と健康 ・運動と健康 ・休養・睡眠と健康 ・喫煙と健康 ・飲酒と健康 ・薬物乱用と健康

2年

1 学期	1 単元 現代社会と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故の現状と要因 ・交通社会における運転者の資質と責任 ・安全な交通社会づくり ・応急手当の意義とその基本 ・心肺蘇生法 ・日常的な応急手当 ・実技
------	--------------	---

2 学期	1 単元 現代社会と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・ 欲求と適応機制 ・ 心身の相関とストレス ・ ストレスへの対処 ・ 心の健康と自己実現
	2 単元 生涯を通じる健康	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加齢と健康 ・ 高齢者のための社会的取り組み ・ 保健制度とその活用 ・ 医療制度とその活用 ・ 医薬品と健康 ・ さまざまな保健活動や対策
3 学期	1 単元 現代社会と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現代の感染症 ・ 感染症の予防 ・ 性感染症・エイズとその予防
	3 単元 社会生活と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・ 働くことと健康 ・ 労働災害と健康 ・ 健康的な職業生活

【学習上の留意点】

『体育』

- ・ クラスの体育委員の指示による整列、挨拶、出欠確認。
- ・ 体育委員を中心に授業の内容に沿った準備運動や補助運動を行う。
- ・ 安全性を重視する。まずは怪我の防止という点で準備体操は十分に行う。施設の正しい利用や用具の管理、運動場の整備なども安全面では重要なことである。
- ・ 服装は学校指定の体操服。運動に相応しい着用の仕方を心掛ける。衛生面にも配慮し、体操着は清潔にしておく。また、シューズケースの置き方についてもクラス毎にまとめ、整理整頓に心掛ける。
- ・ 評価・評定：前期は10段階で評価する。学年末は5段階で評定する。

『保健』

- ・ 教科書、ノートを中心に学習する。ビデオ学習では重要と思われるところについてはメモをとるように心がけること。
- ・ ノートは年2回提出があります。日頃からまとめておくこと。